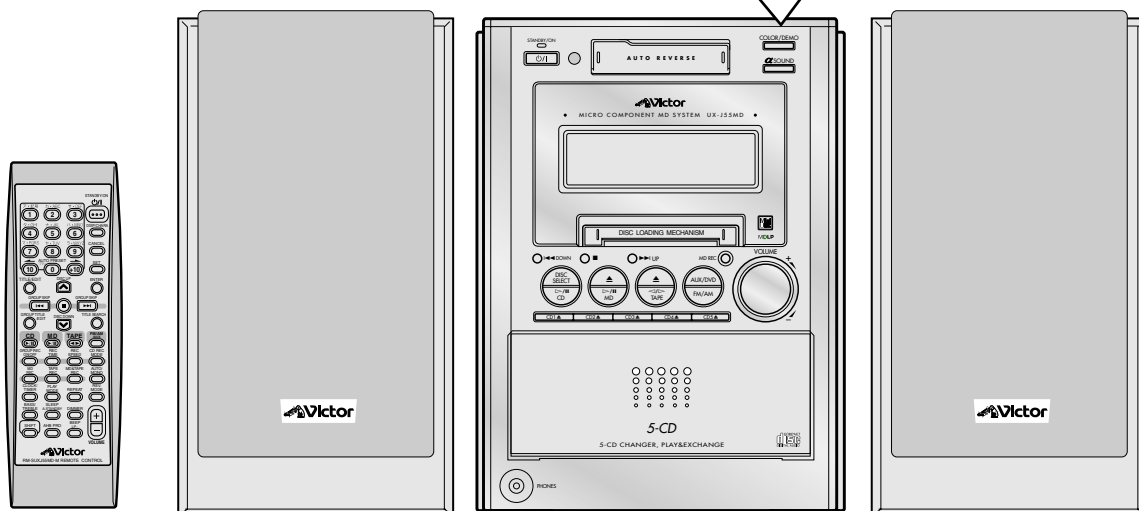
取扱説明書

マイクロコンポーネントMDシステム

型 名 UX-J55MD-S/-M UX-J60MD-W/-M UX-K66MD-M

デモ表示について

COLOR/DEMO

UX-J55MD-S/UX-J60MD-W/UX-J60MD-M にはデモ表示機能が用意されています。
電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に働きます。
解除するときは、COLOR/DEMO ボタンを押します。
詳しくは、「デモ表示機能について」(➡ 11 ページ) をご覧ください。
• UX-J55MD-M/UX-K66MD-M にはデモ表示機能はありません。
COLOR/DEMO ボタンは REV.MODE ボタンになります。

• イラストは UX-J55MD-S のとき

MDLP

お買いあげいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 4 ～ 7 ページの「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

省エネ回路により本体部は、
電源待機時 消費電力1W(表示窓「消灯」)

GVT0104-001B

目　次

はじめに　ページ

準　備　ページ

聞く　ページ

録音する　ページ

編集する　ページ

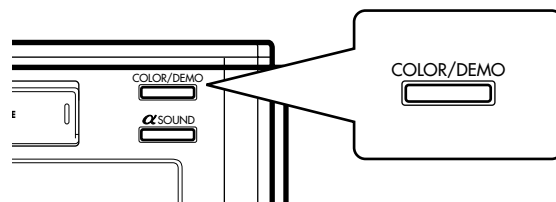
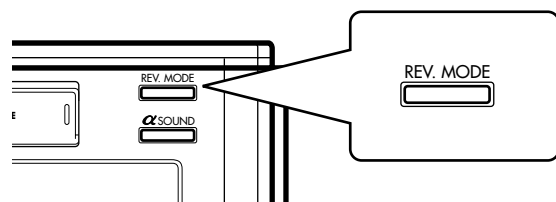
タイマーを使う　ページ

オートスタンバイを使う　ページ

知っておいてほしいこと　ページ

この取扱説明書について

この取扱説明書では、UX-J55MD-S/UX-J55MD-M/UX-J60MD-W/UX-J60MD-M/UX-K66MD-Mの操作方法について説明しています。
UX-J55MD-S/UX-J60MD-W/UX-J60MD-MとUX-J55MD-M/UX-K66MD-Mには、次のような違いがあります。

UX-J55MD-S/UX-J60MD-W/UX-J60MD-M
- デモ表示機能と本体パネルの照明調節機能があります。
- 本体にCOLOR/DEMOボタンがあります。

UX-J55MD-M/UX-K66MD-M
- デモ表示機能と本体パネルの照明調節機能はありません。
- 本体にREV.MODEボタンがあります。

この取扱説明書での説明のしかた

主にリモコンを使った操作を説明します。
本体のボタンでリモコンのボタンと同じ名前や似た記号のボタンは、同じ働きをします。
また、本体のボタンだけで操作するときは、本体で説明します。

安全上のご注意　ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠ 注意

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

注意をうながす記号

一般的注意

感電

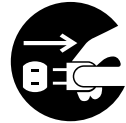
行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

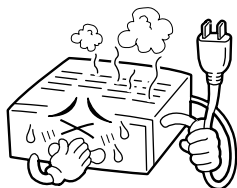
水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠ 警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

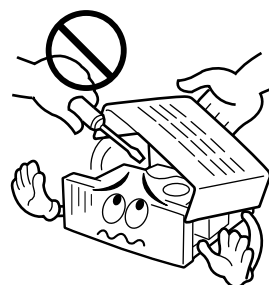
- 煙が出ていたり、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

すぐに電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

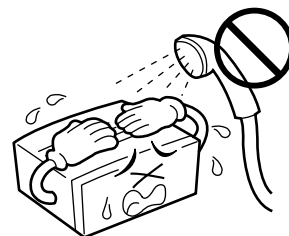
異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠ 警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。

特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは、根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。

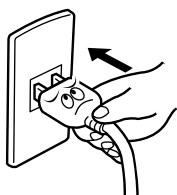
また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水の入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用する。

火災の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

はじめに

⚠ 注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10 cm以上離す

置き場所に注意する。

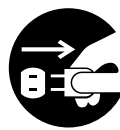
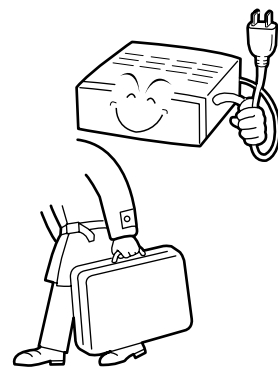
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

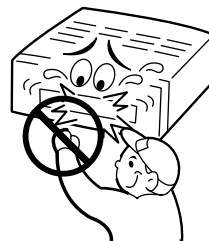
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

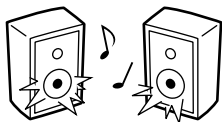
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

手を挟まれないよう注意

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

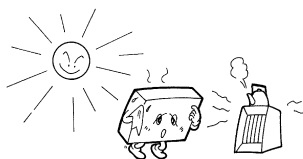
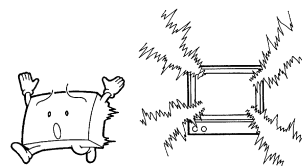
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖を間違えない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

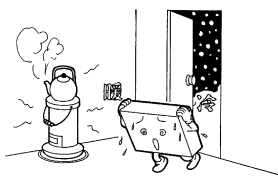
もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意　ーはじめにお読みくださいー

本機やCD、MD、テープの置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。
本機の使用環境温度は、3 ～ 35゜C です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所
- 風通しの悪い狭い場所

- 直射日光の当たる所
- 熱器具の近く

- テレビや他のアンプ、チューナーなどのすぐそば
- バランスの悪い不安定な所

- 極端に寒い所

- 寒い所から急に暖かい部屋へ移動した後しばらくの間

- 磁気を発生する所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 振動の激しい所

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

露がついたら

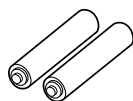
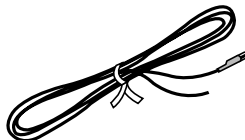
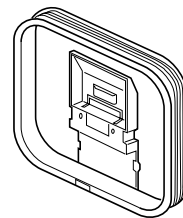
次のようなとき、本機のレンズに露（水滴）が付いて正しく演奏できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

付属品の確認

お使いになる前に、付属品をお確かめください。
不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコン
RM-SUXJ55MD-M
（1個）

リモコン用
単3形乾電池
（動作確認用、2 本）

FM簡易型アンテナ
（1本）

AMループアンテナ
（1個）

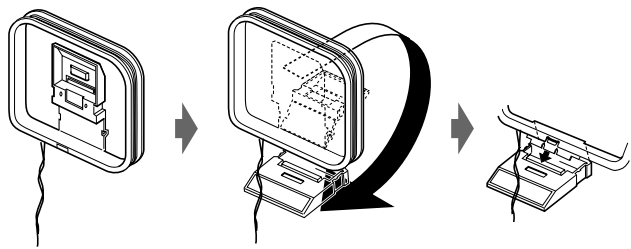
- この製品には付属品の他に、取扱説明書(本書)や保証書が添付されています。

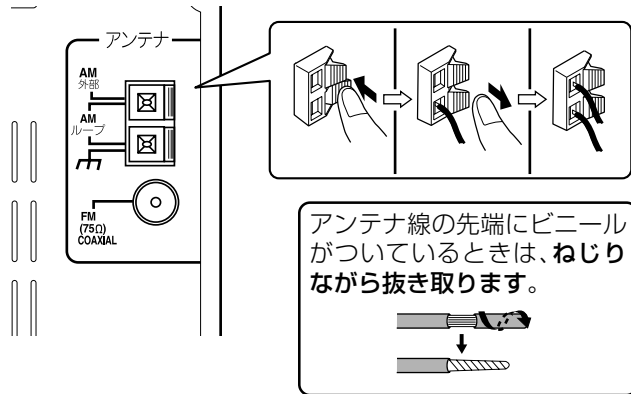
アンテナの接続

FM/AM放送を聞くために、アンテナを接続します。アンテナを接続しないと、ラジオ放送を聞くことができません。
アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行ってください。

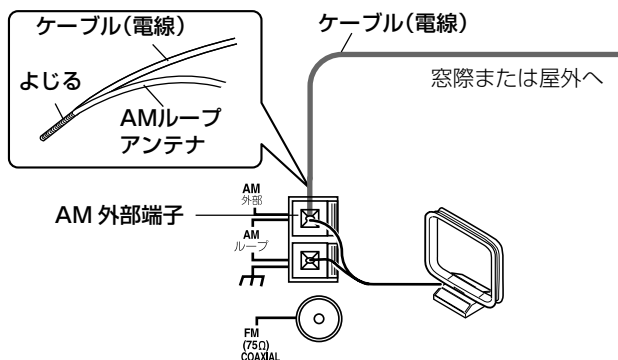
AMアンテナを接続する

AMループアンテナ(付属品)を接続する

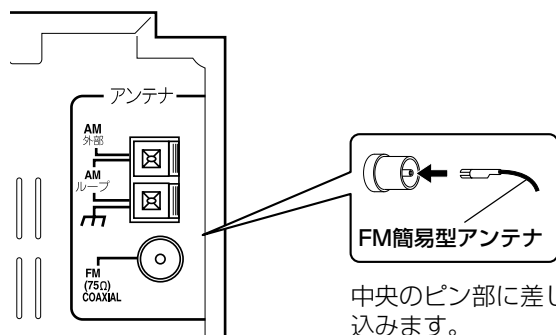
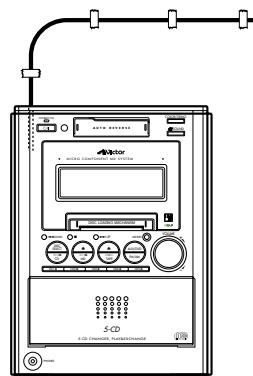
- まずAMループアンテナを組み立てます。
  台になる部分を回転させて差し込みます。

- 次に、組み立てたAMループアンテナを本体のAMループ端子に接続します。

アンテナ線の先端にビニールがついているときは、**ねじりながら抜き取ります。**

- 接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。
  本体からできるだけ離して置いてください。
  - AMループアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。束ねてある線は、よく伸ばして使ってください。

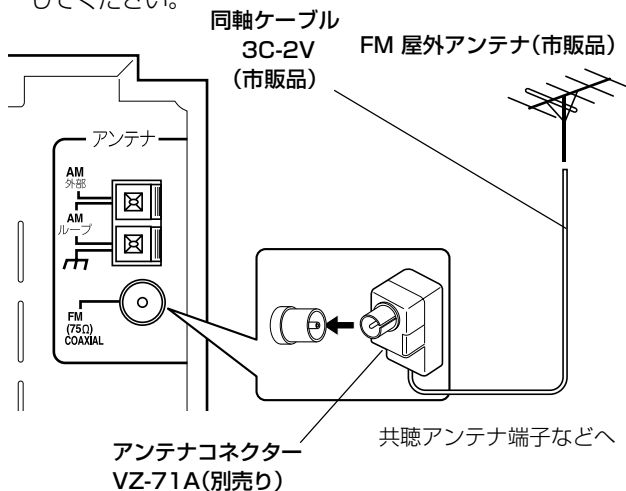
AMループアンテナではうまく受信できないとき

AM 外部端子に3〜5 mのケーブル(電線:市販品)を接続し、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。
このとき、AMループアンテナも一緒に接続しておいてください。

FMアンテナを接続する

FM簡易型アンテナ(付属品)を接続する

- FM簡易型アンテナを本体のFM(75Ω)COAXIAL端子に接続します。

中央のピン部に差し込みます。

- 接続したFM簡易型アンテナは、最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

付属のアンテナではうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

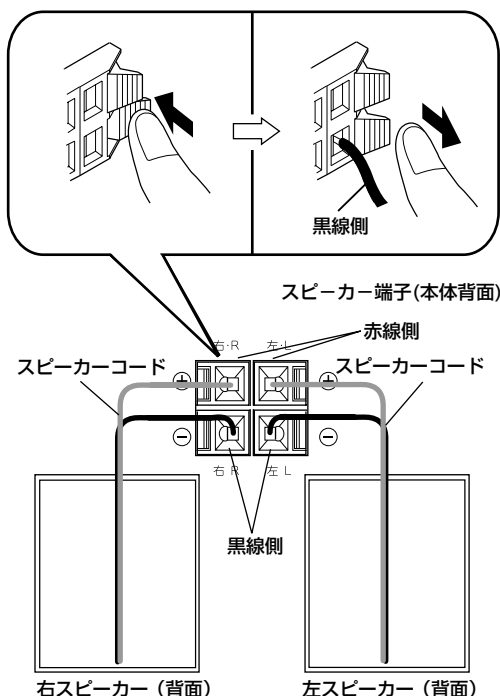
市販の同軸ケーブルとアンテナコネクター(別売り)を用意してください。

電波状態によっては、FMフィーダーアンテナ:CN-511A(別売り)がご利用になれます。

スピーカーの接続

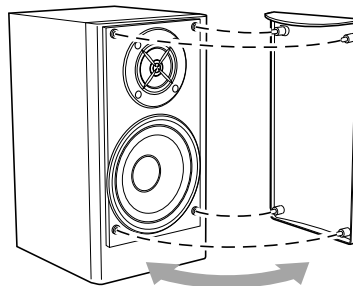
スピーカー背面から出ているスピーカーコードを、本機のスピーカー端子に接続します。

- 正面向かって右スピーカーを右･R端子に接続します。
  正面向かって左スピーカーを左･L端子に接続します。
  スピーカーは、左右どちらでもお使いになれます（左右の区別はありません）。
- スピーカーコードの赤線側を⊕に、黒線側を⊖に接続します。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、4～16 Ωです。

ご注意

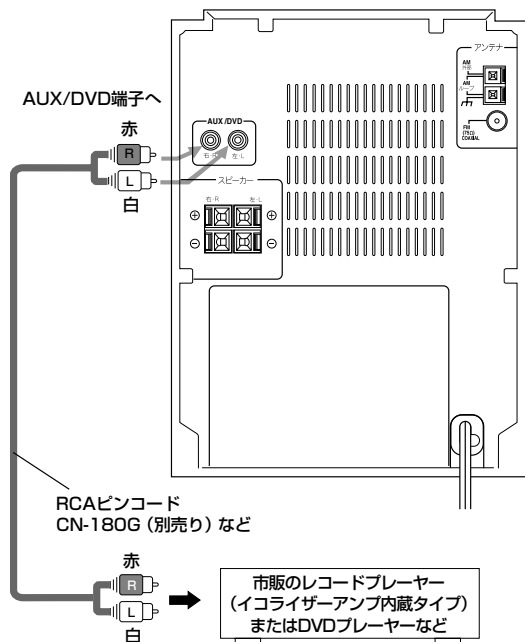
- スピーカーコードの赤線と黒線を逆に接続すると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。
- スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。
- 本機のスピーカーは、防磁設計(JEITA仕様)にはなっておりません。テレビの近くに設置すると色ムラを生じることがあります。テレビとは10 cm以上離して設置してください。
- 他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。
  負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。

スピーカーネットの外しかた

お手入れのときなど、スピーカーネットを取り外すことができます。

例：SP-UXJ55MD-Sのとき

- 左右上端を軽く押さえ、手前に引いて外してください。
  再び取り付けるときは、突起部を合わせて軽く押し込みます。

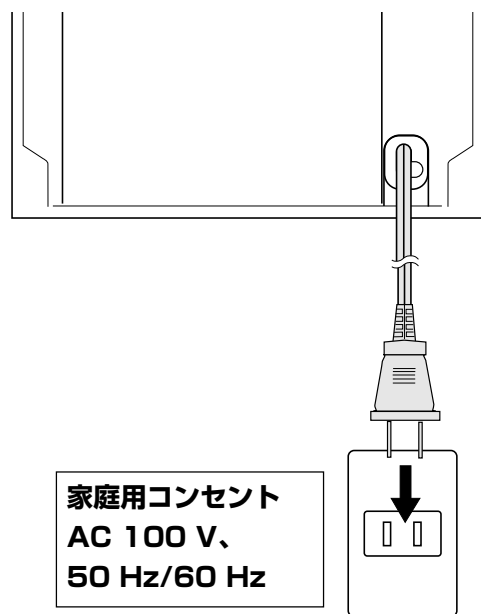
他の機器の接続

外部のオーディオ機器を接続し、それらの演奏を楽しむことができます。

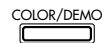
- ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり､正しく接続してください。

電源コードの接続

すべての接続が終わったことを確認してから接続します。

1 電源プラグを家庭用コンセントへ接続する

STANDBY/ON ランプが赤く点灯します。

デモ表示機能について

UX-J55MD-S/UX-J60MD-W/ UX-J60MD-Mのみ

電源プラグを家庭用コンセントに接続すると、デモ表示が働き照明パターンの紹介が始まります。
電源を「入」にして操作を始めるとデモ表示は解除されます。電源「切」のとき本体のCOLOR/DEMOを押すと解除されます。

デモ表示を再開するには…
電源｢切｣のとき本体のCOLOR/DEMOを押します。

デモ表示を出なくするには…
電源が｢入/切｣どちらの状態でも、本体のCOLOR/DEMOを｢DEMO OFF｣が表示されるまで押し続けます。電源コードを抜き差ししてもデモ表示は行われません。
元に戻すときは、もう一度同じ操作で｢DEMO ON｣を表示させます。

- UX-J55MD-M/UX-K66MD-Mにはこの機能はありません。

お知らせ

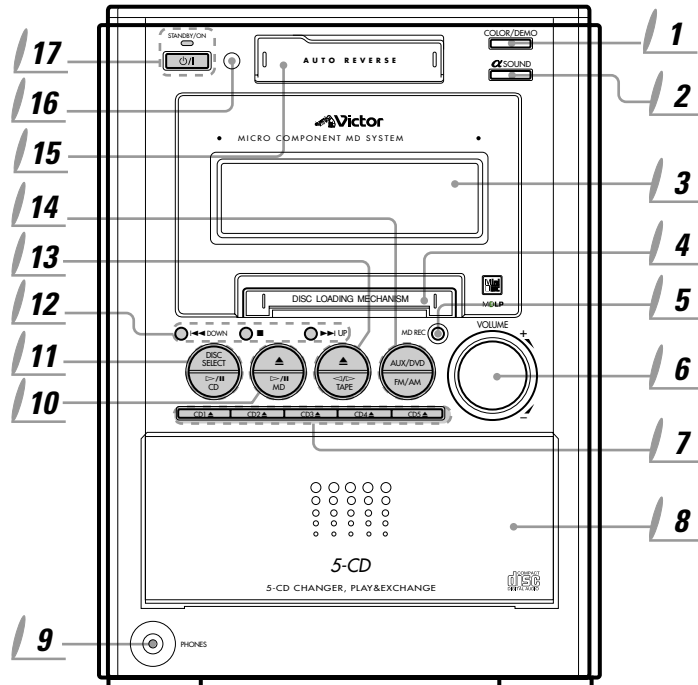
- 長期間使用しないときは､コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。

各部の名前と働き ー□内の数字のページに説明がありますー

本体と表示窓

本　体

＊印のボタンを押すと電源も「入」になります(➡ 16 ページ参照)。

UX-J55MD-S/UX-J60MD-W/UX-J60MD-M

UX-J55MD-M/UX-K66MD-M

1 UX-J55MD-S/UX-J60MD-W/UX-J60MD-M:
COLOR/DEMO(カラー/デモ) 11 21

パネルの照明を切換えるとき、デモ表示のオン／オフをするときに使います。

UX-J55MD-M/UX-K66MD-M:
REV.MODE(リバースモード) 39

テープのリバースモードを変えるとき使います。

2 αSOUND(アルファサウンド) 19

アルファサウンドのモードを設定するとき使います。

3 表示窓

演奏中や録音中、操作中にさまざまな情報を表示します。

4 MD挿入口 32

5 MD REC(レック) 45 46 49

MD に録音するとき使います。

6 VOLUME(ボリューム) **(音量調節)** 18

0(最小)〜40(最大)までの41段階に音量が調節できます。

7 CD1≜〜CD5≜* (CDトレイの開／閉) 16 25

CDトレイを開／閉するとき使います。

8 CDトレイ 25

9 PHONES(ホーンズ) **(ヘッドホン) 端子**

ヘッドホン(別売り)をつなぎます。プラグを接続するとスピーカーから音は出なくなります。

10 MD≜ (MD取出し)* 16 33

MDを取り出すとき使います。

MD ▷/II* 16 32〜36 47

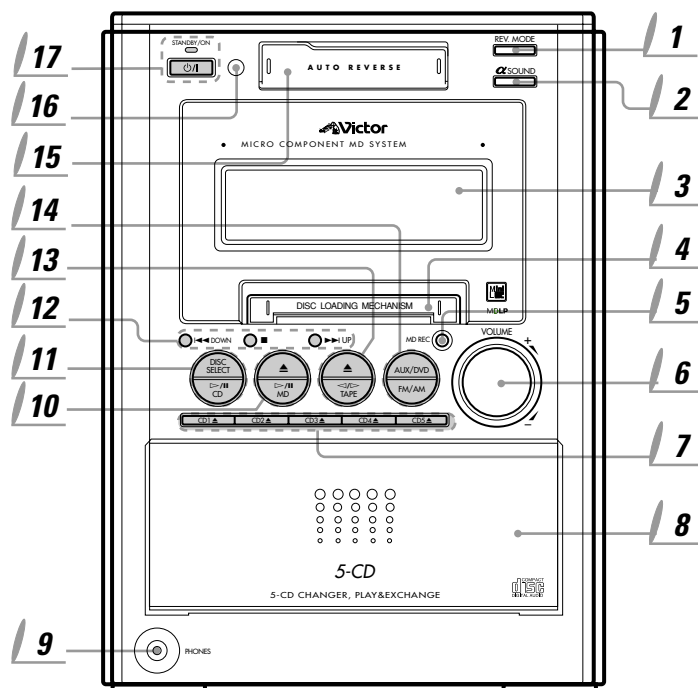
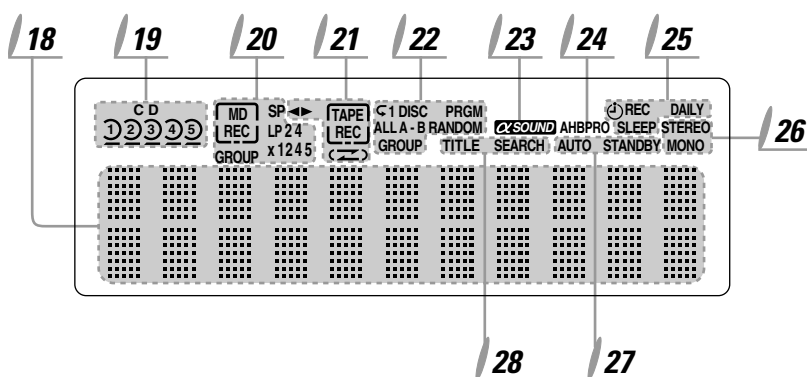
ソース(音源)をMDにするとき使います。MD演奏中に押すと、一時停止になります。

11 DISC SELECT(ディスク セレクト) 26

演奏するCDを選ぶとき使います。

CD▷/II* 16 25〜29 45 47〜49

ソース(音源)をCDにするとき使います。CD演奏中に押すと、一時停止になります。

表示窓

12 |◀◀ DOWN、■、▶▶| UP

CD、MD、テープの早送り、早戻し(巻戻し)、頭出し、停止、時刻やタイマーの設定、MDの編集などに使います。

13 TAPE▲ (テープ取出し)* [16] [40]

テープを取り出すとき使います。

TAPE ◁ ▷ * [16] [39] [46]

ソース(音源)をTAPEにするとき使います。
テープ再生中に押すと、テープの走行方向(順方向/逆方向)を変えることができます。

14 AUX/DVD* [16] [41] [46] [47]

ソース(音源)をAUXにするとき使います。

FM/AM* [16] [22] [24] [46] [47]

ソース(音源)をラジオ放送にするとき使います。
放送を受信中に押すと、受信バンド(FMまたはAM)が切換わります。

15 テープ挿入口 [39]

16 リモコン受光部 [15]

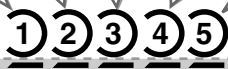
17 ⏻/I (電源)、STANDBY/ONランプ [16]

電源を「入/切」するとき使います。
「入」のときSTANDBY/ONランプが緑色に点灯します。
「切」のときSTANDBY/ONランプが赤く点灯します。

18 情報表示部

タイトル名、グループ、曲(トラック)番号、録音・演奏時間など、さまざまな情報を表示します。

19 CD表示 [26]

CDトレイを開くと点灯し、CDが入っていないことが確認されると消灯します。

演奏中または選ばれているのCD番号のマークが点灯します。

20 MD表示 [44]

MDの録音モード、編集モードが表示されます。
MDを入れると「MD」が点灯します。
MDが録音状態のときは、「REC」が点滅します。

21 TAPE表示 [39]

テープを入れると「TAPE」が点灯します。
テープが録音状態のときは、「REC」が点滅します。

◀ ▶ ：テープの走行方向を表示します。
▶が順方向(おもて面)、◀が逆方向(うら面)を表します。

(⇄) ：リバースモードの設定を表示します。
- ⇄ ：片道の録音・再生
- ⇄) ：往復の録音・再生
- (⇄) ：連続再生

22 プレイモード表示 [28]～[31] [34]～[37]

- ↻1 DISC / ALL A - B ：CDまたはMDのリピート演奏のモードを表示します。
- PRGM ：CDまたはMDでプログラム演奏するとき点灯します。
- RANDOM：CDまたはMDでランダム演奏するとき点灯します。
- GROUP ：MDでグループ演奏するとき点灯します。

23 αSOUND表示 [19]

アルファサウンドがオンのとき点灯します。

24 AHB PRO表示 [18]

重低音を強調するAHB PROがオンのとき点灯します。

25 タイマー表示 [62] [64] [66]

- ⏲REC ：録音タイマー表示
- ⏲DAILY ：目覚ましタイマー表示
- ⏲SLEEP ：スリープタイマー表示

26 FM放送受信モード表示 [23]

- STEREO ：FMステレオ放送を受信すると、自動的に表示されます。
- MONO ：モノラル受信を選んだとき表示されます。

27 AUTO STANDBY表示 [67]

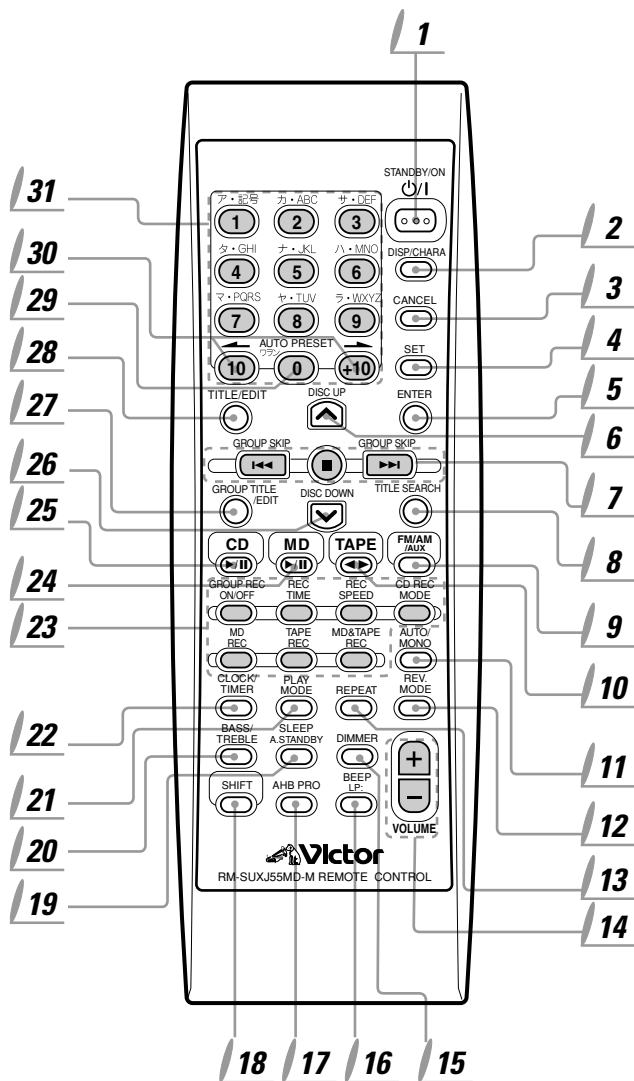
オートスタンバイ機能がオンのとき点灯します。

28 TITLE SEARCH表示 [38]

MDのタイトルサーチをしているとき点灯します。

準備

リモコン（RM-SUXJ55MD-M）

＊印のボタンを押すと電源も「入」になります(➡ [16] ページ参照)。

• 本体と同じ名前(記号)のボタンは、本体と同じ働きをします。

1 ⏻/I（電源） [16]

2 DISP/CHARA [16] [23] [27] [33] [38] [40] [45] [46] [48] [58]

表示窓の表示を切換えたり、文字を入力するとき使います。MDが入っていると、録音残量の確認ができます。省エネモード(表示窓「消灯」)にすることもできます。

3 CANCEL [17] [28] [34] [38] [51] [52] [54]～[65]

4 SET [17] [21] [24] [31] [41] [42] [46] [51] [54]～[57] [59]～[65]

5 ENTER [38] [51] [52] [54]～[57] [59]～[61]

6 DISC UP [26] [28] [45] [49]

演奏するCDを選びとき使います。次のCDを選びます。

7 I◀◀、■、▶▶I

CD、MD、テープの早送り、早戻し(巻戻し)、頭出し、停止、時刻やタイマーの設定、MDの編集などに使います。

SHIFTを押しながら操作すると
SHIFTを押しながらI◀◀または▶▶Iを押すと、MDのグループの最初の曲の頭出しができます。

8 TITLE SEARCH [38]

MDのタイトルを検索するとき使います。

9 FM/AM/AUX* [16] [22] [24] [46] [47]

ラジオ放送またはAUXを選択するとき使います。押すごとに、「FM」➡「AM」➡「AUX」➡「FM」…の順に切換わります。

10 TAPE ◀ ▶ * [16] [39] [46]

11 AUTO/MONO [23]

FMステレオ放送をモノラル受信に切換えるとき使います。

12 REV. MODE [39]

テープのリバースモードを変えるとき使います。

13 REPEAT [30] [37]

CDやMDをくり返し演奏するとき使います。

14 VOLUME（音量調節）＋、－ [18]

15 DIMMER [20]

パネルの照明と表示窓を暗くするとき使います。
電源「切」のとき、時刻を音で確認することもできます。

16 BEEP/LP： [20] [44]

操作確認音を設定するとき使います。

SHIFTを押しながら操作すると
MDに録音するとき、曲タイトルの頭にLP: を「つける／つけない」の設定をすることができます。

17 AHB PRO [18]

重低音を強調するとき使います。

18 **SHIFT** 36 44 54～57 67

19 **SLEEP/A.STANDBY**（スリープ） 66 67

おやすみタイマーを設定するとき使います。

SHIFTを押しながら操作すると
オートスタンバイ機能の「オン／オフ」をすることができます。

20 **BASS/TREBLE**（バス／トレブル） 18

音質の設定をするとき使います。

21 **PLAY MODE**（プレイ　モード） 28 34～36

CDやMDのプログラム演奏、ランダム演奏をするとき使います。

22 **CLOCK/TIMER**（クロック/タイマー） 17 62 64

時計、DAILYタイマー、RECタイマーを設定するとき使います。

23 **録音設定ボタン** 44～49

GROUP REC ON/OFF（グループ　レック）：MDのグループ録音をするとき使います。
REC TIME（レック　タイム）：MDの録音モードを設定するとき使います。
ソース（音源）ごとに設定できます。
REC SPEED（レック　スピード）：CDをMDに録音するときの録音スピードを設定するとき使います。
CD REC MODE（レック　モード）：CDを録音するときの録音の種類を選ぶとき使います。
MD REC（レック）：MDの録音を開始するとき押します。
TAPE REC（テープ　レック）：テープの録音を開始するとき押します。
MD & TAPE REC（テープ　レック）：MDとテープの同時録音を開始するとき押します。

24 **MD ▶/II*** 16 32～36 47

25 **CD ▶/II*** 16 25～29 45 47～49

26 **DISC DOWN**（ディスク　ダウン） 26 28 45 49

演奏するCDを選びとき使います。前のCDを選びます。

27 **GROUP TITLE/EDIT**（グループ　タイトル　エディット） 50 54～57

MDのグループを編集するとき使います。

28 **TITLE/EDIT**（タイトル　エディット） 50 58～61

MDを編集するとき使います。

29 **AUTO PRESET**（オート　プリセット） 24

ラジオの放送局を自動で記憶させるとき使います。

30 **10、+10** 21 38 51 52 59

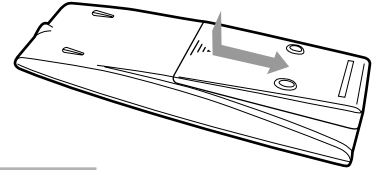
MDの編集やパネル照明の設定をするとき使います。

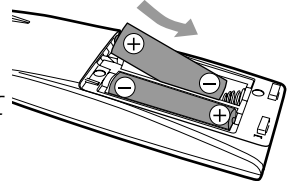
31 **数字ボタン (0～10、+10)**

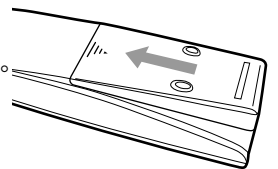
CDやMDのダイレクト選曲や、ラジオのプリセット選局、MDの編集などに使います。

リモコンの準備

単３形の乾電池２本をリモコンに入れます。

1 裏ぶたをあける

2 乾電池を入れる

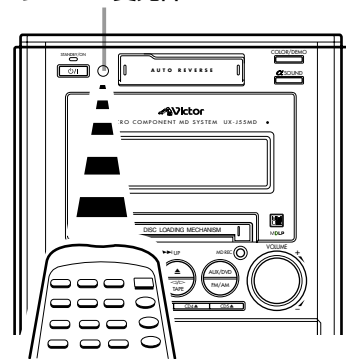
単3形乾電池を2本入れます。
リモコン内部の表示に極性を合わせ、⊕/⊖を正しく入れてください。

3 裏ぶたをしめる

「カチッ」と音がしてしまります。

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 一度使用した電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池と混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れなどの原因となります。

リモコンの操作

リモコンを使うときは、本体正面に向けて正しく操作してください。極端に斜めの方向から操作したり手前に障害物があると、信号が届かなくなります。

リモコン受光部

- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
交換するときは、2本とも同じ種類の新しい単3形乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

電源の「入/切」について

本　体

リモコン

電源を「入」にする

⏻/I (電源)を押す

STANDBY/ONランプが緑色に変わります。

- 前回、電源を切ったときのソース(音源)で電源が**「入」**になります。

イチ押しボタンを使う

電源が「切」のとき、下表のボタンを押すと電源が「入」になり、ソース(音源)も切換わります。

本　体	リモコン	ソース(音源)	動　　作
▷/II CD	CD ▶/II	**CD**	CDが入っていると、演奏が始まります。
▷/II MD	MD ▶/II	**MD**	MDが入っていると、演奏が始まります。
◁/▷ TAPE	TAPE ◀▶	テープ **(TAPE)**	テープが入っていると、再生が始まります。
FM/AM	FM/AM /AUX	ラジオ放送 **(FM/AM)**	電源を切る前の放送局を聞くことができます。
AUX/DVD		**AUX**	AUX/DVD端子に接続した機器の音声を聞くことができます。

次のボタンは本体のみで操作できます。ただし、ソース(音源)は切換わりません。

- **CD1▲～CD5▲**のいずれかを押すと電源が入り、CDトレイが出てきます。
- MDが入っているとき、**MD ▲**を押すと電源が入り、MDが出てきます。
- テープが入っているとき、**TAPE ▲**を押すと電源が入り、テープが出てきます。

電源を「切」にする

⏻/I (電源)を押す

STANDBY/ONランプが赤に変わります。

- パネルと表示窓の照明が消え、省エネモードが解除されていると現在時刻が表示されます。
- CDトレイが出ているときは、トレイが自動的に中に入ってから電源が「切」になります。

省エネモード(表示窓「消灯」)にするには

電源「切」のときの時刻表示を消したいときは、電源「切」のままでリモコンの**DISP/CHARA**を押します。
「**DISPLAY OFF**」が表示され、時刻が表示されなくなります。また消費電力も11Wが1Wになります。

省エネモードを解除(表示窓「点灯」)するには

電源「切」のままでリモコンの**DISP/CHARA**を押します。
「**DISPLAY ON**」が表示されたあと、時刻が表示されます。

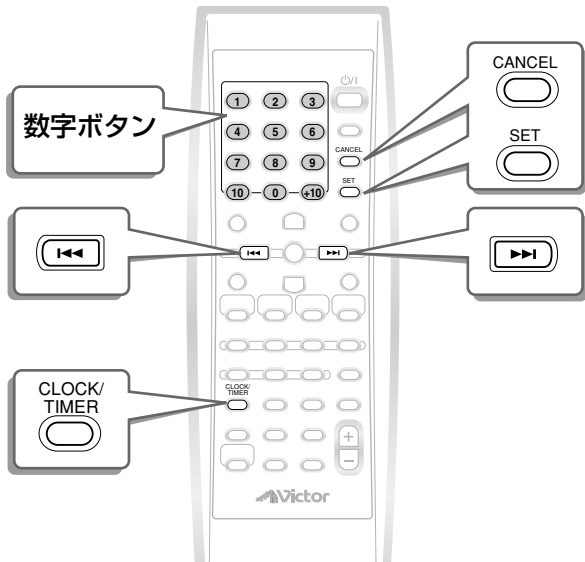
ご注意

- 省エネモード(表示窓「消灯」)のときは、電源「切」のときの消費電力を抑えているため、MDを入れることはできません。無理に押し込むと故障の原因となります。

UX-J55MD-S/UX-J60MD-W/UX-J60MD-Mのみ

- 電源が「切」のときに本体の**COLOR/DEMO**を押すと、デモ表示機能が働きます。

時計を合わせる

時計を現在時刻に合わせておきます(24時間表示方式)。正しく設定しないとタイマー機能を使うことができません。
- **電源が「入/切」どちらの状態でも設定できます。**

ご注意

- この時計は、月に1分程度のズレを生じます。タイマー操作をするときは、事前に時刻を設定し直してください。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「0:00」表示に戻ります。もう一度正しい時刻に合わせ直してください。

例:午前10時10分に合わせるとき

1 CLOCK/TIMER **を押す**

「時」表示が点滅します。

- 時計が設定されていないときは、「0:00」と表示され、「0」が点滅します。

2 ▶▶I(またはI◀◀)**をくり返し押して「時」を10に合わせる**

- ▶▶I(またはI◀◀)を押し続けると、連続して変わります。

3 SET **を押す**

10:00

「時」が設定され、「分」表示の点滅に変わります。

- 「時」を修正するときは、CANCELを押します。「時」の点滅表示に戻ります。

4 ▶▶I(またはI◀◀)**をくり返し押して「分」を10に合わせる**

5 SET **を押す**

10:10

「時刻」が設定されます。電源「入」で設定したときは、約2秒でソース(音源)の表示に戻ります。

時刻を数字ボタンで合わせる

手順2と**4**のとき数字ボタンを使って「時」と「分」を合わせます。

午前12時にする　：+10 ➡ 2

午後8時にする　：+10 ➡ 10

（または +10 を2回押したあと 0 を押す）

SETを押したあと

25分にする　：+10 ➡ +10 ➡ 5

30分にする　：+10 ➡ +10 ➡ 10

時刻を正確に合わせるには

テレビ放送の時刻表示や電話の時報案内などを利用してください。時報などに合わせて、**手順5**で**SET**を押すと、正確に合わせることができます。

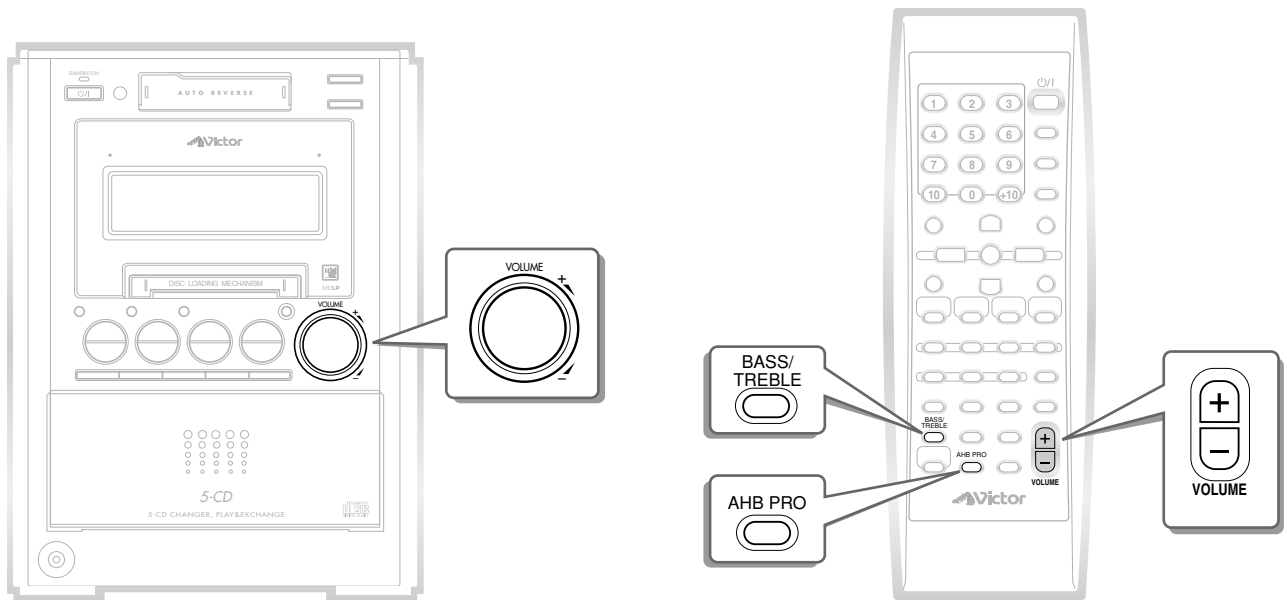
時刻を修正するときは

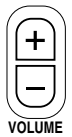
CLOCK/TIMERを3回押して、時計を表示させてから修正してください。

準備

音量・音質を調節する

ご使用になる環境やソース(音源)に応じて、音量の調節や音質の設定をします。

• 電源が「入」の状態で操作します。

音量を調節する

音量は0〜40の範囲で調節できます。

を押して音量を調節する

• 本体は、VOLUMEを回して調節します。

音質を調節する

お好みの音質に調節することができます。

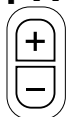
1 BASS/TREBLE を押す

• 押すごとに、「BASS」⟷「TREBLE」と切換わります。

BASS　：低音を調節するとき選びます。

TREBLE：高音を調節するとき選びます。

5秒以内に

2 表示窓に「BASS」または「TREBLE」が表示されている間に、VOLUME を押して音質を調節する

• 本体は、VOLUMEを回して調節します。

• 音質は－5〜０〜+5の範囲で調節できます。

• 調節から5秒後にもとのソース(音源)の表示に戻ります。

重低音を強調する

重低音を強調したいときや小さな音量で聞くときに使います。

AHB PRO を押す

• 押すごとに「AHB ON」⟷「AHB OFF」が選べます。「AHB ON」にすると表示窓にAHB PRO*が表示され、よりクリアで迫力のある重低音が楽しめます。

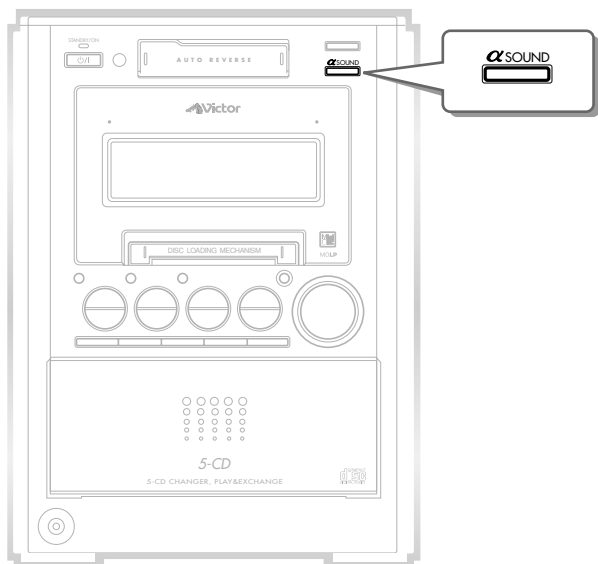
＊ AHB PROとは…

Active(アクティブ) Hyper(ハイパー) Bass(バス) PRO(プロ)の略字で、クリアで迫力ある重低音が楽しめます。

お知らせ

• 音量や音質調節は、スピーカーやヘッドホンの音に効きます。録音される音には影響がありません。

αサウンドを使う

α波周波数のゆらぎで、いやしを目指したαサウンド*をお楽しみください。
• 電源が「入」の状態で操作します。

＊αサウンドとは…

α波は、人がリラックスしているときに発生する脳波の一つと言われています。ビクターのαDIMENSION SOUNDは、サラウンド回路の要である左右差信号（L-R間接音）にα波周波数でゆらぎを与え（これをLFO変調といいます）、さらに抜け落ちやすい中音域の音楽信号を自然に補正することにより、聞くだけでリラックスできるような自然で心地よい音づくりを目指しました。

αSOUND を押す

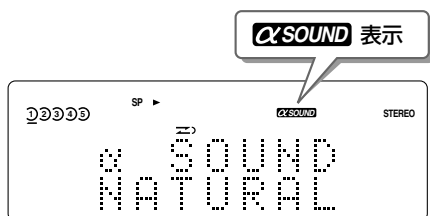
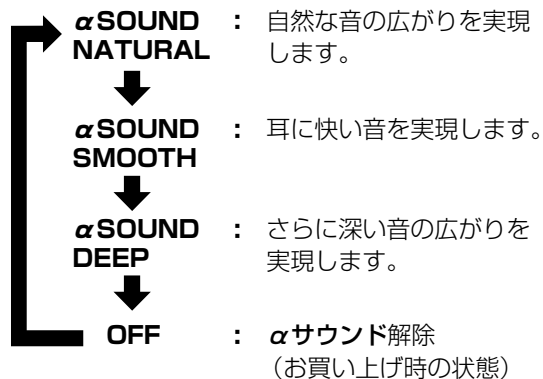
• αサウンドを「オン」にすると αSOUND 表示が点灯し、ひろがりのある音が楽しめます。

• 押すごとに次のように変わります。

αSOUND NATURAL ： 自然な音の広がりを実現します。

αSOUND SMOOTH ： 耳に快い音を実現します。

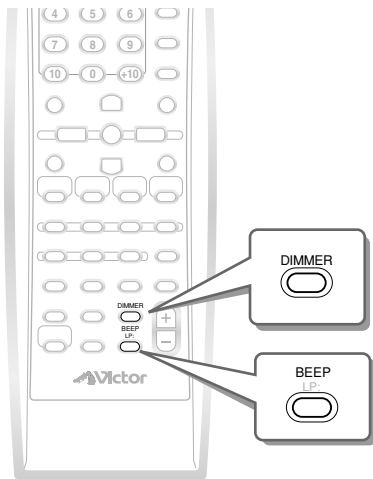
αSOUND DEEP ： さらに深い音の広がりを実現します。

OFF ： αサウンド解除（お買い上げ時の状態）

お知らせ

• αSOUNDは、スピーカーやヘッドホンの音に効きます。録音される音には影響がありません。

準備

便利な機能

確認音(ビープ音)の設定や表示窓の明るさを変えるディマー機能の設定、時刻を音で確認することができます。

確認音(ビープ音)を設定する

ボタン操作をするごとに、「ピッ」「ピピッ」などの確認音が鳴ります。確認音は鳴らないように設定することもできます。

を押す

- 押すごとに、**「BEEP ON」**または**「BEEP OFF」**に切換わります。

  BEEP ON ：確認音が鳴ります。
  BEEP OFF：確認音は鳴りません。

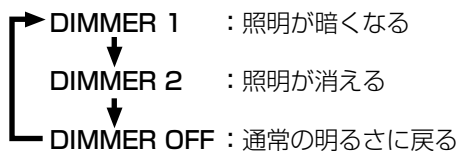
- ビープ音は、音量(VOLUME)に関係なく「BEEP ON」にすると鳴ります。また、ヘッドホンの有無も関係ありません。

一時的に表示窓を暗くする(ディマー機能)

DIMMER

を押す

- 押すごとに表示窓の明るさが次のように変わります。

DIMMER 1 ：照明が暗くなる
↓
DIMMER 2 ：照明が消える
↓
DIMMER OFF：通常の明るさに戻る

時刻を音で確認する

「BEEP ON」(左の説明「確認音を設定する」参照)のとき、時刻を音でお知らせする機能があります。
電源「切」のときに操作します。

DIMMER

を押す

表示窓に「DIMMER OFF」が表示されます。

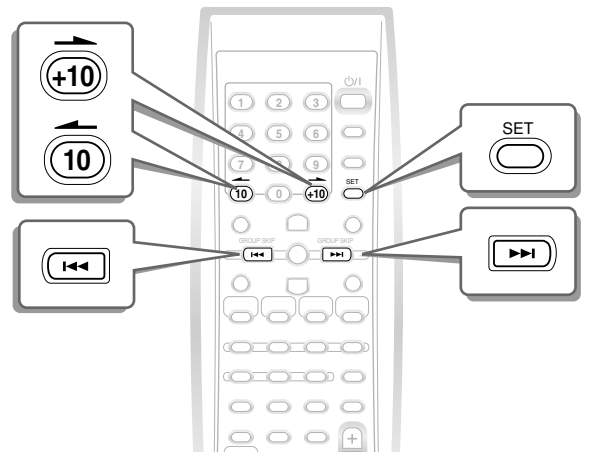
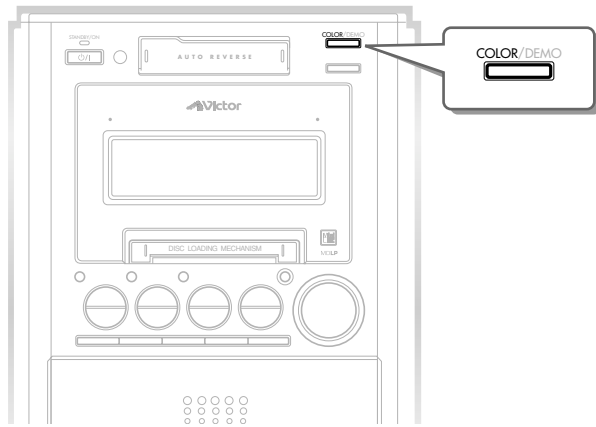
時刻を4ケタの数とみなして、千の位から一ケタずつ「ド、ミ、ソ、ド」のように音を変えながら、各位の数を音の回数でお知らせします。

- 音の種類は3種類あります。

  長い音　　　：「0」を示します
  短い音　　　：「1～4」を示します
  短い連続5音：「5」を示します。「6」以上は、この音の後に**短い音**が続きます。

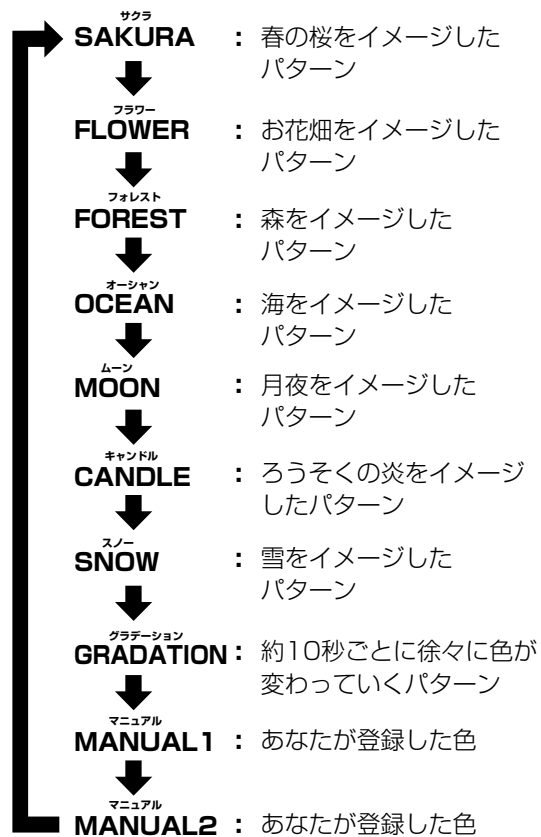
例：時刻表示が「9：35(午前9時35分)」のとき
4ケタの数「0935」とみなします。
「0」･･･長い音　(ド)
「9」･･･短い連続5音+短い音4回　(ミ)
「3」･･･短い音3回　(ソ)
「5」･･･短い連続5音　(ド)

照明を調節する(UX-J55MD-S/UX-J60MD-W/UX-J60MD-Mのみ)

本機は、パネルの照明を調節することができます。また、お好みに合わせて色を調節することもできます。
• 電源が「入」の状態で操作します。

照明のパターンまたは色を選ぶ

本体の COLOR/DEMO を押す

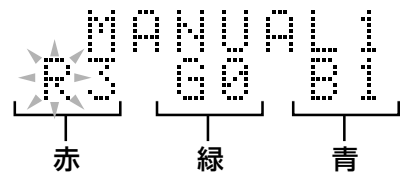
現在設定しているパターン名が表示されます。
- 押すごとに次のように変わります。
  パターン名を選ぶと、約4秒でもとのソース(音源)の表示に戻ります。

SAKURA(サクラ)	春の桜をイメージしたパターン
FLOWER(フラワー)	お花畑をイメージしたパターン
FOREST(フォレスト)	森をイメージしたパターン
OCEAN(オーシャン)	海をイメージしたパターン
MOON(ムーン)	月夜をイメージしたパターン
CANDLE(キャンドル)	ろうそくの炎をイメージしたパターン
SNOW(スノー)	雪をイメージしたパターン
GRADATION(グラデーション)	約10秒ごとに徐々に色が変わっていくパターン
MANUAL1(マニュアル)	あなたが登録した色
MANUAL2(マニュアル)	あなたが登録した色

お好みの色を作る

光の三原色の赤(R:red)、緑(G:green)、青(B:blue)を組み合わせてお好みの色を作ります。

1 本体の COLOR/DEMO をくり返し押して「MANUAL1」または「MANUAL2」を選ぶ

例:MANUAL1のとき

赤　緑　青

2 +10 (または 10)を押して調節する色を選ぶ

- 約8秒間ボタンを押さないでいると、もとのソース(音源)の表示に戻ります。

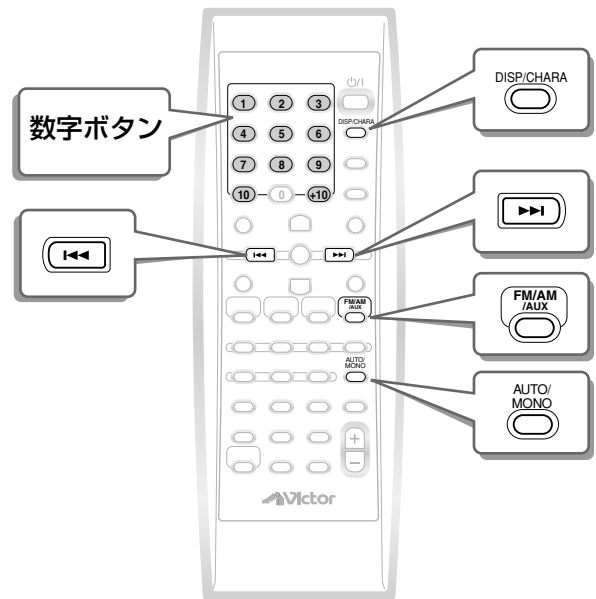
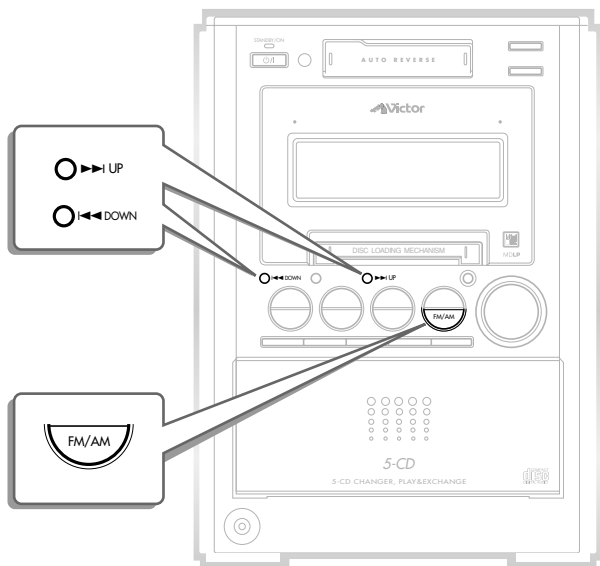
3 ▶▶I (または I◀◀) をくり返し押して選んだ色を調節する

- 各色は0〜3の範囲で調節できます。
  調節をしたあとは、SETを押して確定します。もとのソース(音源)の表示に戻ります。

ご注意

- 設定した照明の色は、いつも正確に同じ色になるとは限りません。本機の使用環境(室内温度など)や長期間の使用による変化などのため、色合いが異なって見えることがあります。
- ディマー機能と合わせて使う場合、同じ設定でも多少異なった色合いに見えることがあります。

ラジオ放送を聞く

FMまたはAMのラジオ番組を受信することができます。

オート選局/マニュアル選局

放送局を選ぶ方法には、オート選局とマニュアル選局があります。

1 **FM/AM /AUX (本体は FM/AM)を押してFMまたはAMを選ぶ**

ソース(音源)がラジオ放送になります。
- 押すごとに次のように切換わります(本体のFM/AMを押すと、FMまたはAMに切換わります)。

2 **▶▶I (または I◀◀)を押して放送局を選ぶ**

- 本体は ▶▶I UP(またはI◀◀ DOWN)を押します。

2つの選局方法があります。

オート選局	：▶▶I(またはI◀◀)を押し続け、周波数が変わり始めたらボタンを離します。十分に電波の強い放送局を受信すると自動で止まります。 途中で止めるときは、▶▶I(またはI◀◀)を「ポン」と押します。
マニュアル選局	：▶▶I(またはI◀◀)を押すごとに周波数が変わります。▶▶Iを押すと周波数が上がり、I◀◀を押すと下がります。

- FMステレオ放送を受信すると、STEREO表示が点灯します。
- 電波が弱く、オート選局が自動で止まらないときはマニュアル選局に切換えてください。

記憶(メモリー)した放送局を選局する

「放送局を記憶させる」(➡ 24 ページ参照)の操作で記憶(メモリー)させた放送局を呼び出します。
リモコンの数字ボタンを使います。

1 **FM/AM /AUX (本体は FM/AM)を押してFMまたはAMを選ぶ**

2 **数字ボタン(1～10、+10)で放送局を選ぶ(プリセット選局)**

1～10のプリセット番号を選局するとき

数字ボタンの ① ～ ⑩ のいずれかを押します。

11以上のプリセット番号を選局するとき

15を選局する：+10 ➡ 5
20を選局する：+10 ➡ 10
と押します。

21以上のプリセット番号を選局するとき

25を選局する：+10 ➡ +10 ➡ 5
30を選局する：+10 ➡ +10 ➡ 10
と押します。

受信中はプリセット番号と受信周波数が表示されます。

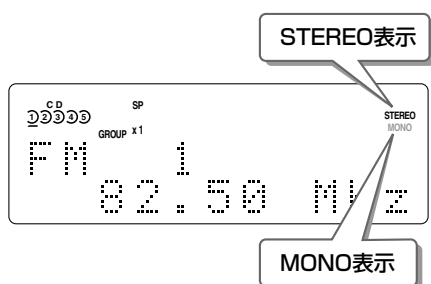
お知らせ

- マニュアル選局の場合、FM放送では0.05 MHzずつ、AM放送では9 kHzずつ周波数が変わります。

FM放送	0.05MHzずつ	：76.00MHz〜108.00MHz
AM放送	9kHzずつ	：531kHz〜1629kHz

- 本機は、テレビ1ch：95.75 MHz、2ch：101.75 MHz、3ch：107.75 MHzの音声を受信することができます。
- 電源を「切」にしたり他のソース(音源)に切換えたとき、最後に受信していた放送局が記憶されます。再びラジオ放送に切換えると、同じ放送局が受信できます。
- **本機は AM ステレオ放送には対応しておりません。**

受信モードを切換える

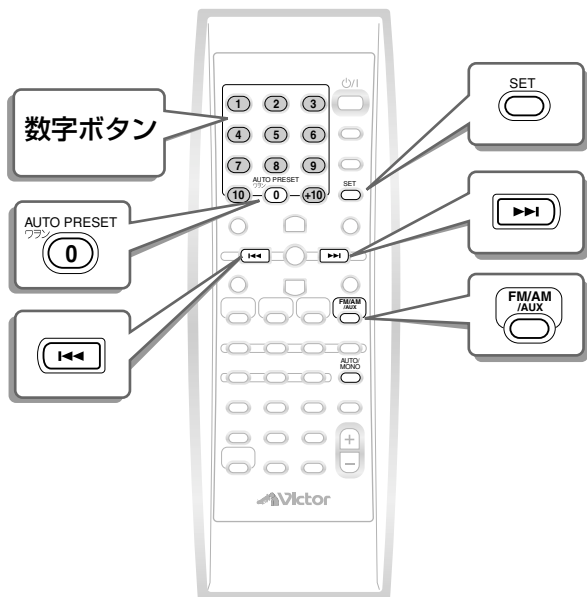
- FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、リモコンのAUTO/MONOを押します。MONO表示が点灯し、聞きやすくなることがあります(このとき音声はモノラルになります)。別の放送局を受信すると自動的にステレオ受信に変わり、STEREO表示が点灯します。

放送受信中に時計やMDの録音残量表示を見るには

DISP/CHARAを押します。時計表示に切換わります。
MDが入っているときは、DISP/CHARAを押すごとに、MDの録音残量表示➡時計表示と切換わります。
もう一度押すと、放送受信中の表示に戻ります。

聞く

放送局を記憶させる (プリセット)

選局した放送局を記憶(メモリー)しておくと、簡単に呼び出すことができます。
放送局を記憶させる方法には、選局から記憶までを自動で行う**オートプリセット**と、手動で選局と記憶を行う**マニュアルプリセット**があります。

- AM放送は最大15局、FM放送は最大30局まで記憶させることができます。
- **リモコンで操作します。**

ご注意

- 電源コードをコンセントから抜いたり停電があると、記憶(メモリー)した放送局が消去されることがあります。

オートプリセット

1 FM/AM /AUX (本体は FM/AM)を押してFMまたはAMを選ぶ

2 AUTO PRESET 0 を2秒以上押す

受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。

- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットの最大数(FMで30局、AMで15局)まで記憶されると、オートプリセットは終了します。
- 雑音の多い放送局もプリセットされることがあります。このようなときは、マニュアルプリセットで選び直してください。
- 前に記憶されていた放送局があっても、新しくプリセットされた放送局が上書きされます。
  オートプリセットが終了すると、プリセット番号1に記憶した放送局が受信されます。

マニュアルプリセット

1 FM/AM /AUX (本体は FM/AM)を押してFMまたはAMを選ぶ

2 ▶▶I (または I◀◀)を押して記憶させる放送局を選ぶ

➡ 22 ページ「オート選局/マニュアル選局」参照。

3 SET を押す

プリセット番号1が点滅します。

- 約5秒間点滅します。その間に次の操作をしないときは、**手順2**に戻ります。

5秒以内に

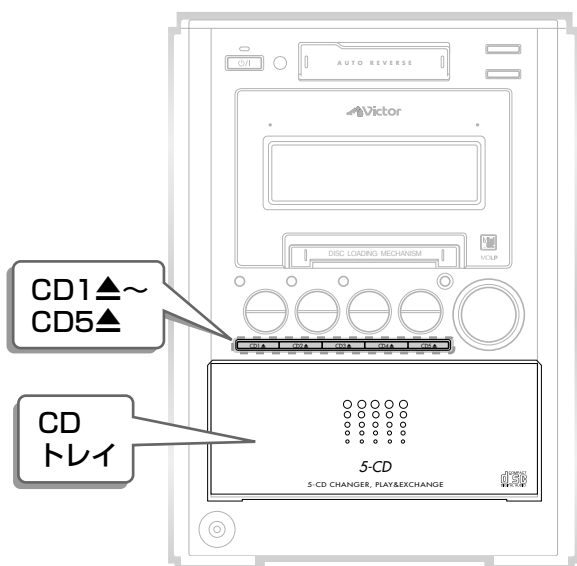
4 ▶▶I (または I◀◀)または数字ボタンを押してプリセット番号を選ぶ

- すでに記憶されていたプリセット番号を指定すると、新しく選んだ放送局が上書きされます。
- 数字ボタンの使いかたは、22ページの「記憶(メモリー)した放送局を選局する」を参照してください。

5 SET を押す

約2秒間、「STORED」が表示されます。表示が消えると記憶(メモリー)されます。

CDを入れる

本機は、最大5枚のCDが収納できるチェンジャータイプのCDプレーヤーを搭載しています。

CD についているマークを確認して

文字のある面に 、 または のいずれかマークが入っているCDをお使いください。DVDやビデオCDは再生できません。

- 本機では、CD規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CD-R/CD-RW ディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理されているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが演奏できます。
  ただし、ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
- MP3 などの音声ファイルの再生または CD テキストの表示には対応しておりません。
- 音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

ご注意

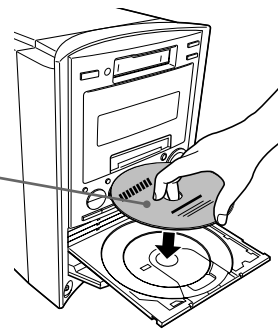
- キャッシュカードや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、CDトレイと形状が合わないため、故障の原因となります。絶対に使用しないでください。
- CDにセロハンテープが張ってあったり、レンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとのあるCDは使用しないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、CDが取り出せなくなるなど故障の原因となります。

例：CD1 に入れるとき

1 CD1▲ を押す

- CDを入れたいCD番号の▲を押します。
  指定したCDトレイが出てきます。

2 文字のある面を上にしてCDを置く

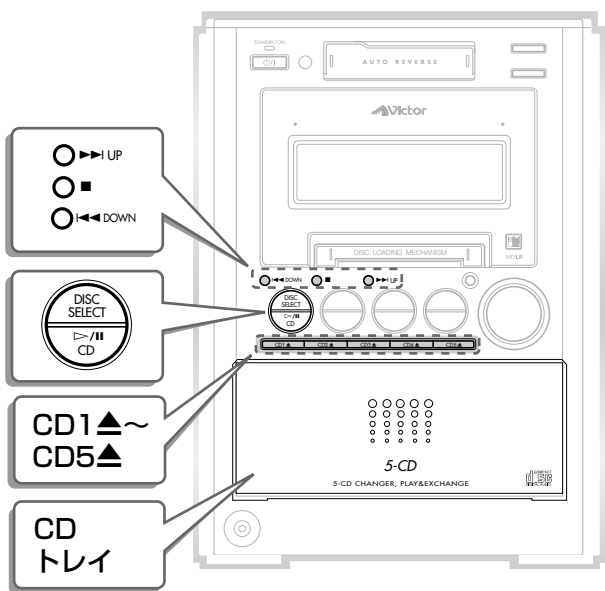
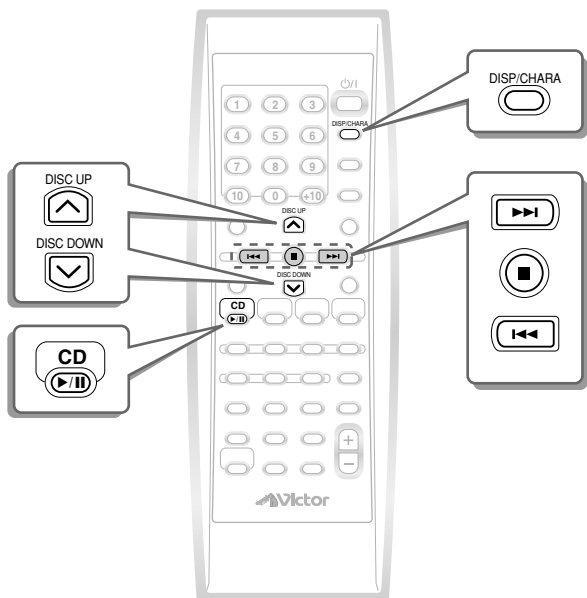
- 8センチCDは、CDトレイ内の凹部に置きます。
- CDトレイは、一番下がCD1、一番上がCD5になります。

3 CD1▲ を押す

- **手順 1** と同じ▲を押します。表示窓にCD番号と**「CLOSE」**が表示され、CDトレイが引き込まれます。
- **手順 1〜3**と同様の操作をCD2〜CD5ですると、CDを5枚まで入れることができます。
- ソース（音源）がCDのときは、入れたCDの情報が読み込まれるとCDの総曲数と総演奏時間が表示されます。

CDを続けて入れる

CDを続けて入れるときは、CDトレイを戻すときに次に入れるCD番号の▲を押します。一度CDトレイが戻ってから、▲を押したCD番号のトレイが出てきます。一枚ずつ入れてください。

CDの連続演奏（基本操作）

5枚のCDを連続演奏します。

1 CD1～CD5にCDを入れる

- 「CDを入れる」(➡ 25 ページ参照)

2 リモコンで操作するとき:

DISC UP（または DISC DOWN）を押して演奏するCDを選ぶ

本体で操作するとき:

DISC SELECT を押して演奏するCDを選ぶ

押すごとに次のように変わります。

CD1 ➡ CD2 ➡ CD3 ➡ CD4 ➡ CD5

- ソース（音源）がCD以外のときは、次のように表示されます。
  表示されている間に**手順3**の操作をします。

例：CD1 を選んだとき

3 リモコンで操作するとき:

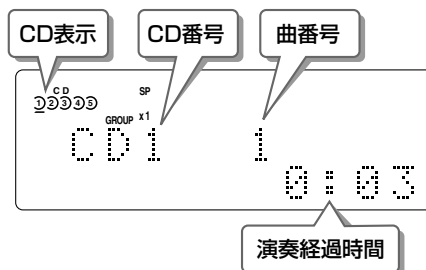
CD ▶/II を押す

本体で操作するとき:

▷/II CD を押す

選んだCDから演奏が始まります。

- CDの演奏順は 27 ページの「CDの演奏順番」をご覧ください。
- **手順2**でCDを選ばずにCD ▶/II（本体のときはCD ▷/II）押すと、そのとき選ばれているCDから演奏が始まります。

例：CD1 を演奏中の表示窓

CDの演奏順番

CDの演奏順は次のようになります。

CD1 ➡ CD2 ➡ CD3 ➡ CD4 ➡ CD5

演奏を開始したCDの前のCD番号のCDの演奏が終わると自動停止します。
CD1から演奏を開始したときは、CD5の演奏が終わると自動停止します。
CD3から演奏を開始したときは、CD2の演奏が終わると自動停止します。
また、CDが入っていないトレイは飛ばして演奏します。

一時停止する

CD ►/IIを押します。

- 演奏経過時間が点滅し「BEEP ON」に設定されていると「ピッ」音が鳴り続けます。もう一度押すと、停止したところから演奏が始まります。

演奏を停止する

■を押します。

- 総曲数と総演奏時間が表示されます。

CDを取り出す

取り出したいCDが入っているトレイの ▲ を押します。

- 演奏中のCD番号の ▲ を押すと、演奏が自動停止してからCDトレイが出てきます。

演奏中に他のCDに交換する

CDを演奏中に演奏していないCD番号の ▲ を押すと、演奏を中断しないでCDの交換ができます。このようにCDを交換したときは、CD演奏順の最後に交換したCDの演奏が終わると自動停止します。

曲の頭出しをする(スキップ)

演奏中に►►I(または I◄◄)を「ポン」と押します。演奏中の曲または次の曲の頭出しができます。くり返し押すと、さらに前後の曲の頭出しができます。

- 停止中に押すと、1曲ごとの演奏時間が表示されます。途中の曲からMDやテープに録音するときに便利です。

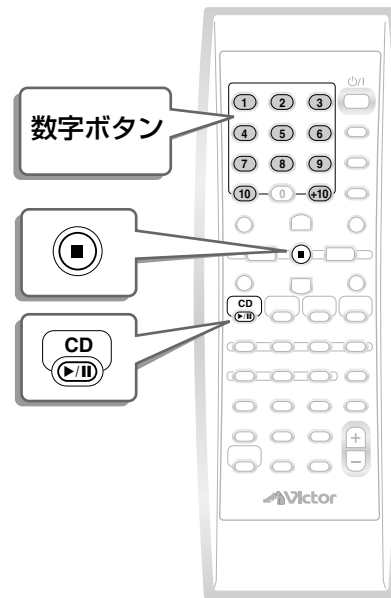
曲の早送り/早戻しをする(サーチ)

演奏中に►►I(または I◄◄)を押し続けます。聞きたいところで指を離すと、そこから演奏が始まります。

演奏中に時計やMDの録音残量表示を見るには

DISP/CHARAを押します。時計表示に切換わります。
MDが入っているときは、DISP/CHARAを押すごとに、MDの録音残量表示➡時計表示と切換わります。
もう一度押すと、演奏中の表示に戻ります。

聞きたい曲を指定する(ダイレクト演奏)

リモコンの数字ボタンを使います。

1 CD ►/II を押してから ■ を押す

ソース(音源)がCDになります。

2 聞きたい曲を数字ボタン(1〜10、+10)で選ぶ

1〜10の曲番号を選ぶとき

数字ボタンの 1 〜 10 のいずれかを押します。

11以上の曲番号を選ぶとき

15曲目を選ぶ：+10 ➡ 5

20曲目を選ぶ：+10 ➡ 10
と押します。

21以上の曲番号を選ぶとき

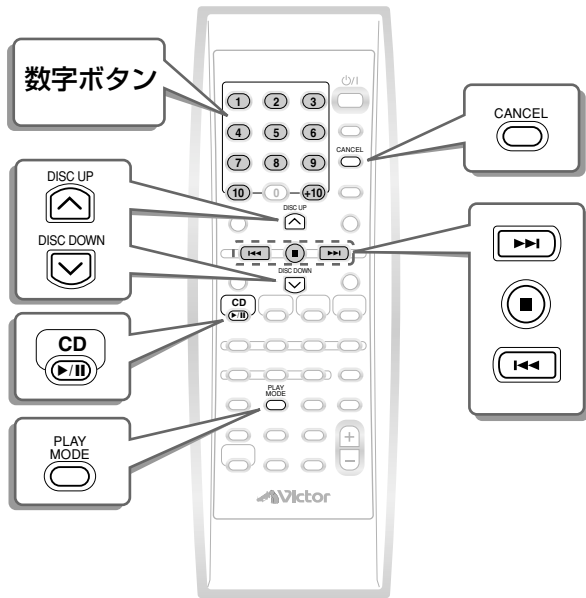
25曲目を選ぶ：+10 ➡ +10 ➡ 5

30曲目を選ぶ：+10 ➡ +10 ➡ 10
と押します。

押した数字の曲番号が表示され、ダイレクト演奏が始まります。

- 演奏中も別の曲に変更できます。聞きたい曲番号を選んでください。

CDのプログラム演奏

5 枚の CD からお好きな曲を好きな順番で、最大 32 曲までプログラムして聞くことができます。
リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(➡ 30 ページ「CDのリピート演奏」参照)。
演奏を停止してから、リモコンを使って設定します。

CDのプログラム演奏をする前に…

CDのプログラム演奏では、本機にCD情報が読み込まれているCDから曲を選ぶことができます。
CD情報の読み込みは次のように行います。

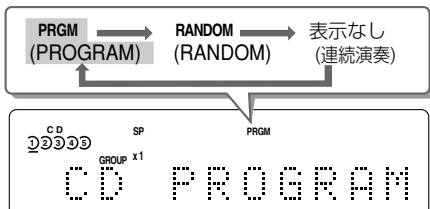
1. **CD ▶/II を押してソース(音源)をCDにする**
2. **DISC UP ∧ またはDISC DOWN ∨ を押して読み込むCDを選ぶ**
   表示窓にCDの総曲数と総演奏時間が表示されるまで待ちます。
   表示されると、CD情報読み込みが終了し、演奏が始まります。
   別のCDを読み込むときは、2の操作をくり返します。

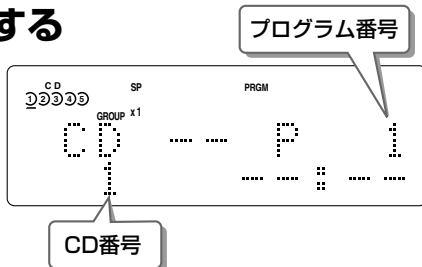
- CD情報が読み込まれていないCDを**手順3**で選ぶと、「CD＊ NO READ」(＊は選んだCD番号)と表示され選べません。このようなときは、PLAY MODEを2回押して、プログラム演奏のモードを解除してから、上記の操作でCD情報を読み込ませてください。

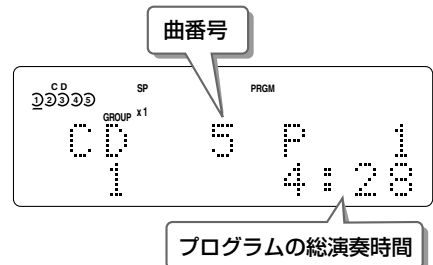
1 CD ▶/II を押してから を押す

ソース(音源)がCDになります。

2 PLAY MODE を押して「PROGRAM」を選ぶ

- 押すごとに、演奏モードは次のように切換わります。

- すでにプログラムがされているときは、CD番号、曲番号、プログラム番号が表示されます。

3 DISC UP (または DISC DOWN)を押してCDを指定する

4 数字ボタンを押して曲を指定する

- 数字ボタンの使いかたは 27 ページ「聞きたい曲を指定する(ダイレクト演奏)」を参照してください。

5 手順3と手順4をくり返してプログラムする

最大32曲までプログラムすることができます。同じ曲を32回プログラムすることもできます。

- 同じCDの曲を続けてプログラムするときは、**手順4**だけくり返します。
- プログラムを修正するときは、CANCELを押します。プログラムの最後の曲から順番に削除されます。
- 33曲目をプログラムすると、「MEMORY FULL」と表示され、これ以上はプログラムできません。
- プログラムの総演奏時間が1時間40分以上になると、総演奏時間は「－－：－－」と表示されます。

6 CD ▶/II を押す

プログラムした曲の演奏が始まります。

- プログラムした曲の演奏がすべて終わると自動停止します。

CDのランダム演奏

プログラムの内容を確認する

停止中に ►►I(または I◄◄)を押すと、プログラムの曲順を確かめることができます。

プログラム演奏を停止する

■ を押します。
プログラムの最後のCD番号、曲番号、総演奏時間を表示して、演奏が停止します。プログラム内容は変更されません。

プログラム演奏のモードを解除する

停止中にPLAY MODEをくり返し押して、表示を「PROGRAM」以外にします。
- プログラム内容は削除されません。再びプログラム演奏に切換えると、同じプログラム内容で楽しむことができます。

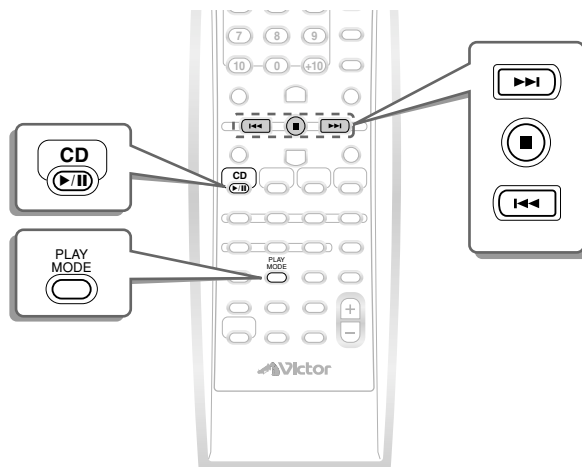
プログラム内容をすべて削除する

CDのプログラム演奏を停止し、PLAY MODEを押してプログラム以外の演奏モードにしてから、本体のCD1 ⏏〜CD5 ⏏を押してプログラムしたCDをすべて取り出します。

ご注意

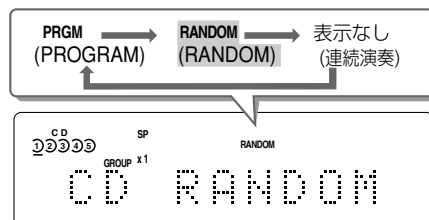
- CDがプログラム演奏モードのときは、聞いているソース(音源)に関係なくCDを取り出すことができません。
  このようなときは、ソース(音源)をCDにし、停止中にPLAY MODEを押してプログラム以外の演奏モードにしてからCDを取り出してください。

５枚のCDの曲を本機がランダム(無作為)に選んで演奏します。リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(➡ 30 ページ「CDのリピート演奏」参照)。
- ランダム演奏とリピート演奏を組み合わせると、ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。

演奏を停止してから、リモコンを使って設定します。

1 CD を押してから ■ を押す

ソース(音源)がCDになります。

2 PLAY MODE を押して「RANDOM」を選ぶ

- 押すごとに、演奏モードは次のように切換わります。

3 CD を押す

最初の曲の曲番号が表示され、演奏が始まります。
- ►►I を押すと、現在演奏中の曲を飛ばして演奏します。
- I◄◄ を押すと、演奏中の曲の頭出しをします。前の曲には戻れません。
- 収録されている曲の演奏がすべて終わると自動停止します。
- 一度演奏した曲は、再び選曲されません。

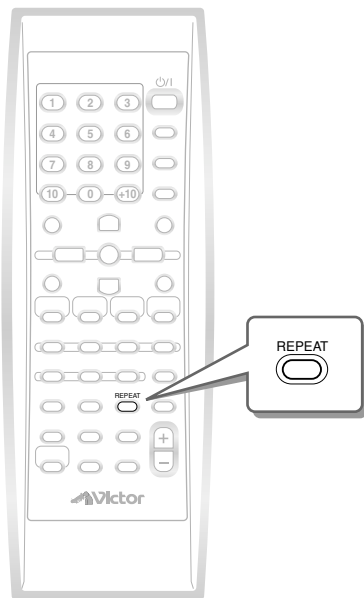
ランダム演奏を停止する

■ を押します。
「RANDOM」と表示したまま演奏が停止します。ランダム演奏のモードは解除されません。

ランダム演奏のモードを解除する

停止中にPLAY MODEをくり返し押して、「RANDOM」以外の表示にします。または電源を「切」にします。

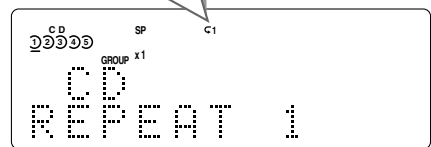
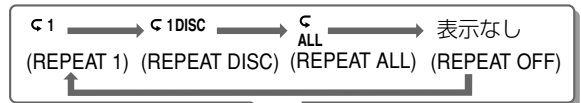
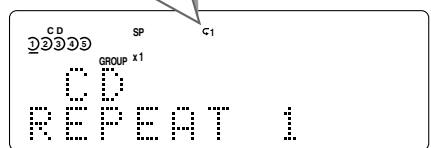
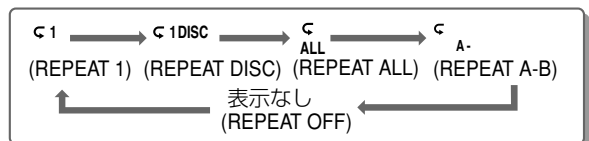
CDのリピート演奏

CDの演奏中や停止中に、聞きたい曲をくり返し演奏させることができます。
ソース(音源)がCDのとき、リモコンを使って設定します。

> **お知らせ**
> - A-Bリピート演奏以外のリピート演奏中に、数字ボタンや ►►I(または I◄◄)で他の曲のリピート演奏に切換えることができます。

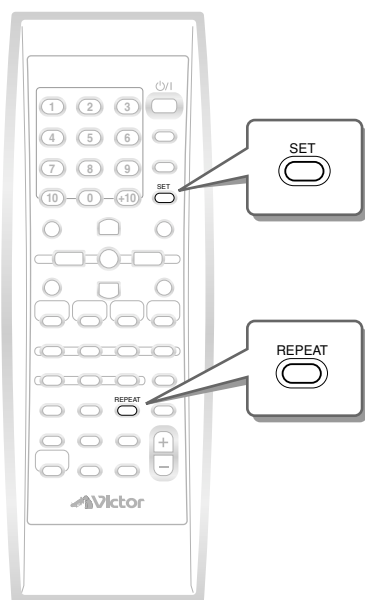
REPEAT を押す

押すごとに、リピート表示が次のように切換わります。

停止中:

演奏中:

REPEAT 1 **(1曲リピート演奏)**	:	現在演奏中の曲、またはこれから演奏する1曲をくり返します。 すべての演奏モードで選べます。
REPEAT DISC **(1枚リピート演奏)**	:	現在演奏中のCD、またはこれから演奏するCD 1枚だけをくり返し演奏します。 連続演奏モードのときだけ選べます。
REPEAT ALL **(全曲リピート演奏)**	:	本機に入っているCDの全曲をくり返し演奏します。演奏中に選ぶと、その曲から全曲演奏をくり返します。 すべての演奏モードで選べます。
REPEAT A-B **(A-Bリピート演奏)**	:	演奏中に指定した始点(A点)と終点(B点)の間をくり返し演奏します。 A-Bリピート演奏の操作方法については、31 ページをご覧ください。 連続演奏モードのときだけ選べます。

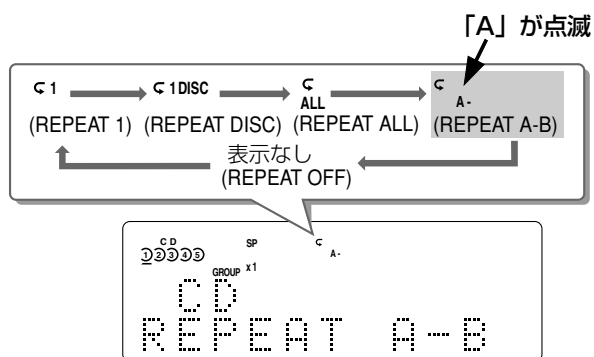
リピート演奏のモードを解除する

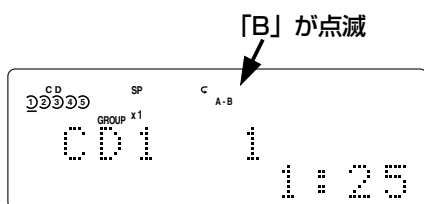
REPEATをくり返し押して「REPEAT OFF」を選びます。
- 電源を「切」にしても、リピート演奏のモードは解除されます。

A-Bリピート演奏

お知らせ

- A-Bリピート演奏中に、数字ボタンや ▶▶I（または I◀◀）で他の曲切り換えると、A-Bリピート演奏が解除され連続演奏になります。
- A-Bリピート演奏の始点（A点）と終点（B点）は同一のCDで指定することができます。複数のCDをまたいで指定することはできません。

CDを演奏中に操作します

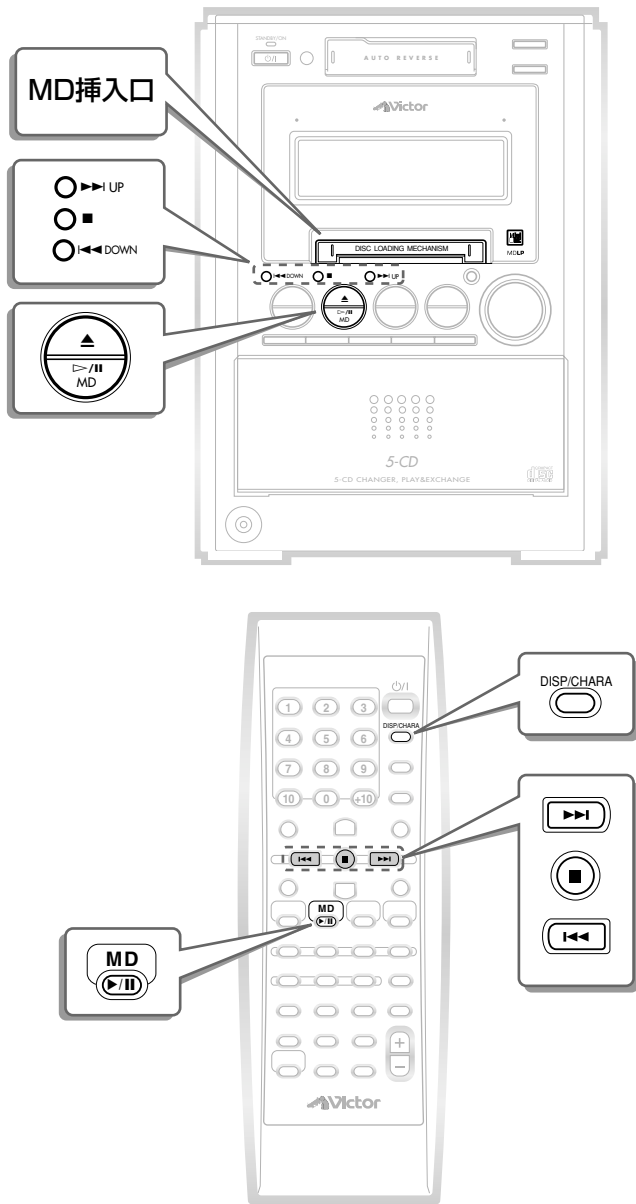
1 CDを演奏中に REPEAT を押して「REPEAT A-B」を選ぶ

- 「CD REPEAT A-B」は数秒後にCD演奏中表示に戻ります。

2 くり返し演奏を始める始点(A点)で SET を押す

3 くり返し演奏を終わる終点(B点)で SET を押す

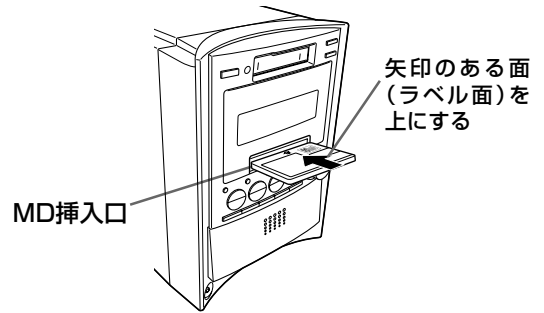
手順2と手順3で指定した間の部分をくり返し演奏します。

MDを聞く

本機のMDプレーヤーは、MD**LP**(「MD**LP**について」参照)で録音された曲の演奏に対応しています。

ご注意

- 省エネモード(表示窓「消灯」)のときは、電源「切」のときの消費電力を抑えるため、MDを入れることはできません。無理に押し込むと故障の原因となります。

1 MD挿入口にMDを入れる

矢印のある面を上にして、矢印の方向に向かって正しく差し込みます。MDは途中から引き込まれます。

ソース(音源)がMDの場合、「MD READING」と表示されたあと、曲数と総演奏時間が表示されます。ディスクにタイトルがあるときは、ディスクタイトルが表示されてから、総演奏時間が表示されます。長いタイトルはスクロール表示されます。

- ソース(音源)がMDの場合、未録音のMDを入れると「BLANK DISC」と表示されます。

2 リモコンで操作するとき:

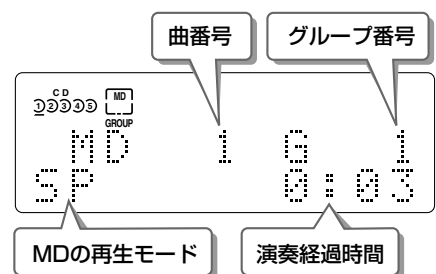
 を押す

本体で操作するとき:

 を押す

演奏が始まります。
曲番号や演奏経過時間が表示されます。曲にタイトルがあるときは、曲タイトルが表示されてから、演奏経過時間が表示されます。長いタイトルはスクロール表示されます。

演奏が終わると自動停止します。

例:MD を演奏中の表示窓

MD**LP**について

音声圧縮技術ATRAC3により、MDを最長4倍の長さに使えるステレオ長時間録音モードを MD**LP** といいます。LP4モードでは、4倍長ステレオ録音ができ80分MDで最長320分の録音・再生が可能です(LP2モードでは2倍長ステレオ録音・再生)。

MDの再生モード

MDは録音したときの録音モード(SP、LP2、LP4)に従って演奏されます。演奏が始まると、その曲の再生モード(録音モードと一致します)が表示窓に表示されます。

- SP :本機でステレオ録音したMDまたはMD**LP**に対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
- LP2:2倍長時間録音(ステレオ)したMDのとき
- LP4:4倍長時間録音(ステレオ)したMDのとき

演奏を停止する

■ を押します。

• 総曲数と総演奏時間が表示されます。

MDを取り出す

MD ⏏ を押します。
演奏が停止し、MDが出てきます。
必ずMDを取り出してから、次の操作をしてください。

一時停止する

MD ►/❚❚ を押します。

• 演奏経過時間が点滅し「BEEP ON」に設定されていると「ピッ」音が鳴り続けます。もう一度押すと、停止したところから演奏が始まります。

曲の頭出しをする(スキップ)

演奏中、►►❙(または ❙◄◄)を押します。演奏中の曲(または後の曲)の頭出しができます。くり返し押すと、さらに前後の曲の頭出しができます。

• 停止中に押すと、1曲ごとの演奏時間が表示されます。
途中の曲からテープに録音するときに便利です。

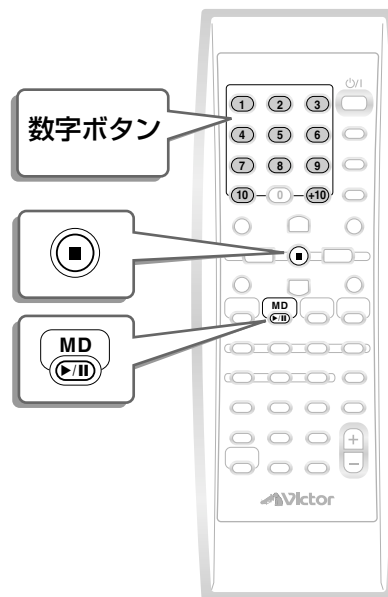
曲の早送り/早戻しをする(サーチ)

演奏中に►►❙(または ❙◄◄)を押し続けます。聞きたいところで指を離すと、そこから演奏が始まります。

演奏中にタイトルなどを見るには

DISP/CHARAを押します。
グループタイトル、曲タイトル、現在時刻などが順番に表示されます。
停止中にDISP/CHARAを押すと、ディスクタイトル、MDの録音残量時間(「REM. 分:秒」の表示)、現在時刻を見ることができます。

聞きたい曲を指定する(ダイレクト演奏)

リモコンの数字ボタンを使います。

1 MD ►/❚❚ を押してから ■ を押す

ソース(音源)がMDになります。

2 聞きたい曲を数字ボタン(1〜10、+10)で選ぶ

1〜10の曲番号を選ぶとき

数字ボタンの 1 〜 10 のいずれかを押します。

11以上の曲番号を選ぶとき

15曲目を選ぶ：+10 ➡ 5

20曲目を選ぶ：+10 ➡ 10

と押します。

21以上の曲番号を選ぶとき

25曲目を選ぶ：+10 ➡ +10 ➡ 5

30曲目を選ぶ：+10 ➡ +10 ➡ 10

と押します。

押した数字の曲番号が表示され、ダイレクト演奏が始まります。

• 演奏中も別の曲に変更できます。
聞きたい曲番号を選んでください。

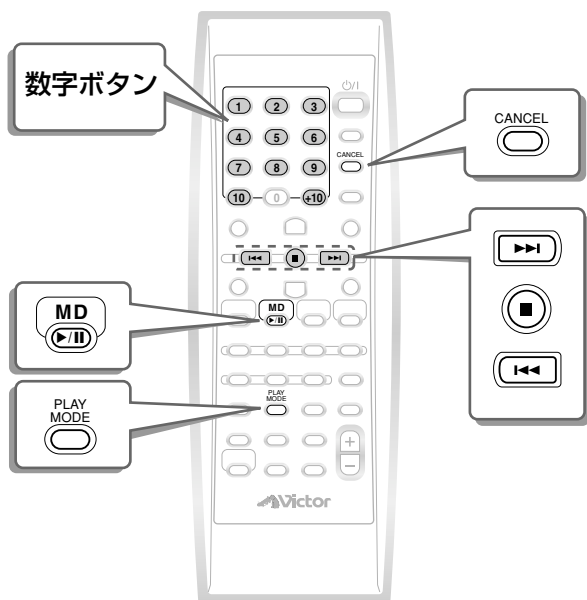
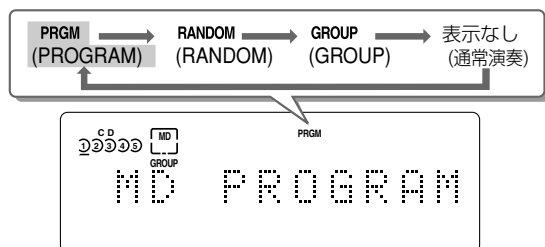
聞く

MDのプログラム演奏

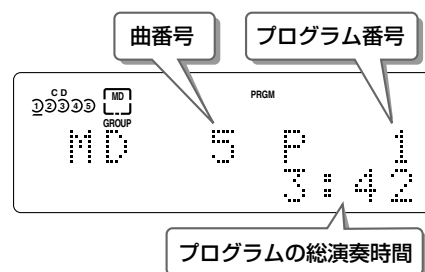
MD に収録されている曲を好きな順番で最大 32 曲までプログラムして聞くことができます。
リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(➡ 37 ページ「MDのリピート演奏」参照)。
演奏を停止してから、リモコンを使って設定します。

1 MD を押してから ■ を押す

ソース(音源)がMDになります。

2 PLAY MODE を押して「PROGRAM」を選ぶ

- 押すごとに、演奏モードは次のように切換わります。

- すでにプログラムがされているときは、曲番号、プログラム番号が表示されます。

3 数字ボタンを押してプログラムする

最大32曲までプログラムすることができます。同じ曲を32回プログラムすることもできます。
入力が終わったら、次の手順に進んでください。

- 数字ボタンの使いかたは 33 ページ「聞きたい曲を指定する(ダイレクト演奏)」を参照してください。
- プログラムを修正するときは、CANCELを押します。プログラムの最後の曲から順番に削除されます。
- 33曲目をプログラムすると、「MEMORY FULL」と表示され、これ以上はプログラムできません。
- MDに収録されていない曲番号は選べません。
- プログラムの総演奏時間が2時間30分以上になると、総演奏時間は「– – : – –」と表示されます。

4 MD を押す

プログラムした曲の演奏が始まります。
- プログラムした曲の演奏がすべて終わると自動停止します。

プログラムの内容を確認する

停止中に ►►I(または I◄◄)を押すと、プログラムの曲順を確かめることができます。

プログラム演奏を停止する

■ を押します。
プログラムの最後の曲番号と総演奏時間を表示して、演奏が停止します。プログラム内容は変更されません。

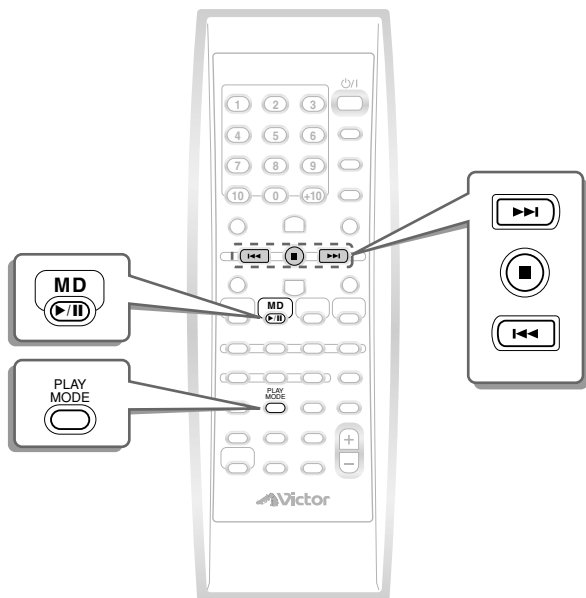
プログラム演奏のモードを解除する

停止中にPLAY MODEをくり返し押して、表示を「PROGRAM」以外にします。
- プログラム内容は削除されません。再びプログラム演奏に切り換えると、同じプログラム内容で楽しむことができます。

プログラム内容をすべて削除する

本体のMD ▲を押してMDを取り出します。

MDのランダム演奏

MD に収録されているすべての曲を、本機がランダム(無作為)に選んで演奏します。
リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(➡ 37 ページ「MDのリピート演奏」参照)。
演奏を停止してから、リモコンを使って設定します。

お知らせ

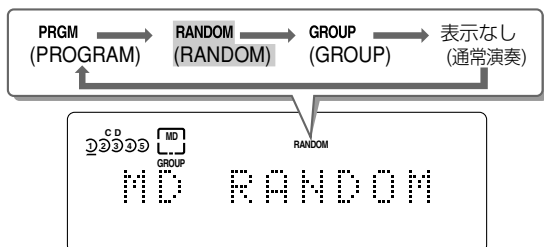
- ランダム演奏とリピート演奏を組み合わせると、ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。

1 MD を押してから ■ を押す

ソース(音源)がMDになります。

2 PLAY MODE を押して「RANDOM」を選ぶ

- 押すごとに、演奏モードは次のように切換わります。

PRGM (PROGRAM) → RANDOM (RANDOM) → GROUP (GROUP) → 表示なし (通常演奏)

3 MD を押す

最初の曲の曲番号が表示され、演奏が始まります。
- ▶▶I を押すと、現在演奏中の曲を飛ばして演奏します。
- I◀◀ を押すと、演奏中の曲の頭出しをします。前の曲には戻れません。
- 収録されている曲の演奏がすべて終わると自動停止します。
- 一度演奏した曲は、再び選曲されません。

ランダム演奏を停止する

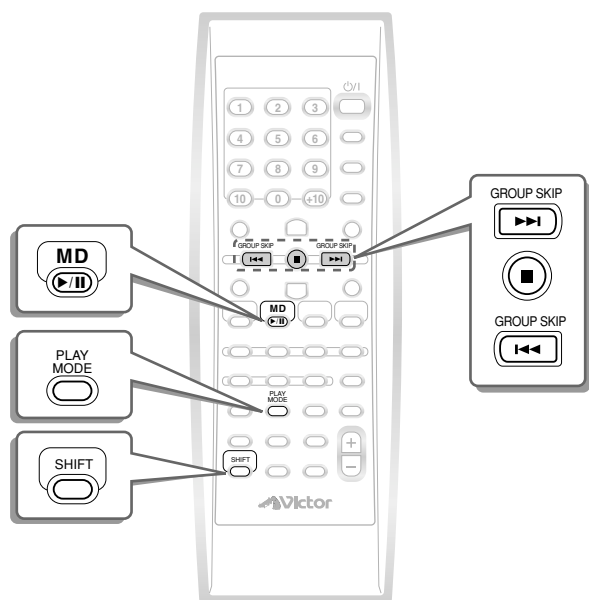
■ を押します。
「RANDOM」と表示したまま演奏が停止します。ランダム演奏は解除されません。

ランダム演奏のモードを解除する

停止中にPLAY MODEをくり返し押して、「RANDOM」以外の表示にします。または電源を「切」にします。

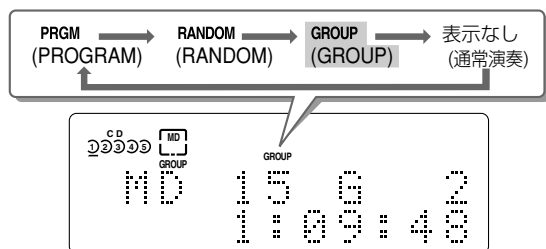
聞く

MDのグループ演奏

本機のMDレコーダーには、新しい機能としてMDのグループ機能(➡ 53 ページ「MDのをグループ編集する」参照)があります。
登録したグループ単位で演奏できます。
リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(➡ 37 ページ「MDのリピート演奏」参照)。
演奏を停止してから、リモコンを使って設定します。

1 MD を押してから ■ を押す

ソース(音源)がMDになります。

2 PLAY MODE を押して「GROUP」を選ぶ

- 押すごとに、演奏モードは次のように切換わります。

3 MD を押す

グループ1の最初の曲番号が表示され、演奏が始まります。
グループ登録された曲の演奏がすべて終わると自動停止します。
- グループが1つもないときは、通常演奏と同じになります。

グループ演奏を停止する

■ を押します。

同じグループ内の演奏曲を変える

▶▶I(またはI◀◀)を押します。
他のグループの曲や、グループ登録されていない曲を選ぶことはできません。

演奏グループを変える(グループスキップ)

＋ GROUP SKIP ▶▶I

または

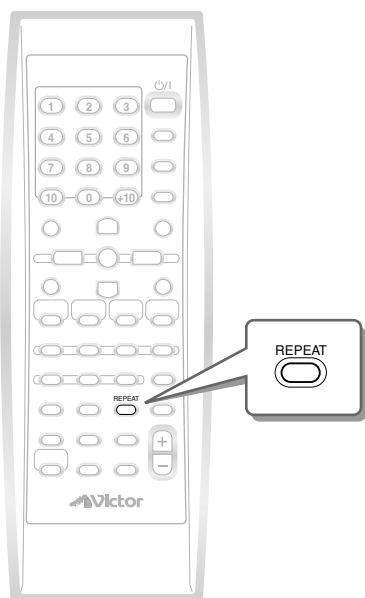
GROUP SKIP I◀◀

グループ演奏中にSHIFTを押したまま
▶▶I GROUP SKIP (または I◀◀ GROUP SKIP)を押します。
- 通常演奏中に上記の操作をすると、そのグループの最初の曲からMDの最後の曲まで演奏されます。

グループ演奏のモードを解除する

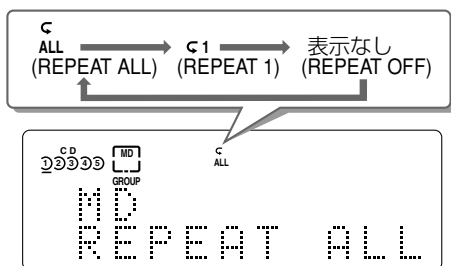
停止中にPLAY MODEをくり返し押して、表示を「GROUP」以外にします。
- MDを取り出したり電源を「切」にしても、グループ演奏のモードは解除されます。

MDのリピート演奏

MDの演奏中や停止中に、聞きたい曲をくり返し演奏させることができます。
全曲リピート演奏(REPEAT ALL)と1曲リピート演奏(REPEAT 1)から選べます。
ソース(音源)がMDのとき、リモコンを使って設定します。

お知らせ

- リピート演奏中に、数字ボタンや►►I (または I◄◄)で他の曲のリピート演奏に切換えることができます。

REPEAT を押す

押すごとに、リピート表示が次のように切換わります。

REPEAT ALL (全曲リピート演奏)：MDの全曲をくり返し演奏します。演奏中に選ぶと、その曲から全曲演奏をくり返します。
プログラム演奏、ランダム演奏、グループ演奏と同時に使うことができます。

REPEAT 1 (1曲リピート演奏)：現在演奏中の曲、またはこれから演奏する1曲をくり返します。

リピート演奏のモードを解除する

REPEATをくり返し押して「REPEAT OFF」を選びます。

- MDを取り出したり電源を「切」にしても、リピート演奏のモードは解除されます。

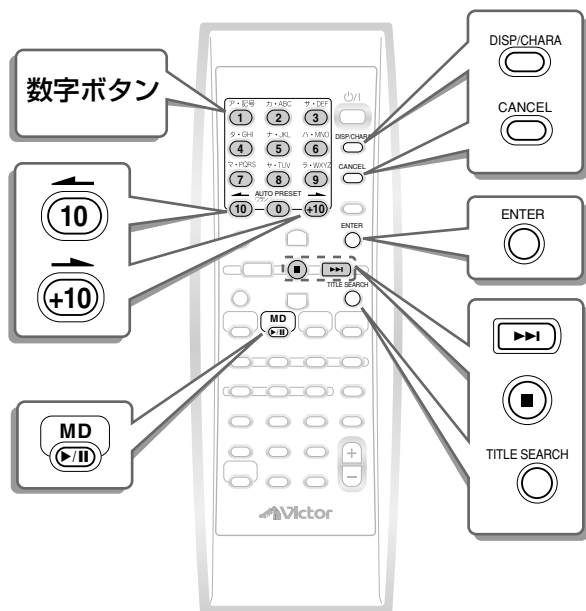
グループ演奏と組み合わせると

グループ演奏(➡ 36 ページ「MDのグループ演奏」参照)と組み合わせると、下のようにくり返します。

REPEAT ALL：1つのグループ内の全曲をくり返します。

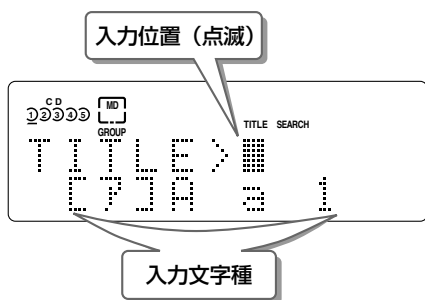
REPEAT 1：現在演奏中の曲またはこれから演奏する1曲をくり返します。

MDのタイトルサーチ

本機では、曲タイトルを探して(タイトルサーチ)演奏することができます。
タイトルを探したいMDを本機に入れておきます。

1 MD を押してから ■ を押す

ソース(音源)がMDになります。

2 TITLE SEARCH を押す

表示窓に入力表示が現れます。
- 演奏中のときは演奏が停止します。
- ソース(音源)がMD以外のときは、タイトルサーチができません。

3 探したいタイトルを入力する

探したいタイトルの最初の1～5文字まで入力します。

例:「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルを曲番号順に探します。
「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを曲番号順に探します。

入力には次のボタンを使います。

DISP/CHARA	:文字の種類を切換えます。
10(または+10)	:入力位置を移動します。
数字ボタン(1～9、0)	:文字を入力します。
CANCEL	:入力位置の文字を消します。

- 詳しい入力方法は 51ページの「タイトルをつける」を参照してください。
- 空白(スペース)も文字として扱われますが、空白(スペース)の後ろに文字がないときは、無視されます。
- 英大文字と英小文字は区別されます。
- タイトルが記録されていない曲(NO TITLE)を探すときは、何も入力しないで**手順4**に進みます。
- 途中でやめるときは、TITLE SEARCHまたは ■ を押します。

4 ENTER を押す

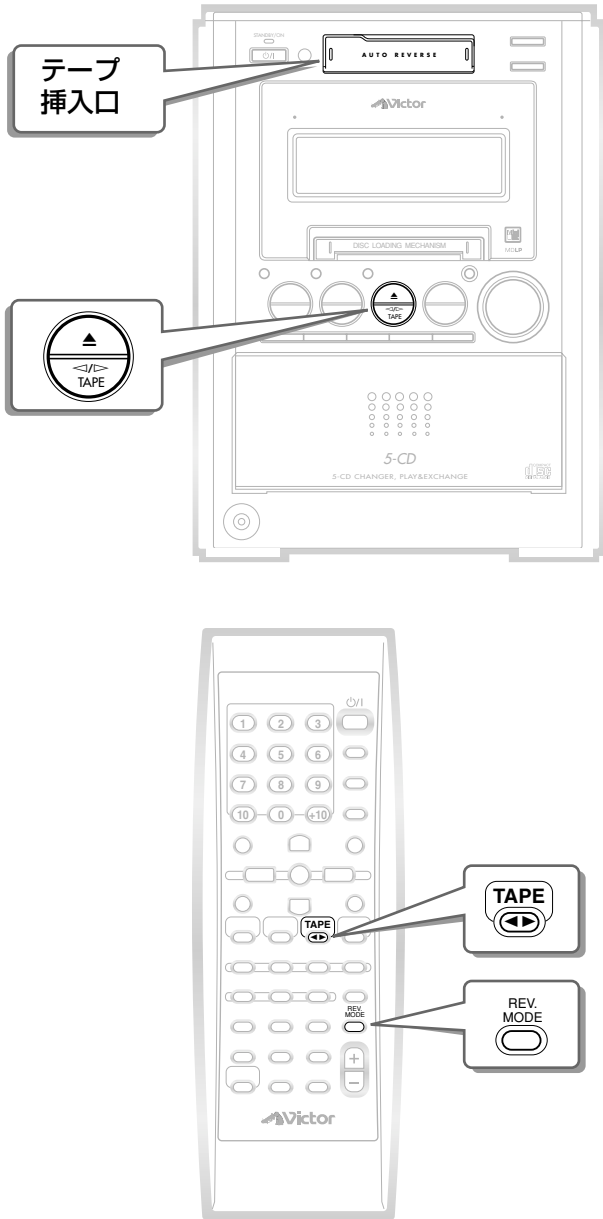
「SEARCH」と表示され、タイトルサーチが始まります。
曲が見つかると演奏が始まります。
演奏が終わると再び次のタイトルサーチが始まります。
- 曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、自動停止します。

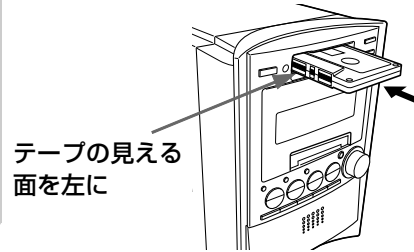
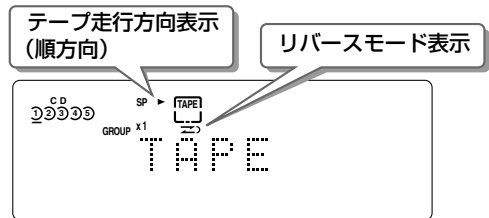
演奏を停止する

■ を押すと、タイトルサーチまたは演奏が停止します。

次の曲を探すには

▶▶I を押すと、「SEARCH」と表示され次の曲のタイトルサーチが始まります。曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、タイトルサーチが終了します。

テープを聞く

1 テープ挿入口にテープを入れる

A面を上にし、テープの見える面を左にして入れます。
- C-90(90分)以下の長さのテープをご使用ください。

2 REV. MODE を押してリバースモードを選ぶ

押すごとに、表示窓のリバースモード表示は次のように切換わります。
- ：A面(おもて面)、またはB面(うら面)のみの**片道再生**
- ：A面(おもて面)からB面(うら面)への**往復再生**
- ：AB両面の**連続再生**（再生を停止するまでくり返し）

テープを取り出すとリバースモードは に戻ります。

REV. MODE **UX-J55MD-M/UX-K66MD-Mのときは、本体のREV. MODEを使って操作することもできます。**

3 リモコンで操作するとき：

TAPE ◄► **を押す**

本体で操作するとき：

を押す

テープの再生が始まります。
- TAPE ◄ ► を押すごとに、テープの走行方向が変わります。テープを入れた最初は、必ず**順方向(おもて面)**から走行します。
- テープのA面再生中は右向きのテープ走行方向表示(►)が、テープのB面再生中は左向きのテープ走行方向表示(◄)が表示されます。
- または で再生した場合、テープが巻き終わると自動停止します。

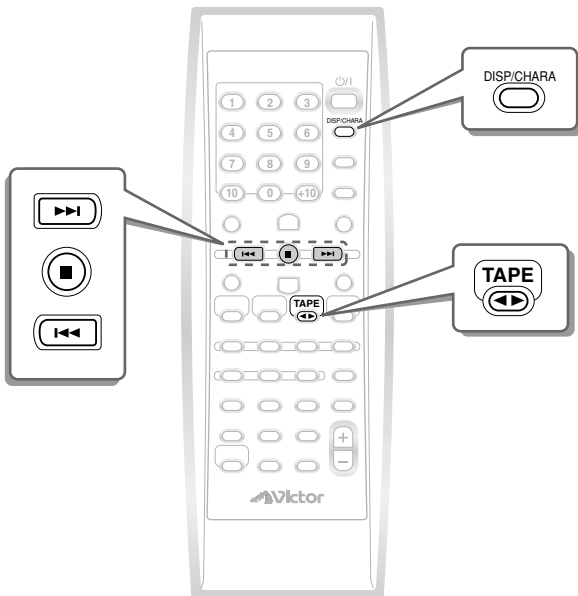
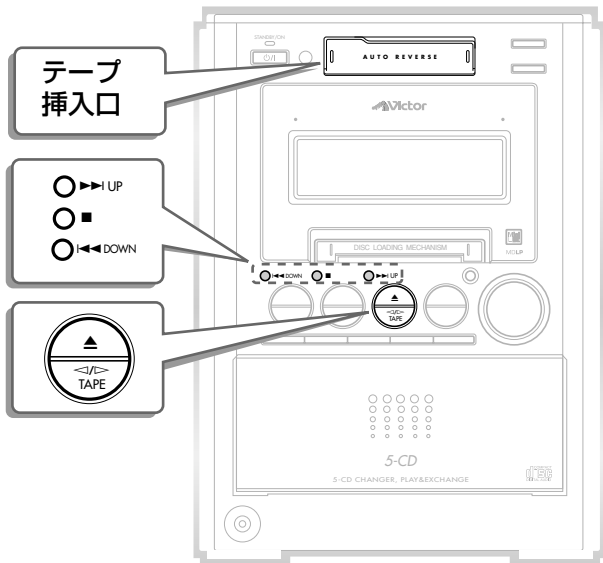
ご注意

- テープに**たるみ**があると、機械内部に巻き込まれたり故障の原因となります。ご使用の前に**たるみ**を取り除いてください(➡ 73 ページ参照)。
- **C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。**長い時間の録音または再生に便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。

お知らせ

- 本機は、ノーマルテープ(TYPE I)の再生に対応しています。ハイポジションテープ(TYPE II)やメタルテープ(TYPE IV)は、お勧めできません。再生すると音質が変わります。

聞く

テープを聞く(つづき)

再生を停止する

■ を押します。

テープを早送り/巻き戻しする

▶▶I(またはI◀◀)を押します。

- 順方向(▶)の再生中は、▶▶I が早送り、I◀◀ が巻き戻しになります。
- 逆方向(◀)の再生中は、I◀◀ が早送り、▶▶I が巻き戻しになります。

テープを取り出す

TAPE ⏏を押します。

再生中に時計やMDの録音残量表示を見るには

DISP/CHARAを押します。時計表示に切換わります。
MDが入っているときは、DISP/CHARAを押すごとに、MDの録音残量表示➡時計表示と切換わります。
もう一度押すと、再生中の表示に戻ります。

他の機器の音声を聞く

本機背面のAUX/DVD端子に接続した他のオーディオ機器の音声を楽しむことができます。
• ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

1 本体背面のAUX/DVD端子に他の機器をつなぐ

• 市販のレコードプレーヤー(イコライザーアンプ内蔵タイプ)やDVDプレーヤーなどをつなぎます。(➡ 11 ページ「他の機器の接続」参照)

2 リモコンで操作するとき:

FM/AM /AUX を押して表示窓に「AUX」と表示させる

本体で操作するとき:

AUX/DVD を押して表示窓に「AUX」と表示させる

3 他の機器の演奏を始める

• 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

4 音量、音質などを調節する

(➡ 18 ページ「音量・音質を調節する」参照)

他の機器の音声入力レベルを調節する

接続した他の機器の音声入力レベルを調節することができます。
ソース(音源)がAUXのとき操作します。

入力レベルが表示されるまで SET を押し続け、レベルを選ぶ

押し続けるごとに次のように切換わります。

LEVEL1：他の機器からの音声**入力レベルが大きいときに選びます**。レベルが小さくなります。(お買い上げ時の設定)
↕
LEVEL2：他の機器からの音声**入力レベルが小さいときに選びます**。レベルが大きくなります。

• 表示された音声入力レベルは、約2秒で消えます。

ご注意

• 接続するときは、接続する機器だけでなく、本体側も必ず電源を「切」にしてから接続してください。

録音する前に

本機では、MDへの録音、テープへの録音、MDとテープへ同時録音の３種類の録音ができます。
特にCDをMDやテープに録音するときは、CD REC MODEを使って、CDの連続録音や１枚のCDだけ録音、各CDの１曲目だけを録音するベストヒット録音と便利な録音機能が用意されています。

MDに録音するとき

MDに録音できるソース(音源)

MDには、CD、ラジオ放送、テープ、接続した他の機器（AUX）の音声が録音できます。

MDでできる録音

ステレオ長時間録音(MD**LP**)

全てのソース（音源）の音声を録音するときに使えます。
本機は、ステレオ長時間録音（MD**LP**）に対応しています。録音モード（SP：標準／LP2：２倍長／LP4：４倍長）のLP2またはLP4を使うと、ステレオ音声のまま２倍長または４倍長の長時間で録音できます。(➡ 44 ページ「録音モードの設定」参照)

グループ録音

全てのソース（音源）の音声を録音するときに使えます。
録音開始から終わりまでを１つのグループとして録音することができます（お買い上げ時の設定)。
ステレオ長時間録音のとき、CDごとやアーティストごとに１つのグループにしておくと便利です。
- グループとして録音しない設定にすることもできます。(➡ 44 ページ「グループ録音の設定」参照)

CDの倍速録音

CDの音声を録音するときに使えます。
本機は、CDをMDに等速/2倍速/4倍速/5倍速で録音することができます。
CDを従来の約1/2または約1/4～1/5の時間で録音することができます。(➡ 45 ページ「CDの録音」参照)

CDの１曲録音

CDの音声を録音するときに使えます。
演奏中の１曲だけを録音することができます。
（演奏中に録音状態にすると、１曲のみ録音されます）

シンクロ録音

CDまたはテープの音声を録音するときに使えます。
CDまたはテープの演奏開始と同時にMDの録音が開始します。
演奏が終了すると録音を終了します。

サウンドシンクロ録音

接続した他の機器(AUX)の音声を録音するときに使えます。
接続した他の機器（AUX）からの音声信号に反応して録音を開始します。30秒以上音声が途切れると、録音を中止します。

トラックマークについて

MDには、曲ごとの頭の部分に曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間が「曲」としてみなされます。
- CDを録音するときは、曲の変わり目に自動でトラックマークがつきます。
- ラジオ、テープ、接続した他の機器（AUX）の音を録音するときは、トラックマークをつけたいところでリモコンの**SET**を押してトラックマークをつける**マニュアル方式**（お買い上げ時の設定）と、無音部分が３秒以上続くと自動でトラックマークがつく**オート方式**があります。
  マニュアル方式／オート方式の切換えについては、「ラジオ放送やテープ、他の機器の音声の録音」（➡ 46 ページ参照）をご覧ください。

録音をする前に

- 大切な録音の場合は必ず試し録音をして、設定通りに録音できることをお確かめのうえ、ご利用ください。
- MDには最大254曲(トラック)まで録音することができます。
- 音楽CDの音は、デジタル信号のまま録音されます。
  CD-R/RWの音は、「SCMS CANNOT COPY」が表示された場合アナログ信号に変換して録音されます。
  テープやラジオの音声はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。
- 途中まで録音してあるMDのときは、その終わりを自動的に探して未録音部分の始まりから録音されます。

  テープのように上書きで録音することはできません。
  新たに録音し直すときは、ALL ERASE (➡ 61 ページ参照)で全部の曲を消してから録音してください。
- 録音をしながらMDに曲タイトルをつけることができます(➡ 50 ページ参照)。
- 録音中は、本機の音量・音質を変えても録音される音には影響ありません。
- ラジオやテープ、AUXの音を録音中に30秒以上の無音状態がつづくと、自動的に録音が停止します。

ご注意

- MDの録音／編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING」の表示中は注意してください。MDが演奏できなくなるおそれがあります。

MDカートリッジのラベルについて
- MDカートリッジのラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりもはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

テープに録音するとき

録音に使うテープ

録音にはノーマルテープ（TYPE Ⅰ）を使います。他のテープは使えません。

テープに録音できるソース(音源)

テープには、CD、ラジオ放送、MD、接続した機器（AUX）の音声が録音できます。

テープでできる録音

往復録音

全てのソース（音源）の音声を録音するときに使えます。
テープのリバースモードを往復（⇄）に設定すると、テープのおもて面からうら面に続けて録音することができます。

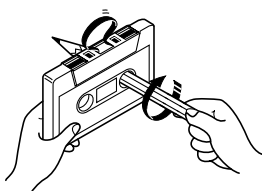
CDまたはMDの1曲録音

CD または MD の音声を録音するときに使えます。
演奏中の 1 曲だけを録音することができます。
（演奏中に録音状態にすると、1 曲のみ録音されます）

シンクロ録音

CD または MD の音声を録音するときに使えます。
CD または MD の演奏開始と同時にテープの録音が開始します。
演奏が終了すると録音を終了します。

録音をする前に

- テープに**たるみ**があると機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に図のようにして**たるみ**を取り除いてください。
  また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。

ご注意

- 生演奏などで全体が 1 曲で録音されている MD をテープに往復録音するときは、あらかじめ DIVIDE 機能（➡ 59 ページ参照）を使ってテープ片面の長さに合わせて 2 曲に分けてください。

MDとテープに同時録音するとき

録音に使うテープ

録音にはノーマルテープ（TYPE Ⅰ）を使います。他のテープは使えません。

MDとテープに同時録音できるソース(音源)

CD の音声に限り録音ができます。

同時録音の項目

MDのステレオ長時間録音(MDLP)

「MD でできる録音」（➡ 42 ページ）の「ステレオ長時間録音（MDLP）」をご覧ください。

MDのグループ録音

「MD でできる録音」（➡ 42 ページ）の「グループ録音」をご覧ください。

テープの往復録音

「テープでできる録音」（左の説明）の「往復録音」をご覧ください。

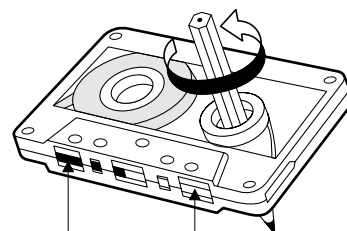
CDの1曲録音

CD の音声を録音するときに使えます。
演奏中の 1 曲だけを録音することができます。
（演奏中に録音状態にすると、1 曲のみ録音されます）

シンクロ録音

CD の音声を録音するときに使えます。
CD の演奏開始と同時にテープおよび MD の録音が開始します。
演奏が終了すると録音を終了します。

お知らせ

リーダーテープについて
テープの始まりと終わりには、録音できない部分(リーダーテープ)があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきます。

MDに録音する

ステレオ長時間録音（MDLP）について

本機はステレオ音声のまま2倍または4倍の長時間録音(MD**LP**)に対応しています。
１枚のMDに違うモード(SP: 標準/LP2: 2倍長時間/LP4: 4倍長時間)の曲を混在させて録音することもできます。
MDの録音残量表示は録音モードの設定に応じて変わります。

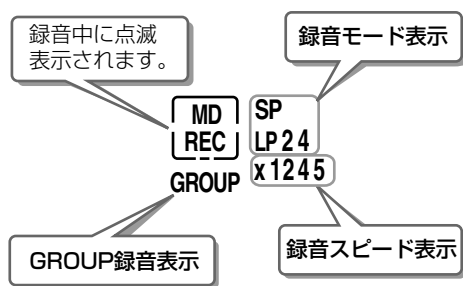
SP　：**標準のステレオ録音**
（MD80で最大80分の録音）
LP2 ：**2倍長時間録音(ステレオ)**
（MD80で最大160分の録音）
LP4 ：**4倍長時間録音(ステレオ)**
（MD80で最大320分の録音）
ラジオ放送の長時間録音などに使用すると便利です。

お知らせ

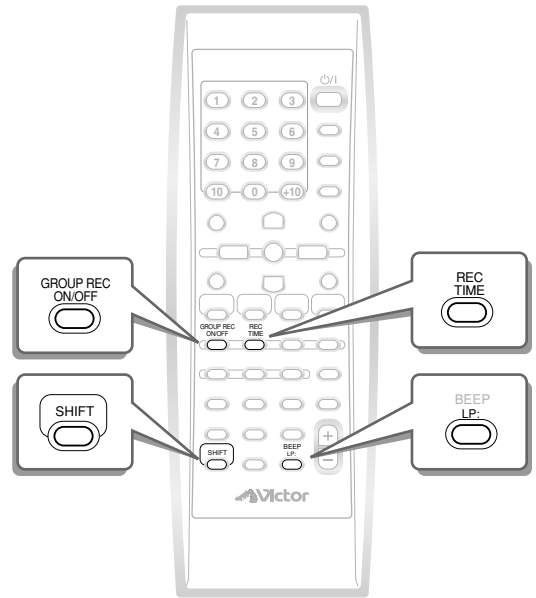
- 本機では、モノラル長時間録音はできません。
- 録音モードが長時間(SP→LP2→LP4)になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、SPモードにしてください。

ご注意

- **本機でステレオ長時間録音された曲は、「MDLP」の再生に対応した機器以外では演奏できません。**曲タイトルの始めに**LP:** と表示され、無音状態になります。
  「MD**LP**」に対応した機器で演奏すると、**LP:** は表示されません。
  また、LP: をつけない設定にすることもできます。
- MDの編集をするとき、録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげる(JOIN)ことはできません。

MD状態表示について

CD-R/CD-RWディスクの録音

CD-R または CD-RW ディスクの音声を MD に録音するとき、MD REC または MD&TAPE REC を押すと、表示窓に「SCMS CANNOT COPY」が表示されデジタル録音はできません。アナログ録音になり、録音スピードは自動で等速録音に切り換わります。ただし、録音状態によっては、録音が停止する場合があります。

MDに録音する前の設定

録音モードの設定

事前に録音するソース（音源）を選んでから、ステレオ長時間録音（MDLP）のモードを設定します。

を押して録音モードを設定する

押すごとに録音モードが変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

LP:の設定

ステレオ長時間録音された曲の頭の部分に **LP：** をつける／つけないの設定をします。

を押したまま

を押して設定する

（LP：）OFF：曲タイトルの頭に **LP：**がつきません。
（LP：）ON　：曲タイトルの頭に **LP：**がつきます。

グループ録音の設定

これから録音する曲や放送などを一つのグループとして登録するとき MD GROUP ON に設定します。

GROUP REC
ON/OFF
を押して設定する

MD GROUP ON　： グループとして録音します。MD 状態表示の GROUP が点灯します。
MD GROUP OFF： グループとして録音しません。MD 状態表示に GROUP は点灯しません。

CDの録音

CDのシンクロ録音やプログラムした曲の録音、演奏中の曲だけを録音する１曲録音ができます。
• 録音時の音量は自動的にコントロールされます。

1 CD ▶/II を押してから ■ を押す

ソース(音源)をCDにします。CDが停止状態になり、総曲数と総演奏時間が表示されます。
• DISC UP∧(またはDISC DOWN∨)を押して、録音を開始するCDを選んでおきます。

2 録音用のMDを入れる

録音モードの設定、**LP:の設定**、**グループ録音の設定**を確認しておきます(➡ 44 ページ「MDに録音する前の設定」参照)。
• 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡ 72 ページ参照)。

3 REC SPEED を押して録音スピードを選ぶ

押すごとに、次のように変わります。

x1 ➡ x2 ➡ x4
(等速) (2倍速) (4倍速または5倍速)

• CDの演奏時間が合計28分以上で、CDをまるごと1枚録音するときに録音スピードの「×4」を選ぶと、**自動で5倍速録音**になります。1曲録音は4倍速です。

4 MD REC を押す

CDの演奏とMDの録音が始まり、MD REC 表示の「REC」が点滅します。

録音が終わると、「WRITING」と表示して自動的に終了します。
• 本体のMD RECでも同じ操作ができます。
• MDの録音残量時間がなくなると、自動停止します。

HCMS(倍速録音での著作権保護)について

倍速録音では、著作権保護のため倍速(等速を超える)録音に関する規定があります(➡ 71 ページ参照)。
• この規定により、CDから一度倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の再録音はできません。
• 74分が経過する前に同じ曲を録音しようとすると、「HCMS CANNOT COPY」が表示されて録音が停止します。
  特にCDのプログラム演奏を倍速で録音するときは、同じ曲が複数入っていると、倍速録音の規定により録音が途中で停止しますので、ご注意ください。

お知らせ

• 倍速録音中は、音を聞くことはできません。
• 倍速録音ではディスクを高速で回転させるため、CDの状態によっては正しく録音されず、雑音などが録音されることがあります。
  このようなときは、等速で録音し直してください。

途中で録音をやめる

■ を押します。
• MDとCDが同時に停止し、「WRITING」と表示して録音が終了します。

▶▶I または I◀◀ で曲番号を指定する

通常のCDの場合、指定した曲番号以降の曲を録音します。
• **手順4**でMD RECを押す前に操作してください。

演奏中の曲だけを録音をする(１曲録音)

録音したい曲の演奏中(または一時停止中)に、MD RECを押します。
演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。
• 1曲録音が終わると、CDとMDが自動停止します。

プログラム録音をする

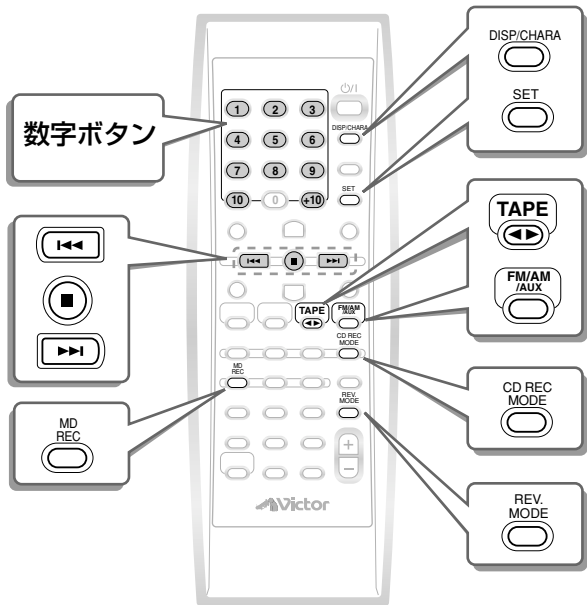
はじめに録音したい曲をプログラムしておきます(CDのプログラム演奏 ➡ 28 ページ「CDのプログラム演奏」参照)。
CD ▶/II は押さないでおきます。
次に、**手順2**〜**手順4**の操作をします。
• CDのプログラム録音をするとき、録音スピードは等速(x1)または2倍速(x2)を選んでください。
  4倍速(x4)を選んで録音を開始すると「CANNOT REC x1 or x2 ONLY」と表示され、録音されません。

表示窓の表示内容を切換える

リモコンのDISP/CHARAを押すごとに、録音中のCDの曲番号や演奏経過時間・MDの録音残量時間、MDの曲番号・グループ番号、現在時刻などに切換わります。

MDに録音する (つづき)

ラジオ放送やテープ、他の機器の音声の録音

テープのシンクロ録音や他の機器からの録音はサウンドシンクロ録音ができます。
• 録音時の音量は自動的にコントロールされます。

ご注意

• 接続する外部機器や演奏する音量によっては、うまく録音できないことがあります。そのようなときは、外部機器側の出力レベル設定などをし直してください。
•「WRITING」の表示中、本体やその設置場所に衝撃を与えないでください。MDの演奏ができなくなる原因となります。必ず「WRITING」の表示が消えてから、次の操作を行ってください。

お知らせ

• サウンドシンクロ録音では、ソース(音源)の音声信号に反応して自動的に録音が始まります。
また、ソース(音源)の音が30秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。このとき、録音を終了したMDの空白時間は約2秒になります。
• 録音残量時間は、そのMDの録音に使われるMDモード(SP/LP2/LP4)に応じて異なります。
例えば標準モードのSPで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP2)ではその2倍の約20分となります。

1 録音するソース(音源)を選ぶ

ソース(音源)	操作
ラジオ放送	FM/AM/AUX(本体はFM/AM)を押してFMまたはAMを選んでから、数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
テープ再生(TAPE)	再生するテープを入れ、TAPE ◄ ► を押してから ■ を押す。そのあとREV. MODEを押してリバースモードを選ぶ。
他の機器の音声(AUX)	FM/AM/AUX(本体はAUX/DVD)を押してAUX(外部入力)を選び、他の機器の演奏を準備する。あらかじめ、他の機器の音声入力レベルを調節することもできます(➡ 41 ページ参照)。

2 録音用のMDを入れる

録音モードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます(➡ 44 ページ「MDに録音する前の設定」参照)。
• 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡ 72 ページ参照)。

トラックマークをつける方式を切換えるときは、
CD REC MODEを押します。
押すごとに次のように変わります。

MANUAL TRK REC (マニュアル トラック レック): SET を押してトラックマークをつけます。(お買い上げ時に設定)
AUTO TRK REC (オート トラック レック): 無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。SET を押してトラックマークをつけることもできます。

3 MD REC を押す

録音が始まり、 表示の「REC」が点滅します。
• 本体のMD RECでも同じ操作ができます。
• テープ再生の場合、録音開始に合わせてテープ再生もスタートします(**シンクロ録音**)。
• 他の機器からの録音の場合、「AUX➡MD」と録音モードが表示されるのを待って、接続した機器の演奏を始めます。音声が入力されると、録音が自動的に始まります(**サウンドシンクロ録音**)。
また、MD ►/❚❚ を押して録音を始めることもできます。

トラックマーク(曲番号)をつける

マニュアル方式(MANUAL TRK REC)のときは、録音中に曲の変わり目などでSETを押します。
オート方式(AUTO TRK REC)のときは、録音中に無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。
また、SETを押してトラックマーク(曲番号)をつけることもできます。
録音が終わったあとでもMDの編集機能(➡ 59 ページ「曲を分ける(DIVIDE)」参照)でトラックマークをつけることができます。MD全体を1曲として録音したときなど、あとから「分ける・一部消去する」などの編集にお使いください。

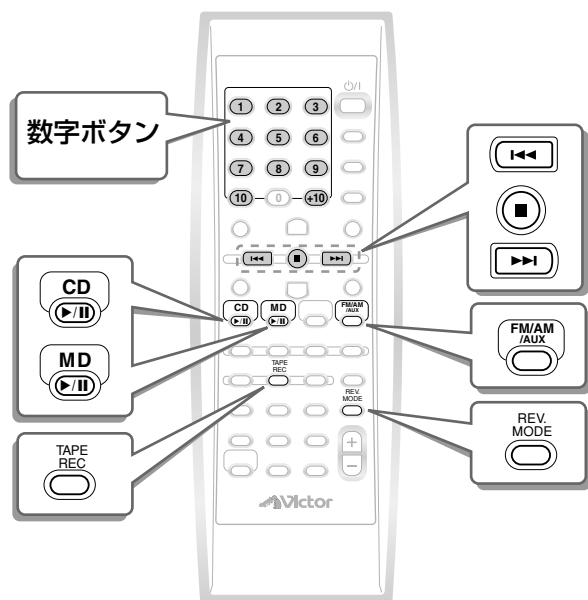
途中で録音をやめる

■ を押します。
•「WRITING」と表示して録音が終了します。

表示窓の表示内容を切換える

リモコンのDISP/CHARAを押すごとに、録音中のソース(音源)名とMDの録音残量時間、MDの曲番号・グループ番号、現在時刻などに切換わります。

テープに録音する

CDまたはMDのシンクロ録音やプログラムした曲の録音、演奏中の曲だけを録音する１曲録音ができます。
- 曲間に4秒のあき(ブランク)を作って録音されます。録音時の音量は自動的にコントロールされます。
- **録音にはノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。他のテープは使えません。**

1 録音用のテープを入れる

- ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。
- リーダーテープの部分は巻き取っておきます(➡ 43 ページ参照)。
- 途中まで録音した位置で止まっているテープを入れると、その位置から録音されます。

2 REV. MODE を押してリバースモードを選ぶ

- ⇄ ：片面のみ録音するとき
- ⇄⊃ ：A面(おもて面)からB面(うら面)へ往復録音するとき

3 録音するソース(音源)を選ぶ

ソース(音源)	操作
CD	CD ▶/❚❚を押してから ■ を押します。
MD	MD ▶/❚❚を押してから ■ を押します。
ラジオ放送	FM/AM/AUX(本体はFM/AM)を押してFMまたはAMを選んでから、数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
他の機器の音声(AUX)	FM/AM/AUX(本体はAUX/DVD)を押してAUX(外部入力)を選び、他の機器の演奏を準備する。 あらかじめ、他の機器の音声入力レベルを調節することもできます(➡ 41 ページ参照)。

4 TAPE REC を押す

録音が始まり、TAPE REC 表示の「REC」が点滅します。
- ソース(音源)がCDまたはMDの場合、シンクロ録音機能によりCDまたはMDの演奏が自動で始まり、終わるとテープも自動停止します。
- 録音中にCDまたはMDの一時停止や早送り/早戻しの操作はできません。
- ソース(音源)が他の機器の音声のときは、接続した機器の演奏を始めます。

途中で録音をやめる

■ を押します。
- 録音の一時停止はできません。もう一度、操作をやり直してください。

曲の途中でテープのうら面に反転する

ソース(音源)がCDまたはMDのとき、録音中に曲の途中でA面(おもて面)からB面(うら面)に反転すると、その曲はもう一度頭からB面(うら面)に録音されます。ただし、A面への録音時間が**12秒以下**のときは、そのひとつ前の曲の頭からB面(うら面)に録音されます。

▶▶❙ または ❙◀◀ で曲番号を指定する

ソース(音源)がCDまたはMDのとき、指定した曲番号以降の曲を録音します。
- **手順4**で TAPE RECを押す前に操作してください。

演奏中の曲だけを録音をする(１曲録音)

ソース(音源)がCDまたはMDのとき、録音したい曲の演奏中にTAPE RECを押します。

演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。
- １曲録音が終わると、CDまたはMDとテープが自動停止します。

あき(ブランク)を作らずに録音する

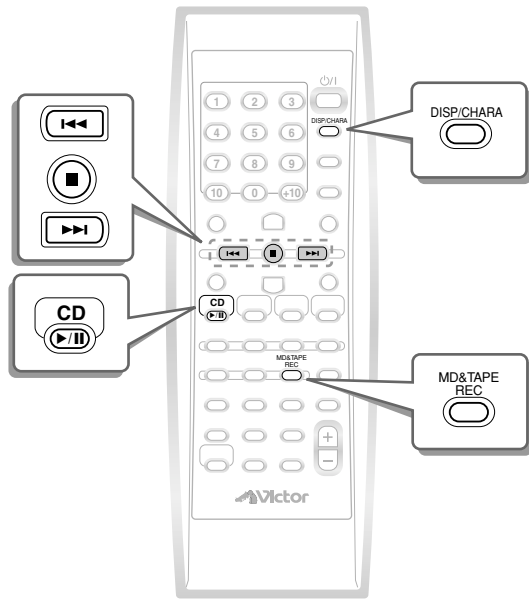
CD ▶/❚❚ または**MD ▶/❚❚** を2回押してから**手順4**の操作をします。

プログラム録音をする

はじめに録音したい曲をプログラムしておきます(CDのプログラム演奏 ➡ 28 ページ「CDのプログラム演奏」参照、MDのプログラム演奏➡ 34 ページ「MDのプログラム演奏」参照)。**CD ▶/❚❚**、**MD ▶/❚❚** は押さないでおきます。次に、手順**4**の操作をします。

録音する

MDとテープに同時録音する

CDのシンクロ録音を、MDとテープへ同時に行ないます。
- 録音時の音量は自動的にコントロールされます。

1 CD ►/II **を押してから ■ を押す**

ソース(音源)をCDにします。

2 録音用のMDとテープを入れる

MDの録音モードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます(➡ 44 ページ「MDに録音する前の設定」参照)。
- MDの誤消去防止つまみを閉じておきます(➡ 72 ページ参照)。
- ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。リーダーテープの部分は巻き取っておきます(➡ 43 ページ参照)。
- リバースモードを選ぶときは、**REV. MODE**を押して選びます。
- MDまたはテープのいずれかが入っていないときは、入っている方だけの録音になります。

3 MD&TAPE REC **を押す**

録音が始まり、MD REC 表示の「REC」とTAPE REC 表示の「REC」が点滅します。

録音が終わると、「WRITING」と表示して自動的に終了します。
- MDの録音残量時間がなくなると、MDへの録音は自動停止しますが、テープの録音はそのまま継続します。
- テープの録音残量時間がなくなると、テープへの録音は自動停止しますが、MDの録音はそのまま継続します。

お知らせ

- MDとテープの同時録音は、CDの録音にのみ対応しています。他のソース(音源)のときは、同時録音できません。
- CDの録音スピードは等速(x1)に固定され、選ぶことはできません。
- MDの録音残量時間に見合うよう、テープのリバースモードを選んでください。
- 録音の途中でテープが反転したときは、録音中の曲の一部が音切れになります。
- 録音残量時間は、そのMDの録音に使われる録音モード(SP/LP2/LP4)に応じて異なります。
  例えばSPモードで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP2)ではその2倍の約20分となります。
- テープの録音には、曲間に4秒間のあき(ブランク)が作られません。
- MDとテープの同時録音では、CDの連続演奏で複数のCDを録音することはできません。1枚のCDの演奏が終了すると録音も終了します。
  ただし、プログラム録音のときは、複数のCDにまたがった曲を録音できます。
  また、CDの全曲リピート演奏(REPEAT ALL)で複数のCDをくり返し録音することもできません。リピートモードが解除されます。

途中で録音をやめる

■ を押します。
- CD、MD、テープが同時に停止し、「WRITING」と表示して録音が終了します。

►►I または I◄◄ で曲番号を指定する

指定した曲番号から以降の曲を録音します。
- **手順3**で**MD&TAPE REC**を押す前に操作してください。

演奏中の曲だけを録音をする(1曲録音)

録音したい曲の演奏中に、**MD&TAPE REC**を押します。
演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音して自動停止します。
- 1曲録音が終わると、CD、MD、テープが自動停止します。

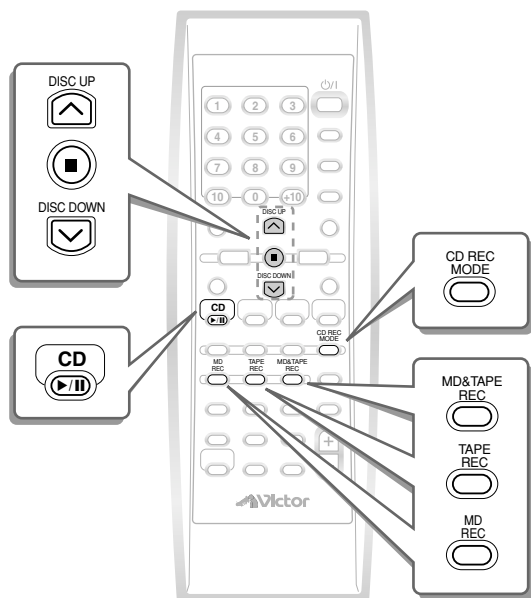
プログラム録音をする

はじめに録音したい曲をプログラムしておきます(➡ 28 ページ「CDのプログラム演奏」参照)。**CD ►/II** は押さないでおきます。次に、**手順3**の操作をします。

表示窓の表示内容を切換える

リモコンの**DISP/CHARA**を押すごとに、録音中のCD/MDの曲番号や演奏経過時間、録音残量時間、現在時刻などがくり返し表示されます。

CD REC MODE(レック モード)を使って録音する

CD REC MODEを使って、CDの連続録音や1枚CD録音、各CDの1曲目だけを続けて録音するベストヒット録音をします。MD、テープ、MDとテープの同時録音ができます。
• 録音時の音量は自動的にコントロールされます。

1枚CD録音とは…
指定した1枚のCDだけ録音します。指定したCDの演奏が終了すると録音は自動停止します。

CDの連続録音とは…
指定したCDからCDの演奏順にしたがって連続して録音していきます。CDの演奏が終了する、またはMD、テープの録音残量がなくなると自動停止します。

ベストヒット録音とは…
CDの演奏順にしたがって、各CDの1曲目だけを続けて録音します。ヒット曲集などを作るのに便利です。
CDの演奏順の最後のCDの録音が終了すると録音が自動停止します。

お知らせ
• MDとテープの同時録音では、1枚CD録音だけできます。下の説明の**手順4**で選んだ録音方法に関係なく、**手順5**でMD&TAPE RECを押すと自動的に1枚CD録音に変わって録音が始まります。

1 CD(▶/II) を押してから (■) を押す

ソース(音源)をCDにします。

2 CDの準備をする

1枚CD録音をするとき:

CD入れ、DISC UP(∧)(または DISC DOWN(∨))を押して録音するCDを選ぶ

CDの連続録音をするとき:

CD入れ、DISC UP(∧)(または DISC DOWN(∨))を押して録音を開始するCDを選ぶ

ベストヒット録音をするとき:

CDを入れる

3 録音用のMD、テープを入れる

MDとテープに同時録音するときは、両方入れます。
MDの録音モードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます(➡ 44 ページ「MDに録音する前の設定」参照)。
• MDの誤消去防止つまみを閉じておきます(➡ 72 ページ参照)。
• MDに録音するときは、REC SPEEDを押して録音スピードを選びます。(➡ 45 ページ参照)。
• ノーマルテープ(TYPE I)を使います。リーダーテープの部分は巻き取っておきます(➡ 43 ページ参照)。
• リバースモードを選ぶときは、REV. MODEを押して選びます。

4 CD REC MODE を押して録音方法を選ぶ

押すごとに次のように変わります。

CD ∗ DISC REC ➡ ALL DISC REC ➡ BEST HIT REC(➡ CD ∗ DISC RECに戻る)

∗は**手順2**で選んだCD番号です。

1枚CD録音をするとき:
「CD ∗ DISC REC」を選ぶ

CDの連続録音をするとき:
「ALL DISC REC」を選ぶ

ベストヒット録音をするとき:
「BEST HIT REC」を選ぶ

• 表示窓に選んだ録音方法が表示されている間に、**手順5**の操作をしてください。

5 録音を開始する

MDに録音するとき:

MD REC **を押す** (• 本体のMD RECでも同じ操作ができます。)

テープに録音するとき:

TAPE REC **を押す**

MDとテープに同時録音するとき:

MD&TAPE REC **を押す** (**手順4**で選んだ録音方法に関係なく、1枚CD録音で録音が始まります。)

「途中で録音をやめる」、「表示窓の表示内容を切り換える」については、「MDに録音する」、「テープに録音する」、「MDとテープに同時録音する」の該当する録音のページをご覧ください。

録音する

タイトルをつける

リモコンを使って、MDにディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。

• **リモコンで操作します。**

タイトル編集について

• タイトルは、**カタカナ**、**英大文字/英小文字**、**記号**、**数字**を使って**最大61文字まで**つけることができます。

MDに入力できる文字数について

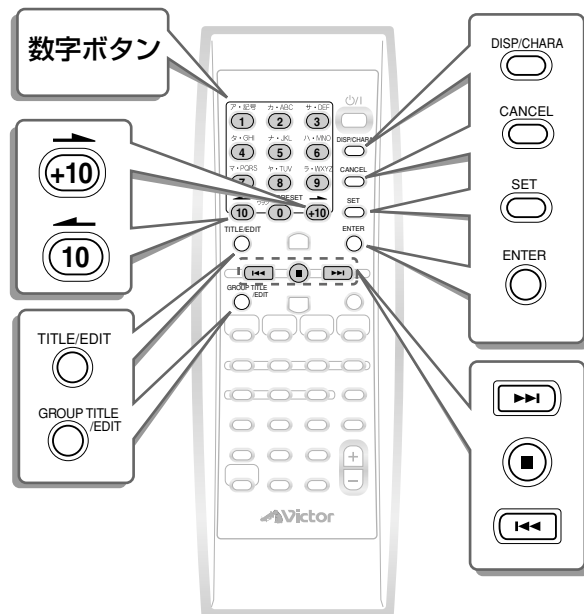
1枚のMDにつき、最大1792文字（英数字・記号）、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。

カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、スペース（空白）は文字と同じ量のデータを必要とします。

ステレオ長時間録音（LP2またはLP4）したときは、曲タイトルの先頭にLP: とスペース（空白4文字分）が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。

例：

• ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
• ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

• CDの録音中は、16曲分のタイトルを前もって入力できます（**タイトルリザーブ機能**）。
ただし、録音する曲より多くのタイトルを入力すると、あまったタイトルは取り消されます。
• タイトル入力の操作をしたあとでMD ▲を押すと、MDが出てくる前に「WRITING」が点滅し、編集した内容がMDに記録されます。
「WRITING」が点滅している間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
• 操作の途中でTITLE /EDITまたはGROUP TITLE/EDIT押すとタイトル入力はいつでも解除することができます。
• 再生専用MDにタイトルをつけることはできません。タイトルをつけようとすると「PLAYBACK DISC」と表示されます。
• 誤消去防止状態になっているMDにはタイトルをつけることができません。タイトルをつけようとすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
• MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏になっているとき、TITLE/EDITまたはGROUP TITLE/EDITを押してもタイトル入力はできません。
• 62文字以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。

1 MDを入れる

• 誤消去防止つまみを閉じておきます。

2 TITLE/EDIT または GROUP TITLE/EDIT を押してタイトル編集モードに切り換える

ディスクタイトル、曲タイトルを編集するとき

TITLE/EDIT **を押す**

タイトル編集表示に切換わります。

DISC TITLE?

グループタイトルを編集するとき

GROUP TITLE/EDIT **を押す**

グループタイトル編集表示に切換わります。

GR 1 TITLE?

3 ＋10（または 10）を押して タイトルをつけるディスク、曲またはグループを選ぶ

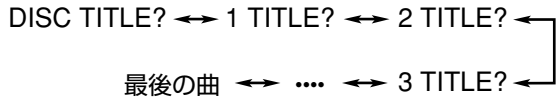
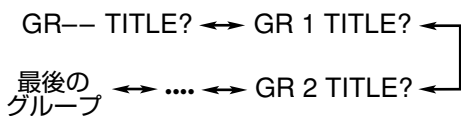
ディスクタイトル、曲タイトルを編集するとき

押すごとに次のように切換わります。

DISC TITLE? ←→ 1 TITLE? ←→ 2 TITLE?
最後の曲 ←→ .... ←→ 3 TITLE?

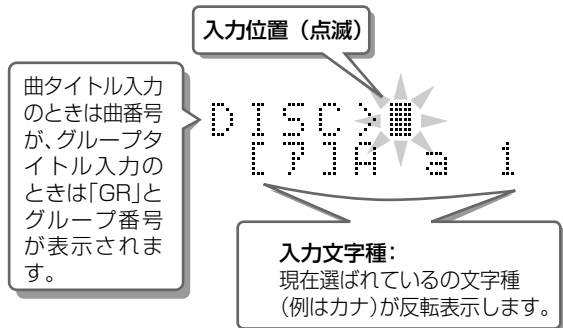
グループタイトルを編集するとき

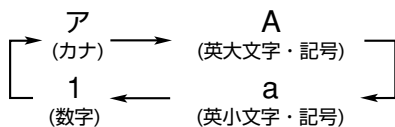
押すごとに次のように切換わります。

GR–– TITLE? ←→ GR 1 TITLE?
最後のグループ ←→ .... ←→ GR 2 TITLE?

MDの演奏中または特定の曲で停止中のときは、その曲の曲タイトル、またはその曲が含まれるグループのタイトル入力表示になります。
すでにタイトルが入力されているときは、そのタイトルの修正、追加、削除ができます。

4 SET を押す

タイトル入力表示に切換わります。

- タイトルが入力されているときは、入力位置にタイトルが表示されます。

5 DISP/CHARA *を押して入力文字を変更する

押すごとに次のように文字の種類が切換わります。

入力したい文字は 52 ページの「**文字配列表**」で確認してください。

* DISP/CHARA：DISPLAY（ディスプレイ）/CHARACTER（キャラクター）の略。

6 タイトルを入力する

数字ボタンを使って、1文字ずつ入力していきます。1つのボタンに複数の文字が割り当てられていますので、文字ごとに、そのボタンをくり返し押して表示させます。

例：「ス」と入力するなら、

1）DISP/CHARAを押して、「ア」を反転表示させます。これで入力文字が「カナ」になります。
2）**数字ボタン「3」**を押すと、入力位置に「サ」と表示されます。
3）**数字ボタン「3」**をくり返し押すと、「**シ➡ス➡セ➡ソ➡サ**…」と順番に表示されます。合計3回押して入力位置に「ス」を表示させます。

手順5と手順6をくり返して好きなタイトルを入力してください。タイトルは61文字までつけられます。

文字の入力位置を移動させるには

＋10（または10）を押します。右（または左）に1文字分ずつ移動します。入力位置で文字を入力すると新しい文字が入力され、そこにあった文字は右に１文字分移動します。

文字を訂正するときは

訂正したい文字に入力位置を移動させて CANCEL を押します。入力位置の文字が消去されます。右側に文字があるときは左に１文字分つまります。

「空白」をつくるには

＋10で入力位置を右に移動させるか、文字種「記号」からスペース(空白)を選びます。

- 「ウエ」「NO」のように、**同じボタンを使う入力が連続するときは**、＋10を押して、文字の入力位置を右に1文字分移動させてから入力します。

途中でタイトル入力をやめるには

TITLE/EDITまたはGROUP TITLE/EDITを押します。入力途中のタイトルは変更されません。通常モードに戻ります。

7 ENTER を押してタイトルを登録する

表示窓に「EDITING」が表示され、タイトルが登録されます。

- 次のタイトル入力表示が現われます。引き続き、タイトル入力を行うこともできます。演奏中は次の曲または次のグループの演奏になります。
- 最後の曲またはグループにタイトルをつけ終わると、MDの通常表示に戻ります。
  演奏中は、ENTERを押すまで最後の曲またはグループがくり返し演奏されます。

52ページへ続く

8 CANCEL を押してタイトル入力を終了する

通常のモードに戻ります。

- **TITLE/EDITまたはGROUP TITLE/EDITをくり返し押して、通常のモードに戻すこともできます。**
- **MDを取り出すときは、本体のMD ▲を押します。**MDが出てくる前に「WRITING」表示が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

タイトル入力に使える文字・記号と数字

● 文字配列表

ボタン	カ　ナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン 0	ワヲン ゛ー ゜			0

＊「記号」で表示できる内容

□スペース(空白)	!	”	#	$	%	&	’	(	)	＊	＋
,	−	.	／	:	;	<	＝	>	?	@	＿	`

お知らせ

- 「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字以外には入れることができません。

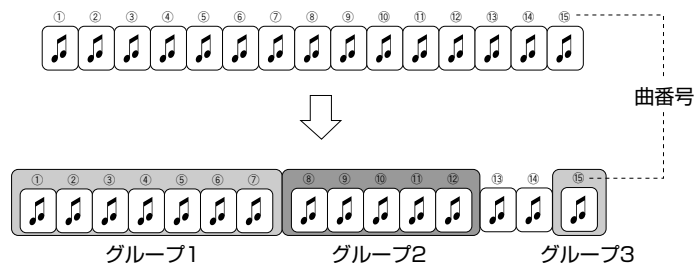
録音中のタイトル入力について

- TITLE/EDITを押したときの曲、または10（または＋10）で選んだ曲にタイトルをつけます。
  GROUP TITLE/EDITを押したときのグループにタイトルをつけます。
- CDの録音中（1曲録音は除く）は、16曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することができます(タイトルリザーブ機能)。
- 録音が終了するまでにENTERが押されなかったときは、その曲のタイトルは無効になります。

MDをグループ編集する

本機にはMDの新しい機能、グループ機能があります。ここでは、グループとその編集について説明します。

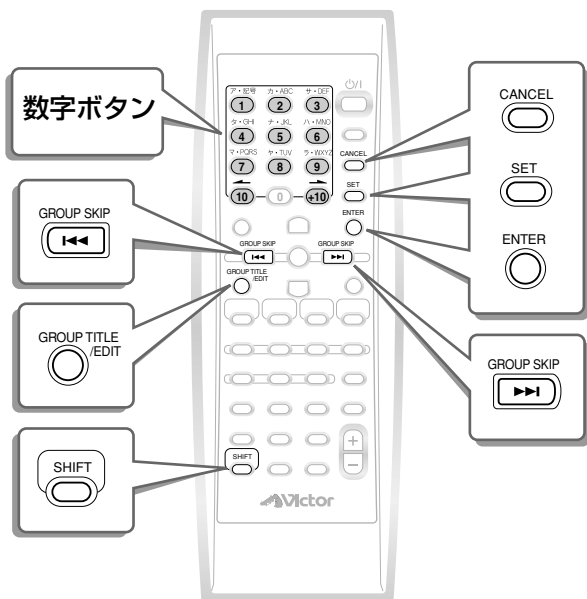
MDのグループ機能とは

ステレオ長時間録音（MDLP）によって1枚のMDに、今までよりも多くの曲（トラック）が録音できるようになりました。
MDのグループ機能は、曲（トラック）を最大99のグループに分けて登録することで、管理をより便利にするためのものです。

グループは、1曲（トラック）でも設定できます。また、連続する曲（トラック）をグループとして登録することができます。
MDのグループ機能には、次のものがあります。

- **グループ演奏**　：1つのグループの曲（トラック）だけを演奏します(➡ 36 ページ参照)。リピート演奏もできます。
- **グループ録音**　：録音と同時に、複数の曲（トラック）をまとめて1つのグループとして登録できます(➡ 44 ページ参照)。
- **グループタイトル**　：ディスクや曲（トラック）と同じように、グループにもタイトルをつけたり編集したりすることができます(➡ 50 ページ参照)。
- **グループ編集**　：右の項目をご覧ください。

MDのグループ編集

MDのグループ編集には次の８つの機能があります。これらの機能は、GROUP TITLE/EDITを押すごとに、「GR 1 TITLE？」に続いて呼び出されます。
これらの機能を組み合わせて使うこともできます。

- **「グループをつくる(FORM GR)」：**
  グループに属していない曲（トラック）から新しいグループを作ります。左の図で、13曲目と14曲目から４つめのグループを作ることです(➡ 54 ページ参照)。
- **「グループに登録する(ENTRY GR)」：**
  曲をすでにあるグループに登録します。左の図で、13曲目をグループ２に登録することです(➡ 55 ページ参照)。
- **「グループを分ける(DIVIDE GR)」：**
  １つのグループを２つに分けます。左の図で、グループ1を２つに分けてグループ総数を４にすることです(➡ 55 ページ参照)。
- **「グループをつなげる(JOIN GR)」：**
  2つのグループをまとめて1つにします。左の図で、グループ1とグループ2を１つのグループにまとめることです(➡ 56 ページ参照)。
- **「グループを移動する(MOVE GR)」：**
  グループの移動をします。左の図で、グループ２をグループ１の前に移動させることです(➡ 56 ページ参照)。
- **「グループを解消する(UNGROUP)」：**
  １つのグループを解消します。曲（トラック）の削除はしません(➡ 57 ページ参照)。
- **「全グループを解消する(UNGR ALL)」：**
  すべてのグループを解消して、グループのない状態にします。曲（トラック）の削除はしません(➡ 57 ページ参照)。
- **「グループを削除する(ERASE GR)」：**
  グループと共にグループ内のすべての曲（トラック）を削除します。左の図で、グループ２を削除すると、8曲目から12曲目までが削除されます(➡ 57 ページ参照)。

お知らせ

- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏になっているときに、GROUP TITLE/EDITを押しても編集モードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。

グループをつくる(FORM GR)

どのグループにも登録されていない連続した曲から新しいグループをつくります。１曲でもグループにすることができます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して「FORM GR?」を選ぶ**

FORM GR?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 ▶▶I（または I◀◀）**を押して新しいグループの先頭の曲を選び、**SET **を押す**

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し演奏されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。

4 ▶▶I（または I◀◀）**を押して新しいグループの最後の曲を選び、**SET **を押す**

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し演奏されます。
- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは「CANNOT FORM!」と表示され、次の手順に進めません。
- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、GROUP TITLE/EDITを押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「グループを解消する」（➡ 55 ページ参照）の操作をします。

グループに登録する(ENTRY GR)

曲を1つ選び、指定したグループの最後の曲として登録します。**登録したいグループにすでに登録されている曲は、登録できません。**
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して「ENTRY GR?」を選ぶ**

ENTRY GR?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 ⏭ **(または** ⏮ **)を押してグループに登録する曲を選び、**SET **を押す**

TR. 1?
OK?→SET

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し演奏されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 SHIFT **を押したまま** ⏭ **(または** ⏮ **)を押して登録先のグループを選び、**SET **を押す**

GROUP 1?
OK?→SET

- 演奏中は、選ばれた番号の曲がくり返し演奏されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、グループ番号を直接選ぶこともできます。
- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、GROUOP TITLE/EDITを押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- 登録ができないときは、「CANNOT ENTRY!」と表示され、**手順4**に戻ります。

もとに戻すときは

右の「グループを分ける（DIVIDE GR)」のあと「指定したグループを解消する（UNGROUP)（➡ 57 ページ参照）の操作をします。

グループを分ける(DIVIDE GR)

1つのグループを2つに分けます。新しくできる2つのグループのうち、後ろのグループの先頭の曲を指定します。グループ番号は付け直されます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して「DIVIDE GR?」を選ぶ**

DIVIDE GR?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 SHIFT **を押したまま** ⏭ **(または** ⏮ **)を押して分けるグループを選び、**SET **を押す**

4 ⏭ **(または** ⏮ **)を押してどの曲から分けるかを選び、**SET **を押す**

- 演奏中は、選ばれた番号の曲がくり返し演奏されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。
- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「グループをつなげる（JOIN GR)」(➡ 56 ページ参照）の操作をします。

編集する

グループをつなげる(JOIN GR)

となりあう2つのグループを1つのグループにします。
タイトルがついているときは、番号が小さい方のグループタイトルが残ります。グループ番号は付け直されます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 **GROUP TITLE/EDIT をくり返し押して「JOIN GR?」を選ぶ**

JOIN GR?
YES?→SET

2 **SET を押す**

3 **SHIFT を押したまま ►►| (または |◄◄)を押してつなげるグループの組を選び、SET を押す**

G 1+G 2?
OK?→SET

連続するグループ番号が、表示されます。グループがないときは「--」と表示されます。

- 2つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、つなげることはできません。
- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

4 **ENTER を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- グループの間に曲があったり、「--」と表示されたままENTERを押すと、「CANNOT JOIN」と表示され、手順3に戻ります。

もとに戻すときは

「グループを分ける (DIVIDE GR)」(➡ 55 ページ参照) の操作をします。

グループを移動する(MOVE GR)

1つのグループを指定したところへ移動させます。
グループ番号は付け直されます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 **GROUP TITLE/EDIT をくり返し押して「MOVE GR?」を選ぶ**

MOVE GR?
YES?→SET

2 **SET を押す**

3 **SHIFT を押したまま ►►| (または |◄◄)を押して移動させるグループを選び、SET を押す**

例 :グループ1のとき

G ←G 1?
OK?→SET

4 **SHIFT を押したまま ►►| (または |◄◄)を押して移動先を選び、SET を押す**

例 :グループ1をグループ3の前に移動させます。

G 3←G 1?
OK?→SET

- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、GROUP TITLE/EDITを押します。

5 **ENTER を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

もう一度「グループを移動する (MOVE GR)」の操作をします。

グループを解消する

指定したグループまたは全グループを解消して、曲のグループ登録をやめます。解消されたグループ内の曲は削除されません。グループ番号は、付け直されます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

指定したグループを解消する(UNGROUP)

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して「UNGROUP?」を選ぶ**

UNGROUP?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 SHIFT **を押したまま ⏭ (または ⏮)を押して解消するグループを選び、** SET **を押す**

GROUP 1?
YES?→SET

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

4 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全グループを解消する(UNGR ALL)

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して「UNGR ALL?」を選ぶ**

UNGR ALL ?
YES?→SET

2 SET **を押す**

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

3 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「グループをつくる（FORM GR)」（➡ 54 ページ参照）の操作をします。

グループを削除する(ERASE GR)

グループをMDから削除します。削除されたグループ内の曲も同時に削除されます。グループ番号と曲番号は、付け直されます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 GROUP TITLE/EDIT **をくり返し押して「ERASE GR?」を選ぶ**

ERASE GR?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 SHIFT **を押したまま ⏭ (または ⏮)を押して削除するグループを選び、** SET **を押す**

G 1 ERASE?
ERASE?→SET

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

4 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

ご注意

- 一度削除した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください(➡ 72 ページ参照)。

曲を編集する

曲(トラック)編集とは

- MDの編集には「曲を分ける」、「曲をつなげる」、「曲を移動する」、「曲を削除する」、「全曲を削除する」があり、機能を組み合わせて使うこともできます。
- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDの演奏モードがプログラム演奏またはランダム演奏になっているときは、TITLE/EDITを押しても編集のモードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でCANCELまたはTITLE/EDITを押すと、編集操作を中止することができます。

TITLE/EDIT を押すごとに、「DISC TITLE？」に続いて次の５つの機能が呼び出されます。

• 停止中または演奏中に、リモコンで操作します。

曲を分ける (DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。

曲をつなげる (JOIN)

トラックマークを削除して、1つ前の曲と1つにまとめます。

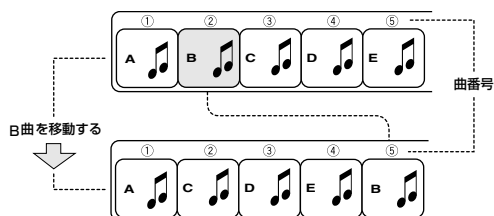
曲を移動する (MOVE)

好きな順番に曲を入れ換えます。

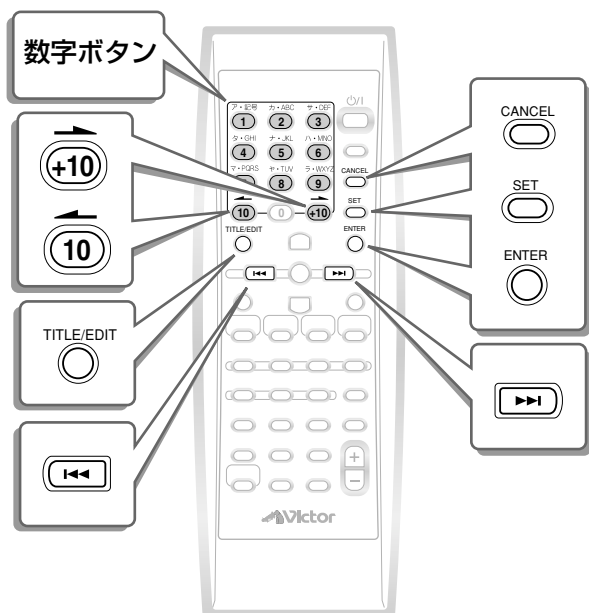
曲を削除する (ERASE)

不要な曲やナレーションなど、削除したい曲を一度に15曲まで指定して削除することができます。曲番号があらたにふり直されます。

全曲を削除する (ALL ERASE)

全部の曲をすべて消去して、ブランクディスクにします。

お知らせ

トラックマークとは

曲ごとの頭の部分に頭出しのためについているマークのことです。トラックマークとトラックマークの間が曲としてみなされ、演奏順に番号表示されます。これが曲番号(**トラックナンバー**)です。

曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けることができます。
メドレーやFM放送などを録音したあとに曲番号を割り当てることができます。分けた曲以降の曲番号は自動的にふえます。

編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 TITLE/EDIT をくり返し押して「DIVIDE?」を選ぶ

DIVIDE ?
YES?→SET

2 SET を押す

MDが停止中のときは、1曲目の演奏が始まります。
演奏中のときは、演奏が継続します。

3 ▶▶I (または I◀◀)を押して編集したい曲を選ぶ

- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 演奏中に ▶▶I を押し続けると、早送りできます。分けたいところを探すときに便利です。

4 曲を分けたいところで SET を押す

押したところから3秒間がくり返し演奏されます。

POSIT. 0
OK?→SET

- 希望どおりに分けられたときは、**手順6**に進みます。
- 分けたいところをやり直すときは、CANCELを押します。
- 曲の頭やナレーションなどに食い込んでいるときは、**手順5**へ進みます。分ける場所が微調節できます。

5 +10 (または 10)を押して微調節する

±128ポジション(約±8秒)の範囲で分けるところが調節できます。
トラックマークが少しずつ移動し、移動したところから3秒後までがくり返し演奏されます。

- 分けたいところをやり直すときは、CANCELを押します。

6 SET を押す

- 途中でやめるときは、TITLE /EDITを押します。

7 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「曲をつなげる（JOIN)」(➡ 60 ページ参照）の操作をします。

曲を分けることができないMD

254曲録音してあるMDなどは、**手順7**でENTERを押すと「DISC FULL」が表示されます。

曲をつなげる(JOIN)

不要なトラックマークを取り除いて、連続する2曲を1曲にまとめることができます。
JOINをすると曲番号はつけ直されます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 TITLE/EDIT をくり返し押して「JOIN?」を選ぶ

JOIN
YES?→SET

2 SET を押す

3 ⏭ (または ⏮)を押してつなぎたい2つの曲を選ぶ

表示は「1+2？」「2+3？」のように次々と変わっていきます。

- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 SET を押す

- つなげる曲を選び直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、TITLE/EDITを押します。

5 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「曲を分ける（DIVIDE）」（➡ 59 ページ参照）の操作をします。

つなげることががてきない曲またはMD

- 録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげることはできません。つなげようとすると「CANNOT JOIN」が表示されます。
- 1 曲しか録音されていない MD などは、曲をつなげることができません。

曲を移動する(MOVE)

1つの曲を指定したところへ移動させます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 TITLE/EDIT をくり返し押して「MOVE?」を選ぶ

MOVE
YES?→SET

2 SET を押す

3 ⏭ (または ⏮)を押して移動したい曲番号を選び、SET を押す

表示は「　←　2 ?」「　←　3 ?」のように変わります。

- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 曲番号を選び直すときは、CANCELを押します。

4 ⏭ (または ⏮)を押して移動先の曲番号を選び、SET を押す

例：2 曲目を 7 番目に移動する

- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 移動先の曲がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲がグループ登録されていないときは、移動後にグループ登録からはずれます。
- 移動先番号を選び直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、TITLE/EDITを押します。

5 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

曲の移動ができないMD

1 曲しか録音されていない MD などは、曲の移動ができません。

曲を削除する(ERASE)

指定した曲を削除します。最大15曲まで1回の操作で削除することができます。
曲番号は付け直されます。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 TITLE/EDIT **をくり返し押して「ERASE?」を選ぶ**

ERASE?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 ⏭ **(または** ⏮ **)を押して消したい曲番号を選ぶ**

表示窓に消したい曲の曲番号が表示されます。

- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 SET **を押す**

曲番号の前に「✓」がつきます。「✓」のついている曲が消えます。

- 間違えたときは、CANCELを押して「✓」を消します。
- **手順3**と**手順4**をくり返すと15曲まで選ぶことができます。
  16曲目を選ぶと「MEMORY FULL」が表示されます。

5 ENTER **を押す**

- やりなおすときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、TITLE/EDITを押します。

6 ENTER **を押す**

指定した曲が削除されます。
「EDITING」が表示されたあと「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全曲を削除する(ALL ERASE)

MDに録音されている曲をすべて消去して**ブランクディスク**にします。
編集するMDを挿入し、停止状態にしておきます。

1 TITLE/EDIT **をくり返し押して「ALL ERASE?」を選ぶ**

ALL ERASE?
YES?→SET

2 SET **を押す**

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

3 ENTER **を押す**

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され、その後、「BLANK DISC」が表示されます。

ご注意

- 一度消去した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください（➡ 72 ページ参照）。

編集する

タイマーを使う

本機では、「REC TIMER」「DAILY TIMER」「SLEEP TIMER」の3種類のタイマー機能を使うことができます。

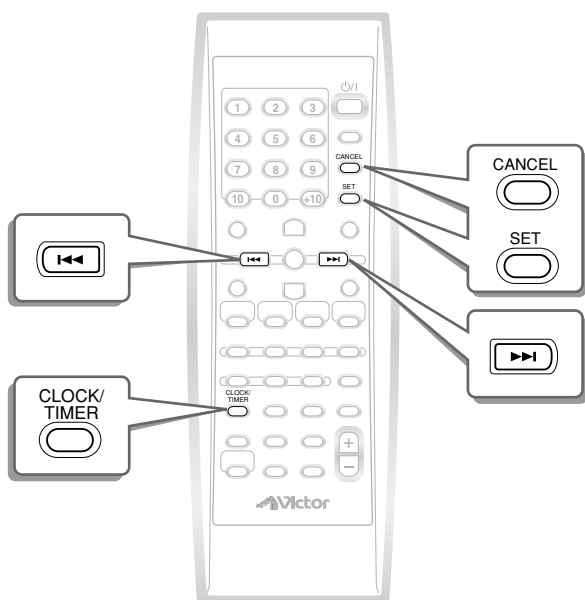
タイマー操作をする前に

タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください(➡ 17 ページ参照)。

- 時計合わせをしていないと、タイマーは働きません。

RECタイマー(録音タイマー)

留守中などにラジオ番組やAUX/DVD端子に接続した機器から留守録音をするときに使います。
開始時刻(電源が**「入」**になる時刻)、終了時刻(電源が**「切」**になる時刻)、録音する放送局または録音する機器を設定します。
設定後に1回だけ動作します。

- リモコンで操作します。
- 電源**「入/切」**どちらの状態でも設定できます。

ご注意

- 他の機器を接続して留守録音をするときは、タイマー機能のついた機器をご使用ください。
- RECタイマーでFMまたはAMをソース（音源）に選ぶときは、あらかじめ放送局をプリセットしておく必要があります（➡ 24 ページ「放送局を記憶させる(プリセット)」参照)。

お知らせ

- 「RECタイマー」で設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「RECタイマー」の設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

1 CLOCK/TIMER **を押して「REC TIMER」と表示させる**

2 SET **を押す**

REC TIMER
FM

3 ▶▶I **(または** I◀◀ **)と** SET **を使ってタイマーの設定をする**

設定をやり直すときはCANCELを押します。
一つ前の設定に戻ります。

MDに録音するとき：録音用のMDを忘れずに入れておきます。
テープに録音するとき：録音用のテープ(ノーマルテープ)を忘れずに入れておきます。

① 録音するソース(音源)を選ぶ

▶▶I または I◀◀ をくり返し押して、録音するソース（音源）を選んでからから SET を押します。
▶▶I または I◀◀ を押すごとに、ソース（音源）が次のように切換わります。

FMまたはAMをソース(音源)に選んだとき:
放送局の設定に移ります。▶▶I または I◀◀ をくり返し押して、本機に記憶されているプリセット番号から録音する放送局を選び、SETを押します。

AUXを選んだとき:
手順 ② に進んでください。

② 録音先を選ぶ

▶▶I または I◀◀ を押して、録音先を選んでからから SET を押します。
▶▶I またはI◀◀を押すごとに、「MD REC」と「TAPE REC」に切換わります。

MD RECを選んだとき:
録音モードの設定に移ります。▶▶I または I◀◀ をくり返し押して、録音モード(SP:標準／LP2:2倍長／LP4倍長)を選び、SETを押します。

TAPE RECを選んだとき:
「TAPE REC」を選んでSETを押します。

③ 開始時刻の設定

▶▶I またはI◀◀をくり返し押して「時」を設定してからSETを押します。次に ▶▶I または I◀◀ をくり返し押して「分」を設定してから SET を押します。
- ▶▶I(または I◀◀)を押し続けると、連続して変わります。

例:開始時刻を午後1時15分にするとき

REC TIMER
ON 13:15

④ 終了時刻の設定

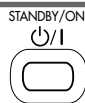
▶▶I またはI◀◀をくり返し押して「時」を設定してからSETを押します。次に ▶▶I または I◀◀ をくり返し押して「分」を設定してから SET を押します。
- ▶▶I(または I◀◀)を押し続けると、連続して変わります。

例:終了時刻を午後2時15分にするとき

REC TIMER
OFF14:15

終了時刻の設定が終わると、REC タイマーの設定は終わりです。

RECタイマーの設定が終わると
設定内容が一通り表示されます。
表示窓に⏲とREC表示が点灯してることを確認してください。

電源「入」でRECタイマーの設定をしているとき

4 STANDBY/ON ⏻/I **を押して電源を「切」にする**

⏲とREC表示が点灯してることを確認してください。

- タイマーの開始時刻になるとRECタイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「**切**」になり、RECタイマーが解除されます。
- タイマー動作中は、スピーカーから音は出ません。

RECタイマーを解除する

設定を解除するには、**手順2**でSETを押さないでCANCELを押します。
⏲とREC表示が消えます。

RECタイマーを再設定する

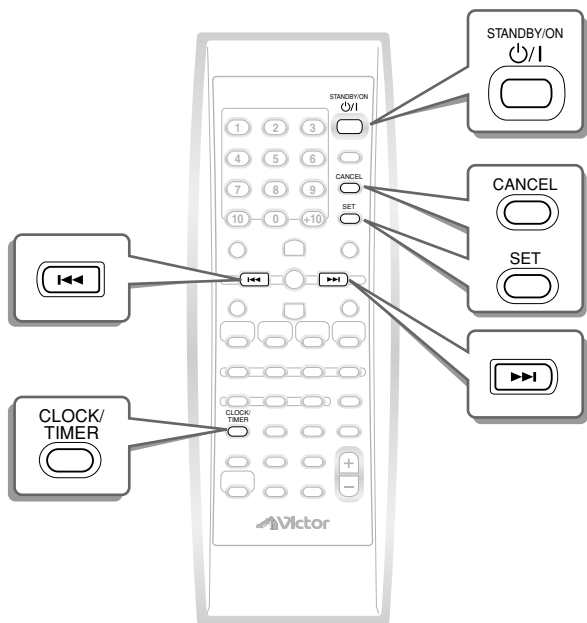
RECタイマーの設定内容は記憶されています。
再設定をするには、**手順2**でSETをくり返し押します。
⏲とREC表示が点灯します。

MDのグループ録音の設定について

RECタイマーでMDに録音するとき、グループ録音の設定は、RECタイマーを設定する前または設定が終了してから行います。RECタイマー設定中は、GROUP RECを押しても設定を変えることはできません。
電源「切」でRECタイマーを設定したあと、グループ録音の設定を変更するときは、電源を「入」にしてからGROUP RECを押してください。

DAILYタイマー（目覚ましタイマー）

目覚ましのように毎日同じ時刻に動作するタイマーです。
開始時刻（電源が「入」になる時刻）、終了時刻（電源が「切」になる時刻）、聞きたいソース（音源）、音量を設定します。
タイマーが動作を始めるとき、音量は徐々に大きくなります(ウェイクアップボリューム機能)。

- **目覚ましタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください**(➡ 17 ページ参照)。
- リモコンで操作します。
- 電源「**入/切**」どちらの状態でも設定できます。

ご注意

- 他の機器を接続して演奏するときは、タイマー機能のついた機器をご使用ください。

お知らせ

- CDやMD、TAPEを選んだときは、それぞれ演奏用のCDやMD、テープの準備をしておきます(➡ 25 32 39 ページ参照)。
- ソース（音源）にFMまたはAMを選んだときは、**SET**を押したあとに、►►I（または I◄◄）を押してプリセット番号を選びます。
- RECタイマーの併用もできますが、DAILYタイマー動作中にRECタイマーの開始時刻になるとRECタイマーに切換わります。
- CDやMDの演奏は、収録されている1曲目から始まります。ダイレクト演奏、プログラム演奏、ランダム演奏はできません。
- 「DAILYタイマー」で設定した内容は、改めて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「DAILYタイマー」の設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

1 CLOCK/TIMER を押して「DAILY TIMER」と表示させる

2 SET を押す

DAILY TIMER
CD

3 ►►I（または I◄◄）と SET を使ってタイマーの設定をする

設定をやり直すときはCANCELを押します。
一つ前の設定に戻ります。

① 演奏するソース（音源）を選ぶ

►►I または I◄◄ をくり返し押して、演奏するするソース（音源）を選んでからから **SET** を押します。
►►I または I◄◄ を押すごとに、ソース（音源）が次のように切換わります。

FM ↔ AM ↔ CD
AUX ↔ TAPE ↔ MD

FMまたはAMをソース（音源）に選んだとき：
放送局の設定に移ります。►►I または I◄◄ をくり返し押して、本機に記憶されているプリセット番号から受信する放送局を選び、**SET** を押します。

CD をソース（音源）に選んだとき：
聞きたい CD 番号と曲番号を選びます。
1. ►►I または I◄◄ をくり返し押して CD を選んでから、**SET** を押す
2. ►►I または I◄◄ をくり返し押して曲番号を選んでから、**SET** を押す

MD をソース（音源）に選んだとき：
聞きたい曲番号を選びます。
1. ►►I または I◄◄ をくり返し押して曲番号を選んでから、**SET** を押す

② 開始時刻の設定

▶▶I または I◀◀ をくり返し押して「時」を設定してからSETを押します。次に▶▶I または I◀◀ をくり返し押して「分」を設定してからSETを押します。

• ▶▶I（または I◀◀）を押し続けると、連続して変わります。

例：開始時刻を午前6時30分にするとき

③ 終了時刻の設定

▶▶I または I◀◀ をくり返し押して「時」を設定してからSETを押します。次に▶▶I または I◀◀ をくり返し押して「分」を設定してからSETを押します。

• ▶▶I（または I◀◀）を押し続けると、連続して変わります。

例：終了時刻を午前7時45分にするとき

④ タイマー動作中の音量の設定

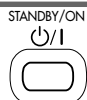
▶▶I または I◀◀ を押して、タイマー動作中の音量を設定してから、SETを押します。

• 「VOLUME−−」を選ぶと、電源を「切」にするときの音量で演奏されます。

音量の設定が終了するとタイマーの設定は終わりです。

DAILYタイマーの設定が終わると
設定内容が一通り表示されます。

電源「入」でDAILYタイマーの設定をしているとき

4 STANDBY/ON ⏻/I **を押して電源を「切」にする**

⏲とDAILY表示が点灯してることを確認してください。

• タイマーの開始時刻になるとDAILYタイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「**切**」になります。
• DAILYタイマーは、タイマーの設定を解除するまで毎日同じ時刻にスタートします。

DAILYタイマーを解除する(休日前夜など)

DAILYタイマーの設定内容は記憶されています。
設定を解除するには、**手順2**でSETを押さないでCANCELを押してください。⏲とDAILY表示が表示窓から消えます。

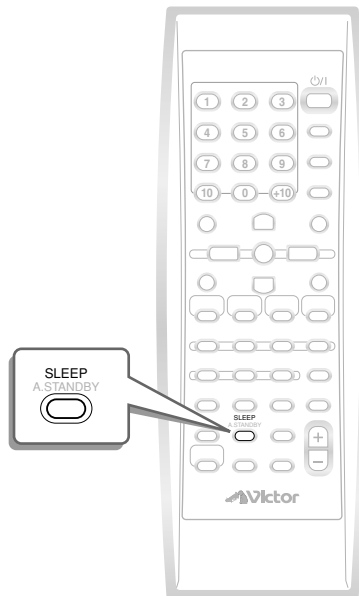
DAILYタイマーを再設定する(出勤・登校の前夜など)

DAILYタイマーの設定内容は記憶されています。DAILYタイマーを解除しても簡単に再設定することができます。
再設定をするには、**手順2**でSETをくり返し押してください。⏲とDAILY表示が点灯します。

タイマーを使う (つづき)

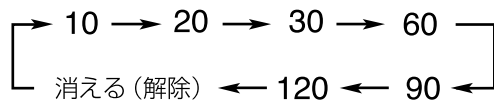
SLEEPタイマー(おやすみタイマー)

音楽や放送を聞きながら眠りたいときに使います。
電源を**「切」**にするまでの時間を設定し、おやすみください。設定した時間が経過すると自動的に電源が**「切」**になります。

- **おやすみタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください**(➡ 17 ページ参照)。
- リモコンで操作します。

SLEEP A.STANDBY を押す

表示窓で⏲と**SLEEP**表示が点滅し「**SLEEP 10**」と表示されます。

- 押すごとに、スリープ時間は次のように選べます。

10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → 消える (解除) → 10

- およそ5秒間ボタンを押さないでいると、自動的に設定されます。表示窓がソース(音源)の表示に戻り、⏲と**SLEEP**表示が点灯になります。
- SLEEPタイマーを設定すると、オートディマー機能が働いて表示窓が暗くなります。

設定したスリープ時間を変更する

- SLEEPタイマー設定後に**SLEEP**を1回押すと、電源が**「切」**になるまでの**残り時間**が表示されます。
- 設定を変更するときは、**SLEEP**をくり返し押して希望のスリープ時間を選びます。

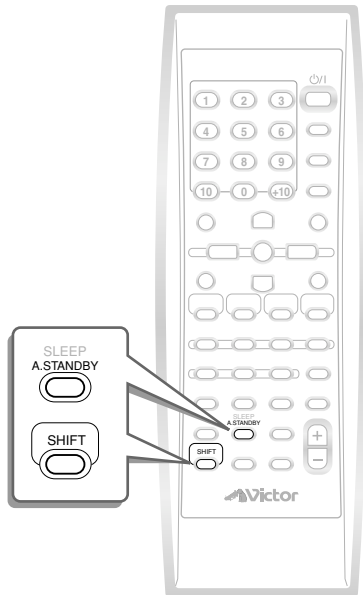
SLEEPタイマーを取り消す

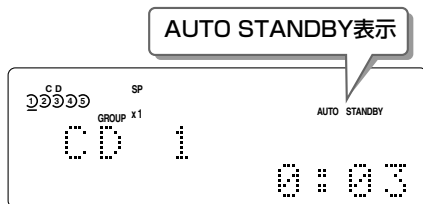
- スリープ時間の表示が消えるまで、**SLEEP**をくり返し押します。SLEEPタイマーが解除されます。
- 電源を**「切」**にしたときも、SLEEPタイマーは解除されます。

SLEEPタイマーでおやすみになり、DAILYタイマーで目覚めるには

1. DAILYタイマーを設定する(➡ 64 〜 65 ページ参照)
2. 聞きたいソースを演奏する
3. **SLEEP**を押してスリープ時間を設定する
   - 設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になり、DAILYタイマーの開始時刻で電源が「**入**」になります。

オートスタンバイ機能を使う

本機には、ソース(音源)がCD、MD、テープのとき無音状態が3分以上続くと、自動的に電源が「**切**」になるオートスタンバイ機能があります。

 を押したまま **を押す**

AUTO STANDBY 表示が点灯します。

オートスタンバイを設定すると

オートスタンバイ機能を設定すると、表示窓の AUTO STANDBY 表示が点灯します。
オートスタンバイ機能が動作すると、表示窓の AUTO STANDBY 表示が点滅に変わります。

オートスタンバイの動作

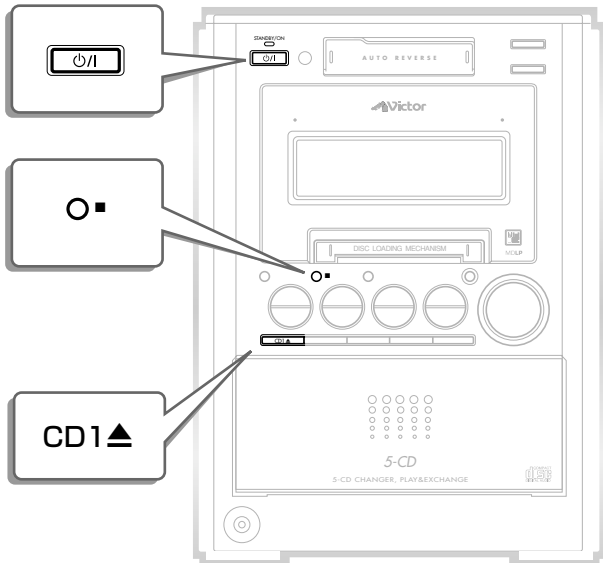
CD、MD またはテープを演奏しているとき：
録音しているとき：
演奏または録音が終了すると、オートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに 3 分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。
3 分以内に演奏または録音の操作をしたときは、演奏または録音が終了してから再度オートスタンバイ機能が動作します。
演奏または録音以外の操作をしたときは、最後に操作が行われてから何の操作もせずに 3 分間が経過すると、自動的に電源が「**切**」になります。

電源が「**切**」になる 20 秒前になると表示窓の情報表示部に「AUTO STANDBY」と点滅表示されます。

オートスタンバイを解除する

SHIFT を押したまま SLEEP/A.STANDBY をもう一度押します。
AUTO STANDBY 表示が消灯します。

チャイルドロック機能

MD挿入口、テープ挿入口、ディスクトレイを電子ロックして⏏を押してもMDやテープが出てこないようにしたり、ディスクトレイが開かないようにします。
小さなお子様のいたずら防止などに便利です。

1 ⏻/I **を押して電源を「切」にする**

電源が「**入**」のままでは設定できません。

2 ■ **を押したまま** CD1⏏ **を押す**

「LOCKED」と表示され、**MD挿入口とCDトレイがロックされます。**

LOCKED

- チャイルドロックすると、どの ⏏ を押しても「LOCKED」と表示され、MDまたはテープが出てこなくなったりCDトレイが開かなくなります。
- 電源「**切**」のときに⏏を押すと「LOCKED」と表示されます。電源は「**切**」のままです。

チャイルドロックを解除する

もう一度、**手順1**と**2**の操作をします。
「UNLOCKED」と表示され、チャイルドロックが解除されます。

UNLOCKED

MD/CDのメッセージ

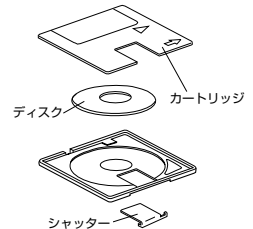
MDのメッセージ	意　味	処　置
BLANK DISC	何も録音されていないMDが入っている。	新しく録音するとき以外は、録音済みのMDに取り換えてください。
CANNOT ENTRY!	曲を同じグループに登録しようとした。	正しい曲を選んでください(➡ 55 ページ参照)。
CANNOT FORM!	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないよう曲を選んでください(➡ 54 ページ参照)。
CANNOT GROUP!	グループに関する情報量の制限を超えている。	それ以上のグループは作れません。
CANNOT JOIN	録音モードが異なる曲、または8秒以下の短い曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。
CANNOT LISTEN!	倍速録音中に音量を調節しようとした。	倍速録音中は、CDの音は聞けません。
CANNOT TITLE	MDに合計1792文字を超えて入力しようとした。	それ以上のタイトルは入力できません。
CANNOT REC x1 or x2 ONLY	CDのプログラム演奏またはランダム演奏を4倍速(x4)または5倍速(x5)で録音しようとした。	等速(x1)または2倍速(x2)の録音スピードを選んでください(➡ 45 ページ参照)。
READ ERROR	UTOC情報が読み取れない。	電源を入れ直してください。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が254を超える。	他の録音用MDに取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態のまま編集または録音をしようとした。	MDの誤消去防止つまみを閉じてください(➡ 72 ページ参照)。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■ を押していったん停止してから、**MD ⏏**(MD取り出し)を押してMDを取り出し、もう一度操作しなおしてください。
GROUP FULL	100以上のグループを作ろうとした。	グループは99まで作ることができます。
GROUP TRACK	グループ登録されている曲を選んで新しいグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでください(➡ 54 ページ参照)。
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を、倍速録音を開始した時点から74分以内にまた録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働きます。74分以上待ってから録音を開始してください。
LOAD ERROR	MDの入れ方がおかしい。	MDを正しく入れてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
NON-AUDIO CANNOT COPY	DVDやCD-ROM(ビデオ CD など)をデジタル録音しようとした。	録音を中止してください(DVDやビデオCDは再生できません)。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音・編集しようとした。	録音用MDに取り換えてください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW(デジタルオーディオ)のコピーを作ろうとした。	メッセージ表示後、自動でアナログ録音になります。倍速に設定されているときは、解除され等速録音になります(➡ 44 ページ参照)。
TRACK PROTECTED	トラックプロテクトがかかっている。	本機では解除できません。プロテクトをかけたときの機器で解除してください。

CDのメッセージ	意　味	処　置
CANNOT PLAY	演奏できないCDを演奏しようとした。または傷の多いCDを演奏しようとした。	ディスクを交換してください。

MDの技術解説

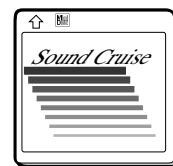
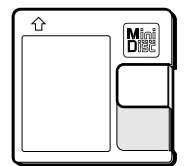
MD(ミニディスク)は直径64 mm のディスクを使ったデジタルオーディオメディアです。

カートリッジのはたらき

カートリッジの大きさは、68 mm × 72 mm、厚さ5 mm のポケットサイズです。この中に直径64 mm のディスクが収められていますので、持ち運びや収納がとても便利です。また、中のディスクは、カートリッジ部およびシャッターによって保護されているために、ほこりやゴミ、キズや指紋をつけることもありません。取り扱いが便利です。

2種類のディスク

MD(ミニディスク)には、録音できる「録音用 MD」と再生のみできる「再生専用 MD」の2種類のディスクがあります。どちらのディスクもレーザー光を照射しその反射によって信号を読み取る方式ですが、記録のしかたが異なります。

再生専用 MD

市販のMD(ミニディスク)ソフトに使用されているタイプで、録音はできません。CD同様ピットと呼ばれる小さなくぼみの有無でデータが記録されています。このような記録方式のディスクを「光ディスク」と呼びます。

録音用 MD

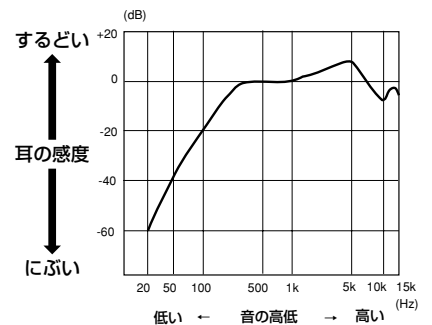
録音用MD(ミニディスク)で、何度も録音ができるように、磁気を利用してデータを記録します。このような記録方式のディスクを「光磁気(MO：Magneto-Optical)ディスク」と呼びます。

再生専用MD

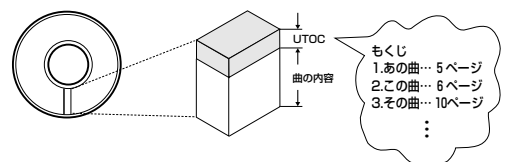
録音用MD

アダプティブ　トランスフォーム　アコースティック　コーディング

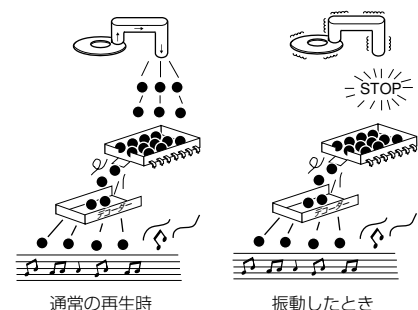
ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

MD(ミニディスク)は、従来のCDの約半分のサイズですがCDと同等の時間記録することができます。それは、新しく開発された「音声圧縮技術 (ATRAC)」により可能になりました。「音声圧縮技術 (ATRAC)」では、聴感上聞こえない音の成分をカットすることでデータを小さく圧縮しています。 この技術により、記録するデータを元のデータの約 1/5 の量にすることができ、長時間のステレオ録音 / 再生を可能にしました。さらにATRAC3の場合、LP2で元のデータの約1/10、LP4で約1/20に圧縮しステレオ長時間録音を可能にしています。

ユーザー　テーブル　オブ　コンテンツ

UTOC (User Table Of Contents)

録音用MD(ミニディスク)には、曲の内容とは別に、「目次 (UTOC)」データが収録されています。これには各曲が記録されている位置、曲の区切り、曲順などが記録されていて、この目次を見ることで、頭出しなどが素早くできます。また、編集のときは、この「目次(UTOC)」を変更するだけで、曲の内容を録音し直す必要がありません。

音飛びガードメモリー

MD(ミニディスク)を再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能があります。これを「音飛びガードメモリー」と呼び、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合、「音飛びガードメモリー」のデータが補完することによって、実際に聞こえる音が途切れたりしません。

通常の再生時　　振動したとき

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープやDATとは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

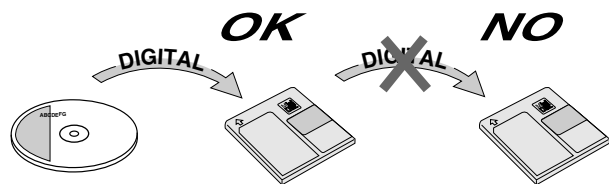
症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。 （録音可能な最大トラック数は254曲まで）
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、１曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。 分けられて8秒以下(SP：標準モード時)の部分ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。 また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP規格による録音モードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも12秒間(SP：標準モード時)の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。

MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル･コピー･マネージメント･システム)といいます。
本機は、この決まりに準拠して設計されています。

SCMS (Serial Copy Management System)

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03−5353−0336（代）

ご注意
この規定により、一度デジタル録音されたMDからは、他の機器へデジタル録音することはできません。

倍速録音に関して（HCMS）

録音用MD(ミニディスク)は等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。
本機では、CDから一度倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の二度目の録音はできません。例えば、CDの1曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに倍速および等速(ノーマルスピード)で録音することはできません。また、CDから倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で100曲以上録音することはできません。99曲までの録音ができます。

CD、MD、テープの取り扱いについて

CDの取り扱いかた

・ケースからの出し入れ

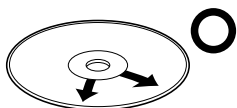
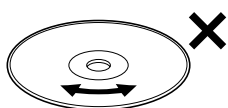
① センターホルダーを押さえ
① 文字のある面を上にして…

② 演奏面(虹色に光っている面)に触れないように持って出す。
② 上から押さえて入れる。

- CDにテープやシールなどを張ったり、字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。

- 文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO 、COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable または COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。DVDやビデオCDは再生できません。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

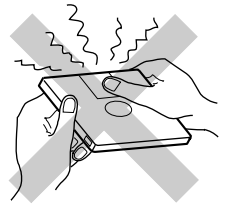
CDのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

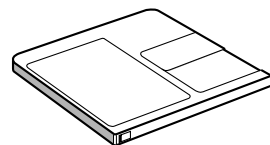
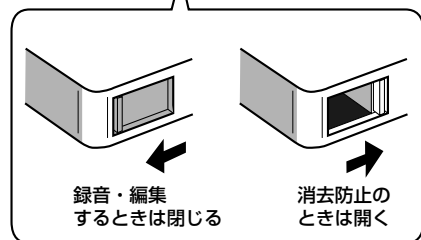
MDの取り扱いかた

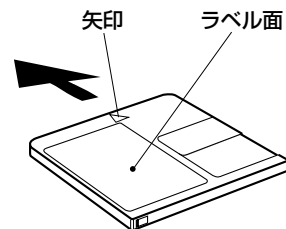
シャッターは開けないで

シャッターは開かないようにロックされています。
無理に開けようとするとディスクがこわれます。

定期的にお手入れを

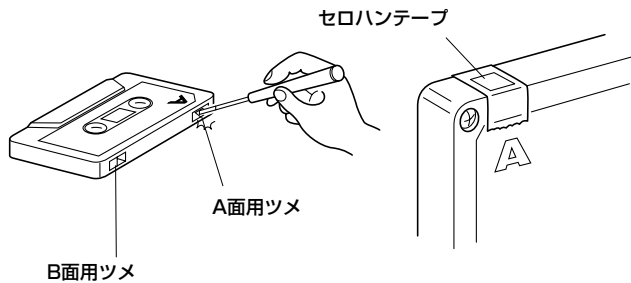
MDにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

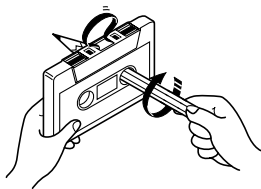
大切な録音を消さないために

録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

お知らせ

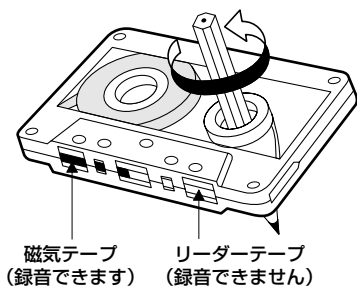
- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
- MDは ⇨ や ▷ などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

大切な録音を消さないために

カセットテープには誤消去防止用のツメ(タブ)がついています。

- ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。
- 再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。

カセットテープの取り扱いかた

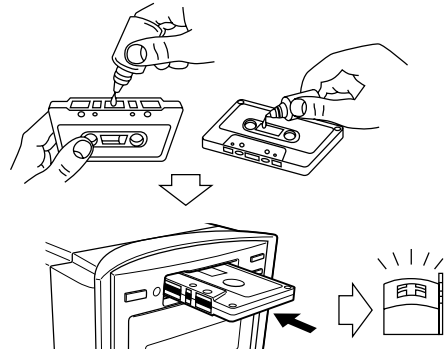
- テープに**たるみ**がありますと、機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにして**たるみ**を取り除いてください。また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。
- **C-120 や C-150 などの長時間テープは、使用しないでください。**
  長時間録音や再生ができて便利ですが、テープが薄く伸びやすいため機器内部に巻き込まれる原因となります。

お知らせ

リーダーテープについて

テープの始まりと終わりには、録音できない部分(リーダーテープ)があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきましょう。

ご注意

- ハイポジション（TYPE II）やメタルテープ（TYPE IV）に対応しておりませんので、使用しないでください。
  再生しても正しい音質にはなりません。

テープデッキのヘッド部の清掃

- **ヘッド部の清掃**
  音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃します。

市販のクリーニングキット（オートヘッドクリーナーなど）を使うと便利です。

- **ヘッドの消磁**
  ヘッドが磁気を帯びると、高音が聞こえにくくなったり雑音が多くなります。このようなときは、市販のヘッド消磁器で消磁してください。

本体表面のお手入れ

- キャビネット表面の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンでふかないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

故障かな？と思う前に

修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
音が出ない。	接続をまちがえている。	「準備と接続」のページをご覧になり、正しく接続する。	10
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。	—
時刻表示が点滅している。	停電または、電源コードを抜いていたため。	時計を合わせ直す。	17
CD/MDの演奏が始まらない。	CD/MDが裏返しに入っている。	文字のある面が上になるように正しく入れる。	25 32
	レンズが結露している。	電源を「入」にしたまま1～2時間待ち、乾いてから使う。	8
特定の箇所が正常に演奏できない。	CDに傷や汚れがある。 MDにエラーが発生した。	CD/MDをクリーニングするか、または交換する。 MDを録音し直す。	72
入れたMDが出てきてしまう。	MDの入れ方が不完全なため。 すでにMDが入っている。	本体に水平な状態にして、軽くMDを押して入れ直す。 MDを取り出してから操作する。	32
MD/テープの録音ができない。	誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	72
		テープの誤消去防止用ツメをセロハンテープなどでふさぐ。	73
テープの再生音が小さい。	ヘッドやキャプスタンが汚れている。	ヘッドやキャプスタンを清掃する。	73
雑音が多くて、放送がうまく受信できない。	アンテナの接続・設置が悪い。	アンテナの接続・設置をし直す。	9
ブーンという雑音がでる。	テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離す。	8
タイマーがうまく働かない。	現在時刻が正しく合っていない。	正しい時刻に設定し直す。	17
	タイマーが解除されている。	タイマー表示 を確認して、設定し直す。	62～66
リモコンが操作できない。	リモコンの電池が消耗している。	新しい乾電池(単3形)と交換する。	15
	リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	直射日光やけい光灯などの強い光が当たらないところで操作する。	—

● **上記の処置をしても正しく動作しないときは**
本機はマイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計とタイマーを合わせ直してください。

お願い

- 本機の故障または不具合等により、録音・再生およびCD/MDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管しておいてください。

保　証　期　間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

マイクロコンポーネントMDシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または76ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

74ページの**「故障かな?と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合が発生したディスクなどのメディアも、一緒にご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　　名	マイクロコンポーネントMDシステム
型　　　名	UX-J55MD-S
	UX-J55MD-M
	UX-J60MD-W
	UX-K60MD-M
	UX-K66MD-M
お買い上げ	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　－

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

ビクターサービス窓口案内 (ビクターサービスエンジニアリング株式会社)

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0155)24-0797	080-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北				
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)673-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越 S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋 S.C.	(027)255-5921	371-8543	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場
栃木	宇都宮 S.C.	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029)246-1560	310-8526	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術ビル１F
	土浦 S.S.	(029)821-8756	300-0813	土浦市富士崎 1-10-1
山梨	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S.	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CSセンター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	331-0814	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046)234-4500	243-0401	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
東海・北陸				
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31中田ビル１F
	沼津 S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
愛知	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂曙3-10-12
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目１-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.C.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.S.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
中国				
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳島 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売（株） 松江 S.C.	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株） 鳥取 S.S.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.C.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄				
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092)-431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942)-39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097)543-1422	870-0882	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982)35-7707	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2227	沖縄県宜野湾市宇地泊760

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0403

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様 ―本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。―

■ MD/CD レシーバー（CA-UXJ55MD-S/CA-UXJ55MD-M CA-UXJ60MD-W/CA-UXJ60MD-M CA-UXK66MD-M）

アンプ部

実用最大出力	15 W＋15 W (JEITA/ 4 Ω)
入力端子	AUX/DVD(×1系統)、 400 mV/47 kΩ：LEVEL1 200 mV/47 kΩ：LEVEL2
出力端子	スピーカー(×1系統)、15 W/4 Ω 適合インピーダンス 4 Ω〜16 Ω ヘッドホン(×1)、15 mW/32 Ω 適合インピーダンス 16 Ω〜1 kΩ

チューナー部

受信周波数	FM：76.0 MHz〜108.0 MHz AM：531 kHz〜1,629 kHz
アンテナ	FM：75 Ω不平衡型 AM：ループアンテナ

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1 kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20 Hz〜20 kHz ±1dB（JEITA）

MDレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生時間 (MD80使用)	録音モードSP：80分 録音モードLP2：160分 録音モードLP4：320分
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3(MDLP)方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20 Hz〜20 kHz ±1dB（JEITA）

カセットデッキ部

形式	コンパクトカセットステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	交流消去
ヘッド	消去（2ギャップフェライト） 録音·再生（ハードパーマロイ）}コンビネーション×1
早巻き時間	約145秒（C-60）
周波数範囲	60 Hz〜14 kHz (ノーマルテープ)

タイマー部

タイマー形式	1日2動作 (DAILY、REC)
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120分 (オートディマー)
時刻表示	24時間表示

共通部

電源電圧	AC 100 V(50 Hz/60 Hz共用)
消費電力	電源「入」時 55 W 電源「待機」時11 W(表示窓「点灯」) 電源「待機」時1.0 W(表示窓「消灯」)
最大外形寸法	幅 175 mm × 高さ 239.5 mm × 奥行 378 mm
質量	約 7.8 kg

■スピーカー：1 本当たり（SP-UXJ55MD-S/SP-UXJ55MD-M/ SP-UXJ60MD-W/SP-UXJ60MD-M）

形式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	低音用 ： 11 cm 丸形 ×1 中高音用 ： 4 cm 丸形 ×1
最大入力	20 W (JIS)
定格インピーダンス	4 Ω
再生周波数帯域	56 Hz〜20 kHz
出力音圧レベル	84 dB/W・m
最大外形寸法	幅 135 mm × 高さ 239 mm × 奥行 205 mm
質量	約 2 kg（1本）

（SP-UXK66MD-M）

形式	3ウェイバスレフ型
使用スピーカー	低音用 ： 11 cm 丸形 ×1 中音用 ： 4 cm 丸形 ×1 高音用 ： 2 cmドーム ×1
最大入力	20 W (JIS)
定格インピーダンス	4 Ω
再生周波数帯域	56 Hz〜20 kHz
出力音圧レベル	84 dB/W・m
最大外形寸法	幅 135 mm × 高さ 239 mm × 奥行 205 mm
質量	約 2 kg（1本）

■マイクロコンポーネント MD システム（UX-J55MD-S/UX-J55MD-M UX-J60MD-W/UX-J60MD-M UX-K66MD-M）

総　合

最大外形寸法	幅 445 mm × 高さ 239.5 mm × 奥行 378 mm
質量	約 11.8 kg

付属品 (➡ 8 ページ参照)

- リモコン（RM-SUXJ55MD-M） 1
- 単3形乾電池（リモコン動作確認用） 2
- AMループアンテナ 1
- FM簡易型アンテナ 1

- JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

用語索引

ボタンについては、12～15ページの「各部の名前と働き」をご覧ください。

別売りのオプション品

• CD レンズクリーナー	: CL-CDL
• MD レンズクリーナー	: CL-ML
• オートヘッドクリーナー	: CK-6
• アンテナコネクター	: VZ-71A（75 Ω /300 Ω）
• RCA ピンコード	: CN-180G (1 m)
• FM フィーダーアンテナ	: CN-511A（300 Ω）

別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
76 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120−2828−17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 東京 ☎ (03) 5684-9311 FAX(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪 ☎ (06) 6765-4161 FAX(06) 6765-4891 〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0503TNMNATJEM